[50] 37 <sup>2</sup>	m = 5 %		m ±7	t	<b>6</b> ⇔ □	m #	50 ± h 1h	65 F
図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺	図番	図 面 名 称	縮尺
<b>_</b>	図面目録	N · S	S-1		N·S			
A - 1	現場説明書	N · S	S -2	鉄骨構造基準図 ************************************	N · S			
A - 2	特記仕様書(建築1)	N·S	S-3	基礎伏図	1/100			
A - 3	特記仕様書(建築2)	N·S	S-4	基礎詳細図	1/30			
A - 4	特記仕様書(建築3)	N·S	S-5	地中梁リスト	1/30			
A - 5 A - 6	特記仕様書(建築4) 高架橋柱位置図	N · S 1/100	S-6		1/10			
	建物概要 仕上表	N · S	S-7	鉄骨梁伏図 (天井裏)	1/100			
A - 7 A - 8	敷地面積		S -8		1/100			_
A - 9	床面積 建築面積	1/100	S-9	同末偏へノンド的 が表似文の未込凶 同末偏へノンド的 這い樋位置図	1/100			+
A -10	配置図 付近見取図	1/300 1/1000	-	軸組図 (1)	1/100			
A -11	工期ごとの配置図	1/300 1/1000	S-11		1/100			+
A -12	平面図	1/100	S -12	鉄骨詳細図 1	1/30			
A -13	立面図	1/100	S -13		1/100			
A -14	断面図(1)	1/100	0 10	<b>全</b> 账刊主应	17 100			
A -15	断面図(2)	1/100						+
A -16	断面図(3)	1/200						+
A -17	矩計図	1/30						+
A -18	断面詳細図(1)	1/30				1		+
A -19	部分詳細図 1 ラチ外コンコース南側納まり図	1/20						
A -20	平面詳細図(1)	1/50						
A -21	天井伏図	1/100						
A -22	建具配置図	1/100						
A -23	金属製建具表(1)	1/50						
A -24	金属製建具表(2)	1/50						
A -25	木製建具・家具図	1/50						
A -26	<b>雑工事</b>	1/50						
A -27	稼動間仕切り 平面・断面図	1/30 1/2						
A -28	展開図 1	1/50						
A -29	展開図 2	1/50						
A -30	展示台平面図	1/30						
A -31	展示台断面詳細図	1/4						
<u> </u>								
<u> </u>								
<u> </u>								
-								+
								+
								+
								-
	T			⊋d 事務所登録第1009号 検 印 意 匠	. 構造 設	ι <sub>#</sub> Ι	総合	<del></del>

特	 <b>七四人4 苯帕凯卦声效</b> 能	事 務 所 登 録 第 1 0 0 9 号	検印	意	로 構造	設 備	」	(仮称)観光交流センター2期建設工事	縮 N - D	
	 有限会社 藤崎設計事務所	管理建築士 藤﨑 透 1級建築士第128417号						(版語) 説元久元 こう デー と初足政工事	尺   R	/
記	 佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						図面名	図面目録		

## 現 場 説 明 書 (建築・設備工事編)

- (A) 工事概要及び一般事項
- 1. 工事概要
- ①工事名称 (仮称)観光交流センター2期建設工事

②施工場所 底地番 佐賀県武雄市武雄町大字富岡字西浦8249番地4の一部 仮地番 武雄市北部土地区画整理事業23-8街区2号の一部、10街区の一部

- ③工 期 契約日から平成年月日まで
- ④工事内容 (別添 特記仕様書及び設計図面による)
- ⑤別途予定の関連工事 ・建築・電気・機械・外構・舗装・植栽・その他 ()
- ⑥質疑等の提出方法及び回答期日等 (現場説明時に指示)
- 2. 設計図書の優先順位
- ・設計図書は相互に補完するものとし、相互に相違がある場合の優先順位は次のとおりとする。
  - ①現場説明書及び質疑回答書

②特記仕様書

③設計図面

④共通仕様書(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

- 3. 工事着手前・完成時の提出図書
- ①工事請負契約後、設計図書の縮小版(A2版又はA3版)青焼き製本を3部の提出のこと。
- ②竣工後、共通仕様書による完成図及び保全に関する資料を1部提出し、完成図には工事名称、工期、設計・監理者、施工者を明記すること。
- ③その他、保存図書とし、監督員の指示に従って建設課へ提出すること。
  - 4. 契約事務上の注意事項
- ①工事請負契約書は佐賀県建設工事請負契約約款を使用することとし、その他の契約事務については武雄市財務規則による。
- ②工事が複数年度に亘る場合は、各年度の請負代金の支払い限度額及び出来高予定額は、契約書作製の日までに通知する。
- ③不慮の事故に備えて火災保険等に加入すること。また、労働災害事故にも備え建設労働災害保障制度へもできる限り加入すること。なお、契約額は工事規模・請負契約額に相応する内容とし、後一ヶ月程度の予備期間を設けること。
- ④現場代理人·主任技術者届、施工計画書等の提出書類は、速やかに作成し監督員に提出すること。
- ⑤工事の一部を下請けに付する場合には、速やかに下請申請書を提出し承諾を得ること。
- (B) 現場及び技術に関する説明事項
- 1. 監督職員事務所

監督職員事務所を設ける場合は、事務所に机・椅子・保安用具等を必要に応じて備えること。

- 2. 指定仮設
- 設計図面に明記された仮設については、指定仮設として実施すること。

なお、現場状況及び施工方法により変更が必要な場合は監督員との協議により実施する。

- 3. 工事着工前の確認
- ・建物の配置については設計図書に基づいて縄張りを行ない、監督員と最終確認を行うこと。
- ・既存施設内で増築・改修工事する場合は、仮設計画書及び施工計画書等を作成し施工上必要な「工事用地等」について施設管理者と協議すること。

また、既存の設備、地下埋設物については充分な予備調査を行って施工すること。

- 4. 工程管理
- ・工事の着手にあたっては、他の関連工事業者と調整の上、受電時期や試運転調整期間等を見込んだ実施工程表を作成し監督員に提出のこと。また、工事期間中はこの工程に従い工事の円滑な進捗に努めること。
- 5. 施工体制の適正化

「建設業法」や「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、省令等に 定める施工体制台帳や施工体系図を作成し、監督員に提出すると共に、現場にも備え付けること。 6. 施工中の安全確保及び環境保全等

施工中の安全確保及び環境保全並びに災害・公害の防止については「建築・電気・機械各共通仕様書」によるほか、次の指針・要綱によること。

- 建設工事安全施工技術指針(平成7年5月25日、建設省営監発第13号)
- · 建築工事公衆災害防止対策要綱 (平成5年1月12日、建設省経建発第1号)
- 建設副産物適正処理推進要綱(平成14年5月30日国官総第122号、国総事第21号、国総建第137号)
- 7. 工事監理者

この工事については、監督員業務の一部を第三者(設計者等)に委託する場合がある。

- 8. 特定元方事業者
- ・労働安全衛生法第30条第2項に基づく特定元方事業者として、この敷地内の建設工事等における契約額が最大の建築工事の請負業者を指定する。
- 9. 工期変更等の場合の前金保証会社への通知

前払金保証契約約款7条の2「工期を変更する場合等における措置」の保証会社への通知は、請負者で行うこと。

## (C) 指導事項

1. 建設工事の適正な施工の確保について

本工事の施工にあたっては、適正かつ円滑な施工を確保するために「建設業法」や、「建設産業における 生産システム合理化指針」等に基づく建設関連指導事項を遵守し、適正な契約の締結、適正な施工体制 の確立、建設労働者の雇用条件等の改善に努め、建設関連法等に抵触する行為は行わなわないこと。

2. 労働福祉の改善等について

建設労働者の福祉の向上を図り、建設需要に対する労働者を確保し建設業の健全な発展を図るため 労働災害補償保険制度、建設業退職金共済制度及び労働災害補償共済制度等の普及徹底に関する 措置要領(平成3年1月4日施行)を遵守すること。

また、原則として退職金共済制度による「発注者用掛金収納書」を契約後1ヶ月以内に提出すること。

3. 各種調査への協力依頼

公共事業労務費調査、共通仮設費の実績調査等の対象工事となった場合は、必要な協力を行わなければならない。

4. 市内業者の活用

下請や資材調達にあたっての契約は本来当事者間の自由な意志が尊重されますが、下請契約の相手はできる限り市内業者としてください。また、建設資材はできる限り市内業者から購入してください。

5. 工事用資機材等の搬送に関する関連法の遵守

道路交通法並びに関係法令に抵触する搬送車両や交通安全の配慮にかける業者は排除すること。

6. 工事実績情報の登録

請負金額が5、000千円以上の工事については、工事実績情報(CORINS)の登録をすること。

- (D) その他特記事項
- 1. 特に必要な監督員の検査等
- 2. 支給材料及び貸与品のある場合の品名、数量、規格性能、引渡し場所及び時期の特記
- 3. 部分引渡しを受ける「指定部分」の指定。
- 4. その他特記すべき事項
  - ① 建設リサイクル法に準ずる。
  - ② 使用する木材は、原則として全て地域材とする。
  - ③ 12cm角以下の材料はすべて県産材とする。 (ただし一般的に県産材の利用にはそぐわない材料は除く。)
  - ③についてどうしても県産材の利用ができない場合(材料が調達できない場合等)については、 監督員の承諾を受け地域材に替えることが出来ることとする。

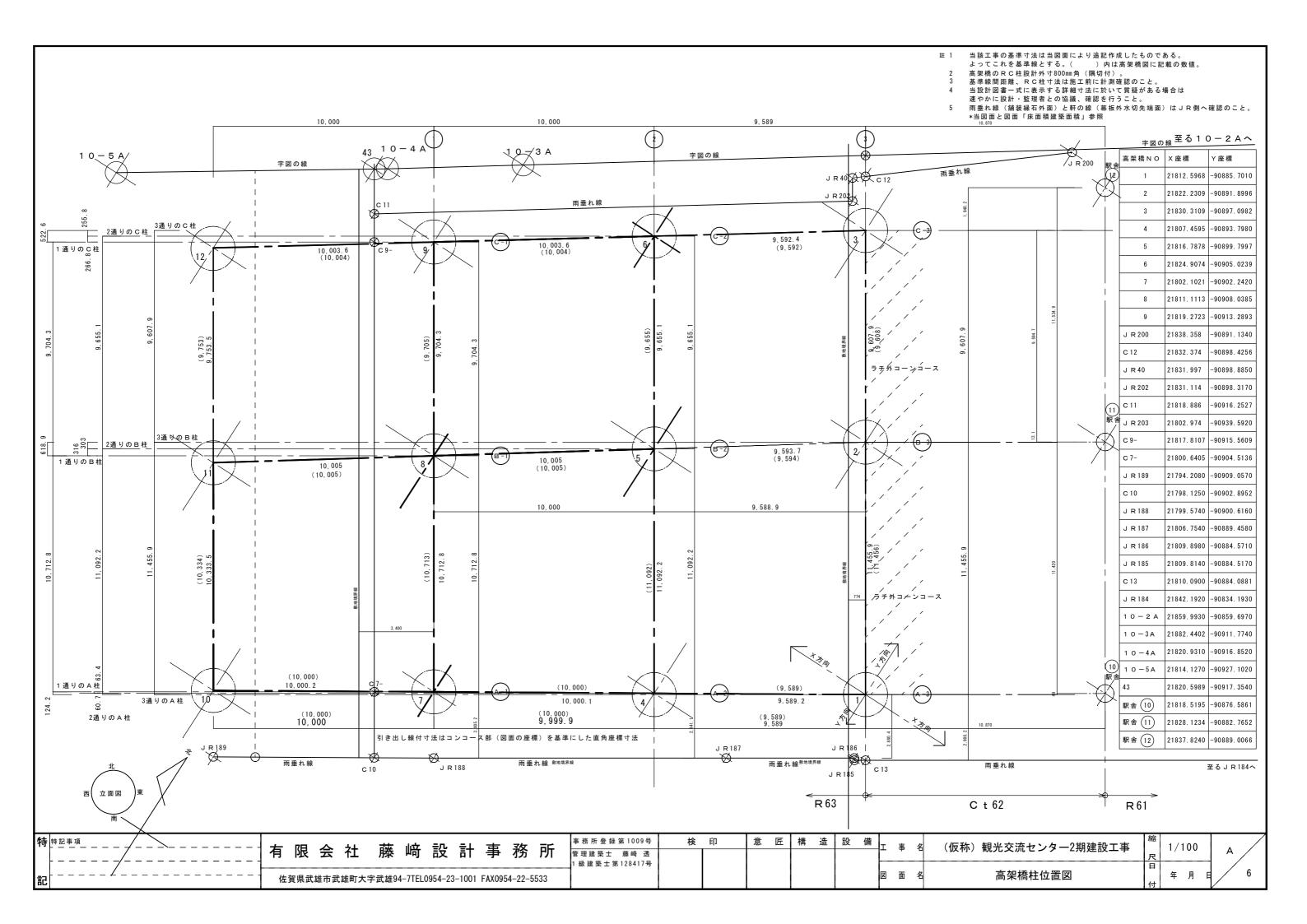
特	FL_	 + m 4	裁 心女 :	型 計 車 数 託	事務所登録第1009号	検	印	意 匠	構造	設備	T 惠 名	(仮称)観光交流センター2期建設工事	縮	N - D	
	L _	 月 限 会 任	藤崎	設計事務所	管理建築士 藤﨑 透 1級建築士第128417号						_ + u	(版作/ 観光文派 ピング 2別建設工事	尺		A /
		 上	ラポザ01_7TEL 001	954-23-1001 FAX0954-22-5533							図面名	現場説明書		年 月 日	1
高口	3	在具条风雄巾风雄叫人-	テレルE94-/ICLU9	104-23-1001 FAA0904-22-0033	1	l		1				70 MM671 E	付		/

① 鉄骨の製作工場	製作工場の加工能力 (7.1.3)	8 1 補強コンク	ート ※空洞ブロック16 ·空洞ブロック16─W	(8. 2. 2)	1 陶磁器質タイル	タイルの種類 (11.2.	) 14 ① ステンレスの表面	Т
① 鉄青の製作工場	・監督職員の承諾する製作工場	コーガロック造	※空洞プロックIO ・空洞プロックIO-W	(0.2.2)	1 同級委員ライル	************************************	14 (リステラレスの表面 生上げ	種 類 施工箇所
	○ 建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた (株)日本鉄骨評価センター又は(社)全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」	ン     ク   2 コンクリー	ブロック ※標仕表8.3.1及び下表による	(8.3.2)	ſ	(mm) 磁器 to 岩 陶器 ibi う ibi う あり なし 標準 特注 適用 G   外壁 2丁掛	<b>-</b>	※IL程度         下記以外の見え掛かり全て           • No. 2B程度         No. 2B程度
	に定める「(R)グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力	リ 帳壁及び塀	適用箇所	厚さ (mm)	L ≸	ポーチ床 150角 〇 〇 〇 〇	- 事	・競面仕上げ
	のある工場。 入熱、パス間温度の溶接条件	トーブ	- 間仕切壁 · 地下二重壁 · 外壁 - 塀 2m以下 120			\ <del></del>	-	<del></del>
	適用箇所 ①柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部		Ot 2mを超える ・150				2 アルミニウム及び	(14.2.2) (
	・図示 ( ) 鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件	7 7	- 衛生配管用裏積みブロック - 100 - 100			l <del></del>	アルミニウム合金の表面処理	種 別 施工箇所 ・B-1種 (無着色)
	※図示	À	•				<b>-</b>	・B-2種 (・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
② 施工管理技術者	適用する (7.1.4)	L 3 ALCパネル	種 類 単位荷重 (N/m²) 厚さ (mm)	(8.4.2~6) (表8.4.3、4) 取付け工法種別		役物:標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする タイルの見本焼き ※行わない ・行う(※外壁タイル・)		
		パ	<ul><li>・外壁パネル ・1180 ・1960 ※100 ・</li></ul>	· A種 · B種 · C種	1_		3 鉄の亜鉛めっき	(14. 2. 3)
③ 鋼材	鋼材の材質 (7.2.1) (7.2.10) (表7.2.1) 種類の記号 使用箇所 規格等	・ ル	・間仕切壁パネル ※100 -	· B種 · C種 · D種 · F種	② 張り付け用材料	既製調合モルタル 保水率 単位容積質量 接着強さ (N/mm²) 長さ変化率 曲げ強さ	-	表面処理方法 種 別 施工箇所 ・A種
	B C R 295 主柱 ※JIS規格による	押	・屋根パネル - 980 ※100 ・	※標仕8.4.6による		(%) (kg/I) 標準時 温冷繰返し後 (%) (N/m²)	_	溶融亜鉛めっき B種
	S N 490 C         通しダイヤフラム         ※JIS規格による           S N 400 B         主梁         ※JIS規格による	. 一出	・床パネル - 2350 · 3530 · 100 · 150	1		70.0以上 1.80程度 0.60以上 0.40以上 0.20以下 4.0以上 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 第三種 (11.2.	_	· C種
	S N 400 B       主梁       ※JIS規格による         S S 400       小梁、間柱       ※JIS規格による	-   形	- 床パネルの耐火性能 ( - 1時間 - 2時間)			接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 (11.2.	'	・D種 電気亜鉛めっき ・E種
	※JIS規格による	メ ④ 押出成形セ		(8.5.2~5) (表8.5.1,2)	③ 壁タイル張りの工法	内装タイル ※壁タイル接着剤張り ・積上げ張り (11.3.3) (表11.3.	)	·F種
		・ ト ト ト	種類 表面形状 厚さ (mm) ※F ·F-R 60	幅 (mm) 工法種別 600		外装タイル ※密着張り ・マスク張り ⊙ブリック (引っ掛け+専用固定材)	4 金属成形板張り	(14. 6. 2)
_	-	·   敬   工	・外壁パネル ・D ・D—R	· A種 · B種		躯体表面の処理 ・行わない ※行う (施工範囲 ※図示 ・ )		形 状 製法 材種 寸法(mm) 厚さ(mm) 表面
④ スカラップ	改良型スカラップ	事	<u>·T ·T−R</u> ※F ·F−R 60	900		躯体表面の処理方法 MCR工法又は目荒し工法(6章コンクリート工事) 下地モルタル塗り ※標仕15.2.2~15.2.5		- スパンドレル形 - 押出し ※アルミニウム製 - B-1種 - ロール - B-2種
⑤ エンドタブ	銅製エンドタブ		<ul><li>・間仕切パネル</li><li>・D ・D-R</li></ul>	· B種		タイルの試験張り ※行わない ・行う (※外壁タイル ・ ) (11.2.	)	・パネル形 ※プレス
	切断する個所(		-T -T-R	VIE .	4 Ph 114 PP 89 A / II Tal +6	(11.2.2) (11.4.2) (表11.4.		
	(7. 2. 2) (7. 12. 4)		耐火性能 ②有り()・無し		4 陶磁器質タイル型枠 先付け工法	(11.2.2) (11.4.2) (表11.4. 種 別 適用タイル タイル型枠先付け面のせき板	<del>-</del>	神船調金艦子 次款りない ・飲りる (施工圏がは圏ボ)
⑥高カボルト	※トルシア形高力ポルト ・JIS形高力ポルト ・溶融亜鉛めっき高カポルト			(0.0.0.) (+0.0.0.)	1	※タイルシート法 ・小口タイル ※標任6.9.3 [材料] (b) (2) 又は	5 アルミニウム製笠木	
⑦ 溶接部の試験	AOQL	9 1 アスファル n+		(9.2.2,3) (表9.2.3~8)	1	・目地桝工法     ・二丁掛タイル     金属製タイル先付け用パネル       ・枝木法     大型タイル		種 類         呼称肉厚(mm)         表面処理         固定間隔         備 考           ・250形         1.6以上         ※A-1又は         固定方法及び         隔角部及び突当たり部
	検査水準 ※第6水準 図示 (7.6.11) (表7.6.2)	.   水	₩A I −2		1		<b>-</b>	・300形 1.8以上 B-1種 間隔は品質計 物は本体製造所の仕様
	試験の種別 試験箇所 試験方法 ※標仕7.6.11 (b) による	·   事	- A-2 - D-2		2 (1) 木材の品質	※標仕12.2.1 ・市販品 (12.2.	<del>,  </del>	- 350形 2.0以上 B-2種 ■で定めた - 100形 ( ) もの
	※超首波探傷試験 元全洛込み洛接郡 ・図示	.	・BI-2 床型枠用鋼製デッキプレートを使	用したコンクリートスラブ	k	・保存処理木材を適用する箇所(		
	<ul><li>放射線試験</li><li>マクロ試験</li></ul>	·	アスファルト ※3種 ・4種	(9. 2. 2)	[ ]	・県産木材 ※使用する・使用しない	6 手すり及びタラップ	(14, 2, 1) (14, 8, 2, 3)
	- where	:	断熱工法の断熱材 厚さ (mm) ※25 ·	(9. 2. 2)	1	使用する箇所 ( ) ・		種 類 材料の種別 表面処理
8 耐火被覆	(7. 9. 2~6)		ただし、特定フロンを含まないもの。 立上り部の保護		1	・佐賀の木 ※使用する ・使用しない 使用する箇所 ( )		※ステンレスSUS304     ※HL程度 ・鏡面程度       手すり     ・鉄     亜鉛めっき 外部 ※C種
o mixima	種 別 所要性能及び適用構造部位	:	・乾式保護材 ※押出成形セメント板(厚さ 15mm)	(9. 2. 5)		・JAS認定品又はJAS規格・基準等の規格証明書が添付された材料 ※使用する ・使用しない		内部 ※E種 ·
	・ ラス張りモルタル塗り  ・ 耐火材  ・ 乾式吹付けロックウール	.				使用する箇所 (		※ステンレスSUS304     ※研磨無し       タラップ     鉄     亜鉛めっき 内外部 ※C種
	吹付け ・ 半乾式吹付けロックウール	2 改質アスフ	n	(9.3.2~4) (表9.3.1)		・地域材 ※使用する ・使用しない 使用する箇所 ( )		man of the work
	<ul><li>・湿式ロックウール</li></ul>	シート防水	種別 ・AS-1 ・AS-2 厚き 施工箇所	( )	② 樹種	※標仕表12.2.3による (12.2.1) (表12.2.	15 ① モルタル塗り材料	吸水調整材
	<ul><li>耐火板張り</li></ul>	:	- 成土 四 71		G MILE	・代用樹種を適用しない箇所(		全國形分 (%) 吸水量 (g) 接着強度 (N/mm²) 界面破断率
アンカーボルトの保持	○構造用アンカーボルト (※図示 ・ )	3 合成高分子		(9.4.2.3) (表9.4.1)	③ 集成材等 G	(12.2.)	官	表示値±1.0 30分で1g以下 0.98以上 50以下 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
タ アンガーホルドの保持 及び埋込み工法	・建方用アンカーボルト (・A種 ※B種 ・C種) (7.10.3) (表7.10.1)	ルーフィン		仕上げ塗料塗り 使用分類	( ******* ( )	品 名 規格・品質 芯材の種類 化粧単板の樹種	_   事	<b>対員で有音と認のうれる典例の此八かないこと。</b>
O +++1 = 1 + 1 = 1	WASS DSE (7.0.0) (7.10.0) (+7.10.0)	防水	- S-F1	・シルバー ※非歩行 ・カラー ・軽歩行		※集成材 ※一般材 ○たも なら しおじ ・ 構造用集成材 ※1級 ・2級		防水剤(防水モルタル塗りの混和剤) 防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤
10 柱底均しモルタル工法	※A種 - B種 (7.2.9) (7.10.3) (表7.10.2) 無収縮モルタル		- S-M1	・カラー ・軽歩行		- 造作用集成材	_	防水剤の種類 建架用のモルダルに用いるセメント防水剤 混合割合 凝結時間 曲げ及び圧縮強度比 吸水比
	混和材 セメント系(酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート	1	S-M2	7/		・化粧ばり造作用集成材 ※1等・2等	-	セメント重量の JIS R 5201の試験において 70%以上 95%以下 8
	等によって膨張する性質を利用するもの)とする。  US R 5210 (ポルトランドセメント) による普通または早強ポ	·	- S-M3		1.	ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種	1 1	596以下 始発 1時間以上 終結 10時間以内
	ルトランドセメントとする。	4 塗膜防水	56 Oil 34 89 0*	(9.5.2,3) (表9.5.1,2)	④ 接着剤	接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 (12.2.) ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系	1 1	収縮性、膨張性のひび割れ及びそりがないこと。
	砂 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもの で、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。		種 別 - 施工個所 - X-1	備 考 仕上げ塗料塗り		防腐剤(以下、「ユリア樹脂等」という。) を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量	② 床コンクリートの	下表以外は標仕表6.2.4及び標仕15.3.2による (表6.2.4) (
	配合比 (各重量比)	] [	· X-2	・シルバー	1	※規制対象外 ・第三種	直均し仕上げ	施工箇所 平たんさ (mm) 備
	(セメント+混和材):砂=1:1	·	- Y-1 地下外壁防水	・カラー Y-2工法の保護シート	5 防腐·防蟻処理	行う箇所 ( )		フリーアクセスフロア (パネル構法) 範囲 Imにつき10以下 塗料塗りの場 フリーアクセスフロア (清構法) 範囲 3mにつき7以下
	無収縮モルタルの品質及び試験方法	.	· Y-2	※適用する ・適用しない		防腐処理 ※行う(※図示 · ) (12.2.1 防螺処理 · 行う(※図示 · ) (12.2.1		
	コンシステンシー Jロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値は 8±2秒		脱気装置 ・設ける 材質 ( ) 設置数量 ( ㎡	当たり1箇所)	1	防難処理 行う(※図示 ) (12.2.1 防腐、防蟻処理の種類、品質	③ 仕上塗材仕上げ	(15. 5. 2)
	ブリージング 練り混ぜ2時間後のブリージング率 : 2.0%以下				1	表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。		種 類 呼び名 仕上げの形状等
	凝結時間 凝結開始時間 1時間以上 終結時間 10時間以内	<ul><li>⑤ シーリング</li></ul>	下表以外は、標仕表9.6.1による 施工箇所 シーリ:	(9.6.2) (表9.6.1) ング材の種類(記号)	6 床板張り	フローリング及び縁甲板張り床 (12.7.1) (表12.7.	_	・薄付け仕上塗材 ・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si
	無収縮性 材齢7日 収縮しないこと	:	外壁 間仕切 変性シリコン		1	※無し	-	厚吹きセラキャストX ・外装薄塗材E ・砂壁状 ・着色骨材砂壁状・多彩隙
	圧縮強度   材齢3日   25.0N/mm²以上   材齢28日   45.0N/mm²以上		I <del></del>		1	下張り用床板 ※合板張り ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種	_	同等品 山本窯果化工   ・内装薄塗材E   砂壁状じゅらく   ・可とう形外装薄塗材E   ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状
	付着強度 材齢28日 3.0N/mm <sup>2</sup> 以上	:			1	・板張り	-	・防水形外装薄塗材E ・ゆず肌状 ・さざ波形 ・凹凸状
	塩化物量         0.30kg/m³以下           試験方法         1)日本道路公団規格(JHS)「無収縮モルタル品質管理試験	10 1 天然石張り	石の種類・表面仕上げ	(10. 2. 1) (表10. 2. 1, 2)	1			- 外装薄塗材S 砂壁状 - 内装薄塗材C
	方法」312-1992による。	石		厚さ (mm) 仕上げの種類	1	- 縁甲板 ※ひのき	<b>-</b>	・内装薄塗材L
	<ol> <li>塩化物量は、JIS A 5308「レディミクストコンクリート」</li> <li>の9.6塩化物含有量の試験方法による。</li> </ol>	工		<del>                                     </del>	1			- 内装薄塗材Si - 内装薄塗材W 京壁状じゅらく
	•	'			1		<b>⊣</b>	・ 検層塗材CE ・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ※凹凸
溶融亜鉛めっき工法	(7.12.3) (表14.2.2) 亜鉛めっきの種別 材料 適用部位	·	<del></del>	<del>                                     </del>	3 1 長尺金属板葺	(13.2.2,3) (表13.2.1	1 1	・可とう形複層塗材CE 耐候性 ※3種・ ・複層塗材Si 上塗材
	- 黒鉛のうさの程別 - 村 村 - 週州即位	1		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	₫	屋根葺形式 長尺金属板の種類 板厚 (mm)	[] [	・複層塗材E 溶媒 ※水系 ・溶剤系
		2 テラゾ張り	種石の種類 ※大理石 - 表面仕上げ ※本磨き -	(10.2.1) (表10.2.2) 材	艮 <b>克</b>	※塗装溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき 網板及び銅帯 (CGLCCR-20-AZ150)	1 1	※複層塗材RE 樹脂 ※アクリル系 ・複層塗材RS
	B種 最低板厚3.2mm以上、4.5mm未満の形銅、銅板		表面任エリ ※ 本賠さ 形状・寸法 ※ 図示	Ť	ž	AND SEASON OF THE CONCROSION CONTRACTOR OF THE C	-	・防水形複層塗材CE 外観 ※つやあり ・つやなし
	普通ポルト、アンカーポルト 最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の影響、網板	<b>○</b> № □ = = = = = = = = = = = = = = = = = =	生 从除工证	(10. 3. 2, 3) (10. 5. 2, 3)	- 2 折板聋	(13.3.2,3) (表13.2.1		
	最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板 素地ごしらえは、JIS H 9124溶融亜鉛めっき作業指針による。	③ 壁の石張り	法 外壁石張り 工法	(10. 3. Z, 3) (10. 5. Z, 3)	F	形 式 ※重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形	[	・防水形複層塗材配 ・防水形複層塗材RS 防水形の増塗材 ※行う
			・外壁湿式工法(※流し筋工法 ・ (・) 飲式工法	)	1	形状 (mm)         山高 ( )         山ピッチ ( )         板厚※0.6 ・0.8           材料         ※塗装溶験55%アルミニウムー亜鉛合金めっき銅板及び銅帯 (CGLCCR-20-AZ150)	-	・軽量骨材仕上塗材 ・吹付用軽量塗材 砂壁状 ・こて塗用軽量塗材 平たん状
			- 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		1	(規格等)	_	・こて
			裏打ち処理・行う		1	軒先面戸板     ※有り     ・無し       断 数 材     ※有り(種別:     厚さ:     mm) ・無し	-	※規制対象外 ・第三種
			ドレンパイプ ※ステンレスSUS304 -		1	耐 然 材 ※有り(程別: 厚さ: mm)・無し 耐火性能 ※30分耐火 ・無し	<u>:</u>	防火材料の指定 ※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。
			内壁石張り	(10. 4. 2, 3) (10. 5. 2, 3)		お 2 ※配管用細管 <a></a>		1
			工法 ・内壁空積工法 (※あと施エアンカー横筋流し工法 ・あと施	エアンカーエ法)	③ ≥ιν	材 種 ※配管用鋼管 ・硬質塩化ビニル管 (13.5.2) (表13.5.1 ・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管 (REP-VU) G		1
			<ul><li>乾式工法</li></ul>		1			
			裏打ち処理・行う			銅管製といの防露 ※様仕表13.5.5による (13.5.3) (表13.5.5)	1 1	1
		4 床及び階段		(10.6.2)	1	防露材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種		
			屋内のワックス掛け ・行う	(10. 1. 5)	1	掃除口 ※有り・無し		
	<u> </u>	<u> </u>						Zarba
				事 務 所 登 録 第 1009号	検 印	┃意 匠  構 造 ┃設 備	//C16\ 40\ <del>4</del>	
	<del></del>	十	应 弘 卦 車 玖 元		1/2 -11-	<del>  1                                 </del>	(収称) 観光分光	fiセンター2期建設工事 │ │ N・D │
	有限会	社 藤	﨑 設 計 事 務 所	管理建築士 藤﨑 透		事名	(収称) 観光父) 	尺
			﨑 設 計 事 務 所 			工事名		

				_	0 ***					(1.5.0)	$\overline{}$		エ法 ・プレボーリング拡大根固め工法 ・	中枢拡大規関が下注	
	章 項 目	特 記 事 1		-l	① 技能士	適用工事種別			技能検定作業	(1. 5. 2)			北海 ・	7-瑞仙人依回60工法	
(仮称) 観光交流センター建設 工事設計図 平成 年 月(全 枚)	1 ① 適用基準等	<ul><li>○建築工事標準詳細図 (国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課 〇工事写真の撮り方(改訂第二版)建築編 (国土交通省大臣官房</li></ul>		П		仮設工事 鉄筋工事	・とび作 ・鉄筋制	:業  立作業					セメントの種類 6章コンクリート工事のセメントの種類に		(4.5.3) (表4.5.1)
18 + 7/2 0	投			П		コンクリート工事 鉄骨工事		エ・コンク 鉄工事作業	クリート圧送工事作業			<ol> <li>場所打ち</li> <li>コンクリート杭地業</li> </ol>	コンクリートの種別及び設計基準強度 ( )種かつ ( )N/mm <sup>2</sup> 以上		(4.5.3) (数4.5.1)
<i>1</i> . +≄ <del>-</del>	型事 ② 工事実績情報の登録	※適用する	(1.1.4)	П		コンクリートブロック・	ALC ・コンク	リートブロック	クエ事作業				鉄筋の種類 5章鉄筋工事の鉄筋の種類による		(4. 5. 3) (4. 5. 4)
仕様書	③ 品質計画	<ul><li>建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。</li></ul>	(1. 2. 2)	П		パネル・押出成形セメント 防水工事		ルシーパネル フルト防水エ	工事作業 事作業 ・ウレタンゴム系塗	全膜防水工事作業			■ 堀削工法 ・アースドリル工法 (・安定液使用 ・無水 ・リパース工法	堀削)	(1.3.1)
I 工事概要		※風速(Vo= 34 ) ※地表面租度区分(・I ・Ⅱ <u>○</u> 皿 ・Ⅳ )		П					防水工事作業 ・合成ゴム系 防水工事作業 ・セメント系				・オールケーシング工法(孔内の水張 ・行	う ・行わない)	(4.5.5)
1. エ専場所		○積雪区分 建告示第1455号 別表 ( )		П			・シーリ		業 ・改質アスファルトシート				・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・拡底杭工法(※安定液使用	)	(4. 5. 5)
-	④ 電気保安技術者	25 c m 工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気:	主任技術者の職務を (1.3.3)	П		石工事	· 石張 !	作業							4.5.0
3. 工事種目 增築		補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。		П		木工事	· 大工3						側壁測定     ・行う(       セメントの種類     高炉セメントB種G	わない	(4. 5. 4)
	5 条件明示項目	・要・不要	(1.3.5)	П		屋根及びとい工事 金属工事			<ul><li>・スレート工事作業</li><li>・内外装板金作業</li></ul>			3 砂利地業	※再生クラッシャラン G ・切込み砂利及び切込み砕石		(4. 6. 2)
<u> </u>	⑥ 発生材の処理等	※現場説明書による ・構外搬出適切処理	(1.3.8)	П		左官工事 建具工事	<ul><li>左官作</li><li>ビル月</li></ul>		業 ・ガラス工事作業		16	④ 床下防湿層	施工箇所 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート	下(ピット下を除く)	(4. 6. 6)
	① 建築材料等	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質ス	及び性能を有するものとし、	П		カーテンウォール工事	・自動!	ア施工作業			5 (i	1) 鉄筋の種類	種類の記号	呼び名 (mm)	(5.2.1) (表5.2.1)
建設概要		JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の		П		l	・ガラス	工事作業	ール工事作業 ・ビル用サ	フックルエ1F来 	鉄筋		· SD295A ※D16以下 ·	70-E (IIII)	
建物名称 構造 階数 紅木面積 建築基準法 (㎡) 別表第1の区分 備考		たすものとする。 (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること	Ė	П			・プラス		上げ工事作業 ・カーペット	ト系床仕上作業	事		· SD345 ※D19以上 ·		<u> </u>
(仮称) 観光交流センター     鉄骨     1     433.75     435.07     物品販売店     当該工事申請面積及び主要用途		(2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること (3)安定的な供給が可能であること		П		排水工事		仕上げ工事作3 管作業	業・壁装作業						
		(4)法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得して	ていること	П		舗装工事 植栽工事	<ul><li>溶融ペッ</li><li>造園コ</li></ul>		コーエ事作業 ・加熱ペイントマジ	ンマーカー工事作業	0	② 鉄筋の継手	D19以上の柱、梁の主筋 ※ガス圧接 · 重ね継手		(5. 3. 4)
		(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること		П	10 // ### 50 0 70 70 70 70	E-9-7	Æ.65-2	717-5		(1.5.0)		3 鉄筋の最小かぶり	最小かぶり厚さは目地底から算定する。	7	(5.3.5)
		なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質 明となる資料又は外部機関((社)公共建築協会 他)が発行す		П	12 化学物質の濃度測定			ヒド、トルエン	ン、キシレン、エチルベンゼ	(1.5.9) ジン、スチレン		厚さ	・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表に 施工箇所	標仕表5.3.6の値に加	Дえる寸法 (mm)
		に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督員 の限りでない。	裁員の承諾を受けた場合はこ	П		の濃度を測定し、報告す 測定はパッシブ型採取機							・柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	*10 ·	<del></del>
		また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等 等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。	<b>停品を使用するものとし、同</b>	П		着工前の測定 ※行 測定対象室 · 図		行う					<del></del>		
4. 工事範囲				П		測定箇所数 · 図 報告の様式等については	<del>,</del> ,	⊦ Z			1	4 既製コンクリート杭 の杭頭補強	- A形 - B形 ※図示		(5.3.1) (別1.1)
<ul> <li>※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。</li> <li>・「3. 工事種目」のうち</li> <li>の工事範囲は下記表のとおりとする。</li> </ul>	<ul><li>③ 化学物質を発散する 建築材料等</li></ul>	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定: するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。	する所要の品質及び性能を有	П	0	1		o-100							(242.4)
ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。		1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単樹 ボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及		П	(3) 完成図等	※完成図			3 (A3版第2原図及び電子媒体	(1.7.1~3) (表1.7.1) k (CD-R))	١.	5 最上階柱頭補強	・行う ・行わない		(別2.1)
2 仮設工事 工事範囲全て		ドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレ:		П				部 · 部			(6	6 帯筋	※H影 (□は除く)		(別2. 2)
3 ±I#		めて少ないものとする。		П		※保全に関する資料	是出部数 ※1	· 部	3		7	7 壁開口部の補強	一般壁 · A形 ※B形 · 図示 耐震壁 ※図示	(	(別4.2) (別表4.3、4)
4 地衆工事		3)接着剤はフタル酸ジーn-ブチル及びフタル酸ジー2-エラ 揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、		П	④ 完成写真	下記のものを監督職員に 分類・規格	是出する。ただ	し、原板は撮影 撮影箇所数		原板の大きさ(mm)		② 梁貫通孔の補強形式	※H形 ・MH形 ・M形	(1	別7.1) (別表7.1~3)
5 鉄筋工事		を発散しないか、発散が極めて少ないものとする。		П		・カラー		1 ( ) 内部					・A種 ・B種 ・C種 ( ヶ所)		(別7.3)
6 コンクリート工事		<ul><li>4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルク 散が極めて少ないものとする。</li></ul>	・プピンを光板しないが、光	П		※キャビネ版 ※べた焼	_			※100×125以上	ـ ا	9 機械吊上げ用フック	I · · · · · · · · · · · · · · ·		
7 鉄骨工事		5) 1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家駅 什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極る		П		(他に外観正面・カラー半切木製パネ		(カラーキャビ			"	① 圧接完了後の試験	※超音波探傷試験 引張試験		(5. 4. 9)
8 コンクリートブロック・ALCパネル 押出成形セメント板工事		また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの発散量」は、 規制対象外	、次のとおりとする。	П		324×400 (mm) ・電子データ	外部	『( )内部	( ) <b>*2</b> ·	※200万画素以上					
9 防水工事		①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ◎ htt ##はなに会会の6の6の75年4万による日本で第十万日	河 ⇔ ロ	П					■ じめべた焼を提出し確認を受		6	〕 普通コンクリートの			(6.1.4)
10 石工事		②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣 ③下記表示のあるJAS規格品	IS 走前	П		電子データは、RGB(フ) 撮影業者 ※監督職員の			とし、CD-Rにて提出とする。	•	₹	設計基準強度	設計基準強度Fc (N/mm²) ※21 建物躯体	施工筃所	
11 タイル工事		a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用		П		(ただし、建	完成写真撮影	の実績のある業	(者とする。)		クリ		(建物内土間 ・18	コンクリートを含む)	
		c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒ d. ホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用	ドを発散しない材料使用	П	⑤ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い	等の検討できる	施工図を提出し	して、監督職員の承諾を受け	tā.	<u> </u>				
12 木工事		e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒ		П	⑥ 設計GL	※図示 ・設計GL=	見状GL				事				
13 屋根及びとい工事		f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒ 第三種	トを発放しない塗料等使用	П	① 工事写真	·「営繕工事電子納品要	(案) (平成	4年11月改訂版	i) 」による。			② レディーミクスト	※I類 · I類	(6.1.5)	(6.4.1,2) (表6.1.1)
14 金属工事		①JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣	要金品	Ш							П.	コンクリートの類別			
15 左官工事		③旧JISのEo規格品		仮	(1) 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は	現場説明書によ	<b>ర</b>		(2.3.1)	[3	③ スランプ	工作物のスランプ 15又は18cm		(6.2.3)
16 建具工事	③ 特別な材料の工法	④旧JASのFco規格品 標性に記載されていない特別な材料の工法については、材料	別連形の指令ナステ注レナス	設工	② 工事用水	構内既存の施設 ※利	用できない	・利用できる	(※有債・無債)	(2.3.1)	I @	4) セメントの種類	セメントの種類	(6.3.2) (6.13.2) 施工箇所	(6.16.2) (表6.3.1)
17 カーテンウォール工事				1 1	③ 工事用電力	構内既存の施設 ※利	用できない	・利用できる	(※有償・無償)	(2.3.1)			※普通ポルトランドセメント又は 混合セメントのA種		
18 塗装工事	① 建設機械	本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、排出力 なお、排出ガス対策型建設機械に代えて、国交省で認定された		1	④ 枠組足場	1			ガイドライン」(厚生労働省 やすい安心感のある足場とし	I .			・高炉セメントB種 G		
19 内装工事		ついても、排出ガス対策型と同等とみなすものとする。 ※排出ガス対策型建設機械とは、排出ガス対策型建設機械	と中面紹介甘づき団+六海公が指中された	П		1			「専用足場型とするか、又は 「	I .			普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示され		
20 ユニット及びその他の工事		排出ガス対策型建設機械をいう。		J ∣		用いて手すり先行専用足	暑型と同等の機	能を確保するも	ものとする。				するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合		£ (   □ 適合
		機 種・バックホウ	備 考 ディーゼルエンジン	Ш									水和熱         7d         352J/g以下           28d         402J/g以下		
Ⅱ 建築工事仕様		<ul><li>トラクタショベル(車輪式)</li></ul>	<ul><li>(エンジン出力7.5kW以上 260kW以下)を搭載した建</li></ul>		① 埋戻し及び盛土	種別 ・A種 ※B利 ・建設汚泥から利		·D種 G		(3.2.3) (表3.2.1)	(	5) 骨材の種類	アルカリシリカ反応による区分		(6.3.3) (6.5.4)
<ol> <li>共通仕様         <ul> <li>(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営締部の「公共建築工事標準仕様書(建</li> </ul> </li> </ol>		<ul><li>・ブルドーザ</li><li>・発動発電機(可搬式)</li></ul>	設機械を対象とする。	事	② 建設発生土の処理	※構外指示の場所 受け入れ場所(			,	(3. 2. 5)			<ul><li>※A</li><li>・B(※コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m³以下)</li></ul>	ı	
(1) 園園のひ付記に採い出版されていると手列は、圖工ス型別へ配告が自り告報的の「公共産業工手標子に保管(産 築工事編)(平成19年版)」(以下、「標仕」という。)による。		<ul><li>・空気圧縮機(可搬式)</li><li>・油圧ユニット類</li></ul>				搬出距離 (	km)		,	´	10	6) 混和材料	※混和剤 ·混和材		(6.3.5) (6.4.8)
		以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独 ディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの	立した	$\mathbf{H}$	1 既製コンクリート杭	· 構外搬出週初处埋 · 種類	構内指示の場別	1にたい枝 ・作	構内指示の場所に敷き均し	(4. 3. 1, 2)	- 1	7 無筋コンクリート	設計基準強度Fc (N/mm²) ※18		(6. 14. 3)
2. 特記仕様		: 油圧ハンマ・パイブロハンマ・油圧式鋼管圧入引抜機・ ・オールケーシング掘削機・リバースサーキュレーショ		地	地業	※高強度プレストレス	トコンクリー	杭			-   '	, mm = 2 / ) 1	セメントの種類		(0.14.0)
<ul><li>(1) 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。</li><li>(2) 特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。</li></ul>		<ul><li>アースドリル・地下連続壁施工機・全回転型オールケー</li><li>ローラ類</li></ul>	ーシング掘削機	工事		杭径 (mm) 試験杭	杭	長(m)及び種別	削 継手数 セ	ツト数 備考			<ul><li>※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種</li><li>・高炉セメントB種 G (捨てコンクリート)</li></ul>		
<ul><li>⑤ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。</li><li>⑥ 印と⑥ 印の付いた場合は、共に適用する。</li></ul>		: ロードローラ・タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン									1	8 コンクリート躯体	外装タイル後張り面の躯体表面の処理		
(3) 特記事項に記載の ( ) 内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の (別 ) は (5.3.7) による別図「各部配筋」の当該項目を示す。		※建設機械を使用しないときは、エンジンを停止するなど建設	● ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 1		本杭						表面の処理	MCR工法を行う場合は、せき板面にMCR工法用気泡ポリエ 凹凸状態とする。	チレンシート張りとし、作	土上がり面
(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また ( ) 内は製品名を示す。 (6) 🜀 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。		・低騒音型建設機械の適用				杭頭の処理 ※切断し	tan .			(4. 3. 7)			高圧水洗工法の目荒しを行う場合は、水圧50N/mm <sup>2</sup> 以上が を監督に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、		
_		建設機械名 ・		П		先端部形状 ※開放形	- B	そく平たん形		(4. 3. 2)			コンクリートの増打ち厚さ ※20mm ・ ※施工範囲は図示による。		
		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				施工法	ムに基づく 指足	人は必足を受!	けた継手を使用してもよい。	(4. 3. 6) (4. 3. 3~5)	Ι,	9 断熱材兼用型枠	適用及び適用個所について		
						・特定埋込み杭工法 ・H13国交告1113	第6による支持	力算定式でα=	=250程度を採用できる工法		١		標仕19章内装工事14断熱材による。		
						・H13国交告1113 を採用できるエ		)力算定式でα=	= , β= , γ=		•	① 単位水量の測定	・行う ①行わない		
			事 務 所 登 録 第 1009号	┰	<u>I</u> 検印	意匠		造設	備		<u> </u>	#= J. → ·		N. ~	
'"   有 限 会 社	藤崎	設計事務所	管理建築士 藤﨑 透			1.5. 12		-   10	事	名 (仮和	环)	観光交流セ	ソンター2期建設工事	N · D	A /
[			1 級建築士第128417号						w #=	名	杜丰	<b>記什样</b> 聿(	建築) その1		] / ,
記	:子武雄94-7TEL095	54-23-1001 FAX0954-22-5533		1						7	াকা	ᆙᅜᄣᇎᆈᆒ	在本/(ツ)   付	- 7 -	1/

16	1 見本の製作等	・特殊な建具の仮組(建具符号: YKKap システマ同等品	) (16.1.4)	17 1 メタルカー ウォール		本建築学会JASS14による。 (17.2.2)	18	① 树料	屋内の壁、天井仕上げ材は防火 建物内部に使用するユリア樹脂		レムアルデヒドの幼粉号	(18. 1. 3)	<ul><li>せっこうボード</li><li>その他のボード張り</li></ul>	(19.7.2) (表19.7.1) 種 類 JISの記号 厚さ(mm)、規格等
世	② アルミニウム製建具	外部に面する建具・引達戸枠見込み以外は製造所標準仕様による		¥ 31-10	種類	規格等	-   ※		※規制対象外 ・第三種	寺を用いた宝谷の小川	レムブルブと下の放散量		ての他の水ード張り	・硬質木毛セメント板 HW G ⋅ 15 ⋅ 20 ⋅ 25 ⋅
H #h		種別   耐風圧性 気密性 水密性   枠見込み (mm)   ・A種   S-4   ※A-3   ※W-4   ※70	施工箇所 ※図示	ソト	※アルミニウム製 ※標仕16.2.3のア	アルミニウム製建具の材料による	H	② 素地ごしらえ	亜鉛めっき面の素地ごしらえの	種別	(18. 2. 4)	(表18.2.3) (表18.3.4)		- 普通木毛セメント板 NW ⑤ 15 · 20 · 25 ·
		○B種 S-5		₩ ₽	カーテンウォール方式		<b>-</b>		種別		部位及び塗料種別	-		○ロックウール化粧吸音板 DR ※フラットタイプ (※9 (不燃) 12 )
		- C種 S-6 A-4 W-5 100 表面処理 ※B-1種 · B-2種 (→プラウン系 · ブラック ·	ステンカラー) (表14.2.1)	7	<ul><li>・方立方式</li><li>・パックマリオン方式 (・単純2辺支持構法・・)</li></ul>	SSG標法)			A種 銅製の建具及び、 塗りの場合	2液形ホリワレタンエ	ナメル塗り、常温乾燥形	ふつ素樹脂エナメル		・凹凸タイプ(※12(不燃)・15 ・19 ・ ) ・ロックウール化粧吸音板 DR ※フラットタイプ 9 ((個)不燃)
				H m	· スパンドレル方式				B種 A種、C種以外	キシ樹脂塗料を塗装す	L 7 III A			<ul><li>(軒天井用)</li><li>DR (凹凸)</li><li>・凹凸タイプ (※12 ・15) ((個) 不燃)</li><li>DR (軒天)</li></ul>
		屋内建具 ・製造書標準仕様による 表面処理 ※C-1種又はB-1種	(表14.2.1)	~	<ul><li>・パネル方式</li><li>・小型パネル組み合わせ方式 (・ノックダウンカ</li></ul>	方式 ・ユニット方式)			「種 ト座りに変成工不	<b>キン</b> 樹脂塗料を塗装9	りも場合	<del></del>		DR(軒天) DR(軒天凹凸)
		・C-2種又はB-2種 ○ブラウン系 ・ブラック ・	ステンカラー)		シーリング材及びガラス取付け材料 下記以外は標仕表9.6.1による	(9.6.2) (17.2.2) (表9.6.1)			せっこうボード及びその他のボ		その種別	(18.2.7) (表18.2.7)		<b>⊙</b> せっこうボード GB-R ※12.5 (不燃) ○9.5 (準不燃)
	③ 網戸	防虫網	(16.2.3)			シーリング材の種別	<u>-</u>		種別 ※A種 -B種(施工箇)	er :		,		- 不燃積層せっこうボード     GB-NC     9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用)       化粧有 (トラパーチン模様)
		網の種別 ※ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ 会成樹脂製 ・ ステ 形 式 ※外部可動式 ・ 固定式 * 固定網戸はステ:			被着体の組合せ 記号 主	成分による区分 耐久性による区分	<b>-</b>	3 床用塗料塗り		塗料(※標準色 ・	)			・シージングせっこうボード GB-S 12.5 (不燃) ・強化せっこうボード GB-F 12.5 (不燃) 15.0 (不燃)
	_	形 式 次外部可製式 ・固定式 * 固定期中は人子。	プレス製		金属 ガラス 石、タイル		-			・防滑仕上げ のうえ主剤2回塗りと	し、総塗布量は0.5kg/m²!	以上とする		- 強化せっこうボード GB-F 12.5 (不燃) 15.0 (不燃) - せっこうラスボード GB-L 9.5
	④ 銅製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による 耐風圧性の適用は建具表による	(16.3.2) (表16.3.1)		ガラス ガラス 構造用ガスケット ※適用しない	(37.0.0)	-	4 防塵用塗料塗り	材質 水性アクリル系	HIDE AND AND AND THE RES	,			・化粧せっこうボード GB-D 12.5 (不燃) 幅440mm程度 Q9.5 (準不燃) (木目) ・ (木目) ・ 本日) ・ 本日) ・ 本日) ・ 本日) ・ 本日 ・ 本日 ・ 本日
		特定防火設備の戸 ・適用あり			情追用ガスケット ※適用しない ・適用する (施工箇所:図示	(17. 2. 2)		4 防壓用坐秆坐り		樹脂塗料(※標準色 ローラー刷毛塗り)	,			・ 雑燃合板
	⑤ 銅製軽量建具	*メーカー規格品: メーカー仕様による 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による	(16. 4. 2)		断熱材 ※適用しない ・適用する(種類: 厚さ(1	(17.2.2)	·		塗布量 主剤2回塗とし、	総塗布量は0.25kg/m	『以上とする。			・不透明塗料塗り(しな合板程度)           ・メラミン樹脂化粧板         JIS K 6903による 厚さ1.2
	① 辨表柱里建具	間	(10.4.2)		・ 畑州 9 つ ( 住頭: 厚さ ) 製品の寸法許容差 ※標仕表17.2.1による	(17.2.3) (表17.2.1)	19	① 接着剤				(19. 2. 2) (19. 3. 3)		・ ミディアムデンシティ MDF G · 3 · 7 · 9 · 12 ·
	6 ステンレス製建具	耐風圧性の適用は建具表による			・製造所標準製作規定寸法許容 アルミニウムの表面処理	差による (17.2.3) (表14.2.1)	压		壁紙施工用でん粉系接着剤、ユ ※規制対象外 ・第三種	リア樹脂等を用いた技	<b>接着剤のホルムアルデヒト</b>	の放散量		ファイパーボード ・ 単板張り
		表面仕上げ ※111.程度 ・鏡面仕上げ ・	(16.5.4)		種別	色彩等	H		※接着剤に含まれる可塑剤は、	難揮発性のものとする	5.			パーティクルボード ・10 ・12 ・15 ・18
		曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (補強あり) 特定防火設備の戸 ・適用あり	(16.5.5) (表16.5.1)		· A-1種     · B-1種     無着色       · A-2種     · B-2種     ※ブラウン系	6 ・ブラック ・ステンカラー ・	-  #	② ビニル床シート張り				(19.2.2)		・ハードボード (素地) HB G ・無研磨板 (・スタンダード ・テンパード ) ・研磨板 (・スタンダード ・テンパード )
					· 着色塗膜   塗装材料(	<b>続付け方法( )コート( )ベーク</b>	<u>-</u>			JISの記号	色 柄	厚さ (mm)		・インシュレーションボード IB G A級 (・天井仕上 ・内装仕上 ・
	① 自動ドア開閉装置	開閉方法 セン・	(16.8.2、3) (表16.8.1~3)		耐風圧性能 性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告:	(17.1.3) 示第1454号に定められた風圧力に対して	` <b> </b>		※発泡層のないもの ※ ・発泡層のあるもの		無地 ・マーブル柄( 柄物 ・無地			9 ·12 ·15 ·18 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
			<b>ノトスイッチ</b>		安全であること。									※規制対象外 ・第三種
		・スイングドア ※光線スイッチ ・音波スイ ・熱線スイッチ ・光電スイ			・正圧 N/m <sup>2</sup> 以上及び負圧 N/m 主要部材のたわみ	m <sup>*</sup> 以上に対して安全であること。	_		工法 ※熱溶接工法 ・突	付け (施工箇所:		) (19. 2. 3)		軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 (19.7.2) (表9.6.1) ※適用する 適用しない
		・凍結防止措置(適用箇所は建具表による)			支点間距離 (h) たわみ量 ※± (1/150) ×h	状態 ※各部の破損、残留変形	-	3 ビニル床タイル張り				(19. 2. 2)	12 吸音材	(秦19.7.1)
	⑧ 自閉式上吊り引戸装置	品質規格 ※標仕表16.9.1による	(16. 9. 2, 3)		※毎以下 かつ絶対量20mm			3 ヒニル体タイル張り	種類		JISの記号 厚さ (mm)		12 収 目 19	種 類 JISの記号 厚さ (mm)
		・製造所標準仕様による			・ 細を超える 耐震性能	(17. 1. 3)	-		※コンポジションビニル床タイ ・コンポジションビニル床タイ		CT %2			・ロックウール吸音ボード1号 RW-B ※25 ・ ※グラスウール吸音ボード32K GW-B ※25 ・
	9 木製建具	かまち戸の樹種 かまち ( ) 鏡板 (	) (16.6.2)		設計用震度 水平方向(K <sub>H</sub> ) ※1.0 ·				<ul><li>・ホモジニアスピニル床タイル</li></ul>		HT 2.5	木調		
		ふすまの上張り	(表16.6.3)		<ul><li>垂直方向(K<sub>V</sub>) ※0.5</li><li>建物の構造種別 層間変位量(h=支</li></ul>	友点間距離) 状態	-						① 壁紙張り	(19.8.2) 壁紙の種類
		※新鳥の子又はビニル紙程度(押入等の裏面は除く) ・鳥の			鉄骨造 ※± (1/100) ×h以	•	<b>-</b>	4 帯電防止床タイル	種類	= ± (-)		(19. 2. 2)		施工箇所 繊維 ブラ その他 紙 (維集) ドピュルギャ学編件 無機質 防火性能 備 考
		建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒ ※規制対象外 ・第三種	ドの放散量 (16.6.2)		鉄筋コンクリート造 ※± (1/200) ×h以	主要部材に有害な歪みが起こら 以上 ない		張り	種 知 ・コンポジションビニル床タイ	厚さ (mm) (ル ※2 ・	体積抵抗値(JIS	性 能 K 6911による)		(織物) (ビニル) (火準維) ○ ○ ○ 不燃・準不燃・難燃
	10 建具用金物	マスターキー ※製作する ・製作しない	(16.7.4)		鉄骨鉄筋コンクリート造 水密性 ・W-4 ・W-5 ・	シーリングは補修程度 (17.1.3)	-		・ホモジニアスピニル床タイル	※4.0又は4.	<ol> <li>1.0X10°Ω以下、a 漏えい抵抗値(JI</li> </ol>			軽食・喫茶   ○   ○不燃・準不燃・難燃
	V KAMEW	建具用金物	(16. 3. 6) (16. 4. 6)		気密性 · A−3 · A−4 ·	(17. 1. 3)					1.0X10 <sup>10</sup> Ω未満	0 X 140412 (\$4.07)		- 不燃·準不燃·難燃
		<b>錠類はシリンダー箱錠(レバーハンドル)とする</b> なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾	を受ける (16.7.2)		耐火性能 ※適用しない ・適用する (時) 映像調整 ※行わない ・行う (建具表による)	間、施工箇所:図示)		⑤ ビニル幅木	高き (mm) ※60 ①75	- 100		(19. 2. 2)		・不燃・準不燃・難燃 ・不燃・準不燃・難燃
		吊金物			製造所 性能等の確認できる資料を提出し監督	職員の承諾を受ける								素地ごしらえ (表18.2.4) (表18.2.7)
		<ul><li>・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい)</li><li>・ビボットヒンジ</li></ul>		2 PCカーテン	ンウォール 設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日	本建築学会JASS 14による。		6 カーペット敷き	・織じゅうたん 種別 パイル形物	t 色	柄等	(19.3.3、4) (表19.3.1、2) 備 考		モルタル、ブラスター面     ※B種 ・A種 (施工箇所: )       せっこうボード面     ※B種 ・A種 (施工箇所: )
	① ガラス	※建具表による	(16. 13. 2)		コンクリートの種類及び品質 ※標仕17.3.2による	(17. 3. 2)			・A種 ・カットパイル ・B種 ・ループパイル	※無地	(標準品)			壁紙のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 (19.8.2)
	0 " //	・ガラスブロック	(16. 13. 5)		<ul><li>下表による。ただし、下表以外は標仕17.3.2に</li></ul>		_		・C種 ・カット、ループバ	イル併用	(徐平山)		④ 断熱材	(19. 9. 2, 3)
		表面形状 呼び寸法 (mm) 厚さ (mm ・正方形	n) 色調 防火性能 ※クリア ※無し		コンクリートの種類 設計基準分	強度 (Fc) 所要スランプ (cm)	-		耐電性 ※人体帯電圧3kV以下					種類     施工箇所     厚さ (mm)     品質等       ・押出法     ※2種b     ※一般部     ※25     特定フロンを使用
		· 長方形	· 有り		鉄筋 ※SD295A -		-		・タフテッドカーペット			(19.3.3,4) (表19.3.2)		ポリスチレン ・ しないもの
	② ガラス留め材及び溝	ガラス留め材	(16.13.2) (表9.6.1)		取付け用金物の表面処理(鉄の亜鉛めっき)及び材	質 (14.2.3) (表14.2.2)				パイル長 (mm) ~7 ・	工 法 ※全面接着工法	備考		フォーム ※3種b 接地部分 ※25 保温板 (スキン層付)
		建具の種類 材 アルミニウム製 ※シーリング材・ガスケット (F)			金物種類及び部位 PC版打込み金物 ※E種	内 部	-			~6 .	・グリッパー工法			・現場発泡断熱材     ※断熱材補修部分     特定フロンを使用       ・一般熱     ※15     しないもの
		がミニウム袋 ※シーリング村 ・ガスケット (F) 銅製及び銅製軽量 ※シーリング村	IA部はシーリング材)		PC版打込み取付けポルト ※E種		<u>-</u>		・カット、ループ併用					
		ステンレス製 ※シーリング材 防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するも	のとする。		2次ファスナー     ※E種       取付けボルト     ※E種	※A種 ※A種	-		耐電性 ※人体帯電圧3kV以下	•				製造所 性能の確認できる資料を監督職員に提出する ・断熱材兼用型枠 ・木質系 ※壁(図示の範囲) ※40以下 断熱抵抗
		板ガラスをはめ込む溝の大きさ	(16. 13. 3)		レベル調整ボルト ※E種	※A種	<u>-</u>		・タイルカーペット	L 111 /		(19.3.3) (表19.3.2) 備 考		・コンクリート系 =厚さ/熱伝導率
		標仕16.13.3 以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は JASS 17ガラス工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が			上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による		-			型 類 寸法 (F F一種 ※500×50	mm) 総厚さ (mm) 00 ※6.5	1		・ブラスチック系 =0.676以上 (m³・k/w)
		監督職員に提出する			シーリング材料	(9.6.2) (17.3.2) (表9.6.1)			・カットパイル	5二種		<del>                                     </del>		製造所 建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法 の開発」において、評価を取得したもの
	13 ガラス用フィルム	名 称 種 類 張り			下記以外は標仕表9.6.1による		_		・カット、ループ併用					ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した
		※ガラス飛散防止フィルム 第2種 ※内張り・	外張り 飛散防止率 D1		施工箇所 記号 主	シーリング材の種別 E成分による区分 耐久性による区分	-		耐電性 · 人体帯電圧3kV以下	(フリーアクセスフロ	ア敷設範囲)			断熱材のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種
		品質 JIS A 5759による			カーテンウォール板間目地		<u>-</u>	7 合成樹脂塗床				(19.4.2,3) (表19.4.1~7)	15 浴室天井材	市販品
	14 重量シャッター		(16. 10. 2)				<u>-</u>	/ 智成樹脂坐床	種別		仕上げの種類			材質     表面仕上げ     性能     幅(mm)     備考       ※アルミニウム製     ※焼付け塗装品     準不燃品     ※200     回り縁は樋付き
		シャッターの種類       ・一般重量シャッター     耐風圧性能( ) N/m²			断熱材 ※適用しない ・適用する (種類:	厚さ (mm) :施工箇所 ※図示)	<sup>-</sup>		・弾性ウレタン塗床材 ・エポキシ樹脂塗床材	※平滑仕上げ ※薄膜流し展べ仕.	・防滑仕上げ ・つや》 トげ	肖し仕上げ		・アルマイト処理品 ・100 とし、製造所の ・硬質塩ビ製 ※塗装品 ※300 標準品とする。
		・外壁用防火シャッター 耐風圧性能 ( ) N/m²			製品の寸法許容差 ※標仕表17.3.1による	(17.3.3) (表17.3.1)			-11 ( ) Mail ENT	・厚膜流し展べ仕.	上げ (※平滑 ・防滑)			・ 木目調 · 100
		・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター			・製造所標準製作規定寸法許容 表面仕上げ (	差による )				<ul><li>・樹脂モルタル仕。</li><li>・防滑仕上げ</li></ul>	上げ (※平滑 ・防滑)			
		・パイプシャッター	(16.10.2) (表16.10.1)		耐火材料				ユリア樹脂等を用いた塗料のホ	ルムアルデヒドの放散	女量	(19. 4. 2)		
		開閉機能 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式	(16.10.2) (表16.10.1)		施工部位 種 別	規格等	<u>-</u>		※規制対象外 · 第三種					
		危害防止機構 ※障害物感知装置(自動閉鎖型)			・ファスナー部 ・取付けブラケット		-	8 フローリング張り	類 別	樹種		9.5.2~7) (表19.5.1~4) 扩塗装等 備 考		
		・シャッターの二段降下方式			・パネル目地部		<u>-</u>		※天然木化粧複合フローリング	※なら ※釘	どめ工法 (C種) ※塗	装品		
		一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない	(16. 10. 2)		・層間ふさぎ		-			・ひのき	· 無	塗装品		
	15 軽量シャッター	開閉形式 ※手動式 - 上部電動式 (手動併用)	(16.11.2) (表16.11.1)		耐風圧性能	(17. 1. 3)				V4841414141	AN - 5E	(10.5.0)		
		スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・鋼板	(16.11.3)		性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告 安全であること。				ホルムアルデヒドの放散量	《規制对家外	第三種	(19. 5. 2)		
		形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピ ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製SUS304 (厚さ1.5mm)	ング形 (16.11.4) (表16.11.2)		<ul> <li>正圧 N/m<sup>2</sup>以上及び負圧 N/m 耐震性能</li> </ul>	mi以上に対して安全であること。 (17.1.3)		9 畳敷き	下地の種類	<del></del>	畳の料	(19.6.2) (表19.6.1) 重別		
		耐風圧性能 ( ) N/m²	124		設計用震度 水平方向 (K <sub>H</sub> ) ※1.0 · 垂直方向 (K <sub>Y</sub> ) ※0.5 ·	(.1.1.4)			標仕表12.5.1による床組		種 ・			
	16 オーバーヘッドドア		(16.12.2,3)		建物の構造種別 層間変位量 (h=支		<u>-</u>		ポリスチレンフォーム床下地 畳表及び畳床はVOC含有量が少な		種 ·	[		
		セクション材料 開閉方式 収納形 ※スチールタイプ ※パランス式 ・スタンダー			鉄青造 ※± (1/100) ×h以	上 ※部材が損傷せず、破損脱落も しない。		10 ポリスチレン	置下地 厚さ (mm)	*40 ·65 ·80				
		<ul><li>・アルミニウムタイプ</li><li>・チェーン式</li><li>・ローヘッド</li></ul>	形 ※ステンレス鋼板		鉄筋コンクリート造 ※± (1/200) ×h以	上 ガラス等の破損もない		フォーム床下地材	フローリング類 厚さ (mm)			l		
		・ファイバーグラスタイプ ・電動式 ・ハイリフト ・パーチカル			鉄骨鉄筋コンクリート造	シーリングは補修程度	-							
		耐風圧性能 ( ) N/m <sup>2</sup>												
	ı	<u>'</u>		ı			<u>'</u>		1 .		T T		1	
待			有限会:	计 蓝	﨑 設 計 事 務	事務所登録第100		検 印	意匠	構造	設備	[事名] (	仮称)観光交	:流センター2期建設工事
-				1上 旅	"" 以口 于 伤	<b>門</b> 管理建築士 藤﨑 1級建築士第12841					-			R
<u>-</u>			佐賀旦武排市武城	·····································	94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-		,				5	図 面 名	特記仕様	書 (建築) その3
c i		1	ᅚᆽᅏᄡᄣᄞᄧᄴ	.ー」ノヽ 丁 エレレム��	A TIPPOOL TO LOST LUVILLUM TAY	I	- 1		1			1		

						,		
20 1 フリーアクセスフロフ	佐上り高   適用地震時   副皮骨性的   本面仕上げは   佳 者	14 カーテンレール	材 種 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 (20.2.14) 形 式 ・片引き ・引分け (※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする)	$  \  $	35 建築物緑化	屋上線化システム G ・管理方法による区分 名管理型	① ブロック系舗装	種 類 寸法(mm) 厚さ(mm) 目地材
三	(mm)         水平力           ・パネル構法         ・1.06         ・3,000N         ・帯電防止床タイル	① ブラインドボックス	・市販品(アルミニウム製 押出し型材)	$  \  $		<ul><li>質量の上限値 ( ) kg/m²</li><li>かん水装置 ・設ける(工事区分は図示)</li></ul>		※普通平板(N) ・カラー平板(C)     ※300角     ※60     ※砂       ・洗出平板(N) ・提石平板(S)     ・モルタル
及び	・満構法     ・0.66     ・5,000N     ・タイルカーペット       ・パネル構法     ・1.06     ・3,000N     ・帯電防止床タイル	及び カーテンボックス	溝幅×深さ (mm) ・90×150 ※120×80 ・120×150 ・150×80 ① 120×120 色彩 ※B−1 ・B−2 (※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)	$  \  $		かん水方法 ・自動 ・手動 ・手撒き 透水層、保水層及び排水層等		
そ の	・満構法     ・0.6G     ・5.000N     ・タイルカーペット       ・パネル構法     ・1.0G     ・3.000N     ・帯電防止床タイル		- 図示			保水層及び排水層の鉛直方向の排水性能: 240 I /m²-h以上 耐荷重性能		種類         厚さ (mm)         色彩及び表面加工等           ※普通ブロック         事道部 ※80 ・ ※標準品
他の	・溝構法 ・0.6G ・5.000N ・タイルカーペット 耐震性能5.000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフ	16 耐震スリット	方 向 タイプ 耐火性能 防水性能	-		省管理型:3×10 <sup>6</sup> N/m <sup>2</sup> 以上の載荷重で異常のないこと。 耐根圏の材料		・透水性ブロック 歩道部 ※60 ・ ・誘導、注意喚起用ブロック 誘導、注意喚起用は黄色系とする
事	ロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。		- 垂直方向	1		合成樹脂耐根シート (厚さ3mm以上) 又は抗根性剤とする (耐根性能の実績を有すること) 植込み用土 製造所の仕様による		- 植生ブロック ※80 · 100
	表面仕上げ材の品質・規格等は、19奪内装工事による スローブ及びボーダー ※製造所の標準仕様 - 図示		目 地 内壁 (帽×深さ) 外壁 (帽×深さ)			植栽の種類 製造所の指定するものとする ・管理方法による区分 ・管理型		インターロッキングブロック 項 目 品 質・性 能
	コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事) コンセントの箇所数は図示		日地材 シーリング材 (見え掛かりのみ) シーリング材 (内外とも) 日地寸法 (mm) ※20×10 ※20×10			D TANKEY YEAR DOLL		JIS R 5210ポルトランドセメント、JIS R 5211高炉セメント、
	配線用取り出しパネル 配線取り出し開口:パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口	17 1 1 1 1 1	-	1				JIS R 5212シリカセメント、JIS R 5213フライアッシュセメント、白色ボルトランドセメントとする。
	ヶ所以上  フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合	17 止水板	形 状 ・据置式 ・壁張り式 ・差込式 寸 法				1 1	清浄、強硬、耐久性で、適当な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、 薄い石片、細長の石片を含んでいない。
	※20~30% ・ 空調用吹き出しパネル ※無し		製造所	21 排	① 排水管	排水管用材料     (21.2.1) (表21.2.1) (21.3.3)       材 種     管の種類       管形状(接合方法)		平 混和材料 インターロッキングブロックの品質に有害な影響を及ぼさない。 無機質材料を用い、耐候性に優れ、かつインターロッキングブ 着色材料
	・有り (※固定式 ・可変式 : 施工箇所は図示)	(18) 天井点検口	材質 アルミニウム製 (※額縁タイプ ・目地タイプ)	水工		※遠心力鉄筋コンクリート管     ※外圧管(※1種・2種)     B形(ゴム接合)       ○硬質塩化ビニル管     ※VP · VU		ロックの品質及び環境上有害な影響を及ぼさない。 外親 使用上有害なきず、ひびわれ、欠け、変形等がない。
2 可動間仕切	(20.2.3) 構造形式 パネル部の 表面材種 表面仕上げ 遊音性能 防火性能	19 床点検口	材 質 アルミニウム製(受け枠 ※アルミ製 ・ステンレス製)	事		・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管 REP WU G		寸法許容差 (mm)     長 さ 幅 厚 さ       普通タイプ     ±3     ±3
	# 総厚さ (mm) 厚さ (mm) タロロエコ を目に能 WJ ハロル マロロ マン・カリ ・カリ ・カリ ・カリ ・カリ ・カリ ・カリ ・カリ ・カリ ・カリ	20 鋼製書架及び物品棚	種 類 規格等 耐荷重による種類			車道部の排水管の敷設 ※図示		透水性タイプ     ±3     ±3     +5~-1       植生用タイプ     ±3     ±3     ±3
	・スタッドパネル式 (※0.6 ・0.8) アクリル樹脂焼付け ( ) ・なし ・パネル式		・銅製書架 JIS S 1039の規格による 水平荷重 I 又は水平荷重 I ・銅製物品棚 JIS S 1040の規格による ※1種・2種・3種	1		・砂基礎(地乗厚さ20cm以上 材料 山砂の類)		普通タイプ     5.0以上       曲げ強度(N/mm²)     透水性タイプ     3.0以上
③ 移動間仕切	(20, 2, 4)	21 かぎ箱	市販品	1	2 排水桝及びふた	鋳鉄製マンホールふた (21.2.2) 種 類 適用荷車		植生用タイプ     4.0以上       透水係数 (cm/sec)     透水性タイプ       1×10°以上
	遊音性能 厚さ (mm) 表面材 表面仕上げ 操作方法 (→) 般タイプ ※領板 ○ポリ合板 ○手動式 電動式		形式 -30組用 -60組用 -120組用 -	$  \  $		・水封形 ・密閉形 (テーパー・パッキン式) ・T-2用 ・簡易気密形 (パッキン式) ・中ふた付密閉形 ・T-6用		甘通タイプ     32.0以上       正総強度(N/mm²)     透水性タイプ       17.0以上
	- 壁紙張り - 部分電動式 - 運動式 - 運動式 - 電動式 - 電	22 くつふきマット	市版品 材質・塩化ビニル製(コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠)	$  \  $		· T-14用 · T-20用		- 舗石舗装 (22.8.2,3)
	(36m以上) (36m以上) ・		* ・	$  \  $		ブレーチングふた (21.2.2)		横 類   厚さ (mm)   施工方法
	表面は上げり壁転張りの品質は19年19衰上手による 適音性能はJIS A 6512の適音試験に準拠する	23 流し台ユニット	種 類 寸法 (L= mm) 適用内容 規格・品質等	.[ ]		材 質 形 式 種 類 適用荷重 メンバービッチ 上面形状		※小頭在(化こう石) ※80~100 · ※2つっこ張り ※コンクリート舗装 · アスファルト舗装
1 1 1 1 2 2 2	### Lift		・流し台 ※1200 ·1500 ·1800 トラップ付き ※優良住宅部品	1		<ul><li>・ステンレス製</li><li>・桝ふた用</li><li>・T-2用</li><li>※普通目</li><li>※平形</li></ul>	12 路面標示用塗料	
4 トイレブース	表面仕上げ材 (20.2.5) ※メラミン樹脂系化粧板(標準色 アルミ製コーナーエッジ付き) ************************************		- コンロ台 ※600 · 700 バックガード ※有り (セクショナルキッチン I 型) ・ フリ戸棚 ※1200 · 900 · 600	.		ボルト固定 ・かさ上げ用 ・T-6用 ※無し ・U字演用 ・T-14用 ・細目 ・凹凸形		接懸   施工   適用   色   幅 (mm)   布厚さ (mm)   揮発性有機溶剤の含有率   1種   G   常温   液状   ※白   ※150   ※1.0   塗料設質量に対して   G (N)工
	・ポリエステル樹脂系化粧板 ・熱硬化性フェノール樹脂板 足形状 ※幅木型 ・足金物型		・水切り棚 ※1200 - 900 ステンレス製 ※1段式 ※市販品	1		· 図示 · T-20用		· 2種 G 加熱 ※3種1号 溶胞 粉体状
5 階段滑止め	材 種 ステンレスSUS304 (20.2.6)	24 屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り	$  \  $	3 埋戻し土	※6種 (21.2.3) (表3.2.1)		
	形 状 ビニルタイヤ入り 両端フラットエンド ※有り (・ステンレス製 ※ビニル製) ・無し	25 洗面カウンター	材 種 ・メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材) ・人工大理石	$  \  $	4 浸透管及び浸透桝	製造所	23 1 樹木の植栽基盤	
	幅 (mm) 約35 取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法		奥行き (mm) ・約450 ・約600	Ш			植栽	適用     有効士層の厚さ (cm)     工法     整備範囲       ※行う 行わない     ※20     ※B種     ※権裁範囲     図示
6 階段手すり	種別施工箇所	26 防煙垂れ壁	・固定式         材質         厚さ (mm)         高さ (mm)         備考	22 aii	1 盛り土に用いる材料	- A種 ※B種 ・C種 ・D種 (22.2.3) (表3.2.1)	事	樹木 (23. 2. 2, 3) (表23. 2. 1, 2)
	※集成村クリアラッカー仕上げ (市販品 径 約45mm)		※網入り磨板ガラス ※6.8 ※500 アルミ製枠付き ・線入り磨板ガラス	装工	<ol> <li>遮断層及び 凍上抑制層の材料</li> </ol>	・ 遠断層 ※川砂、海砂又良質な山砂 (22.2.2.3) 厚さは図示		樹木の樹高 (m) 有効土層の厚さ (cm) エ 法 整備範囲 12以上 ※100 ※A種 ・業張りの範囲
	・ビニル製ハンドレール (幅 約50mm)		可動式	事		・凍上抑制層 ※再生クラッシャラン ・クラッシャラン 切り込み砂利 ・砂 厚さは図示		・7超~12未満     ※80     ・ B種     ただし、低木は植栽範囲       ・3超~7以下     ※60     ・ C種     ・ 図示
7 黒板及び	(20.2.8)		種 類 材 質 高さ (mm) 備 考 ・垂直降下式 ※不燃布 ※500 ガイドレール	1	3 路床安定処理	※添加材料による安定処理 (22.2.2.3) (表22.2.2)		- 3以下 ※50 · D種
ホワイトボード	種 類 寸法 (mm) 色 彩 備 考 ・黒板 ※焼付け ※緑 ・黒 ※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分		(巻取り型) (不燃認定品) ・800 ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)	$  \  $	· AMARAME	種類 - 普通ボルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 - 生石灰( ) ・消石灰( )		工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効 土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で
	※経・黒   ・ホワイト   ※ほうろう   ※白   ※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分		- 回転降下式 銅板製又はアルミ製 ※500 表面仕上げ - 800 ※天井材張り	1		添加量 kg/m² (目標CBR ※5以上 · )		盛土を行う。
	**- K		※	.	4 路床土の 支持力比試験	※行う (※乱した土 · 乱さない土) (22.2.5)	2 植込み用土	※現場発生土の良質土 ・客土 (※畑土 ・黒土) (23.2.3)
8 鏡	寸法 (mm)    図示	②) 視覚障害者用	データ	$  \  $	5 路床締固め度の試験	※行う (22.2.5)	3 土壤改良材 [0	※適用する (23.2.3.4) 施工箇所 ※植栽範囲 ・図示
9 表示		床タイル	色彩は黄色を原則とする	$  \  $	5 路床神道の度の試験 6 路盤材料 G			施上圏が ※極楽戦闘 ・脚不 バークたい肥
9 表示	※図示 (市販品 ※ステンレス製 径約30mm ・ )	(誘導用及び 注意喚起用床材)		$  \  $	b 路壁材料 [G]	・クラッシャラン (C-40) 又はクラッシャランスラグ (CS-40)		有機物の含有量(乾物) : 70%以上
	(・両面・片面)		屋 外 ※レジンコンクリート製 ・磁器又はせっ器質タイル(※300 ・ ) ・塩化ビニール製	$  \  $		透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの		炭素窒素比(C/NLt) : 35以下 陽イオン交換容量(乾物):70meq/100g以上
	表示標識、案内用図記号についてはJIS Z 8210による 誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。	28 旗竿	材 質 ※アルミニウム合金製 形 式 ※テーバー型 ・同一断面型	$  \  $	7 アスファルト舗装	(22.4.2) (表22.4.1) 舗装の種類 車道部の基層 カラー舗装の種類		pH : 5.5~7.5 水分 : 55~65%
10 煙突ライニング	- 煙突用成形ライニング材 (20.2.11)		地上高さ (m) -6 ・8 ・10 ・12 操作方法 ※ハンドル式 ・ローブ式	$  \  $		※アスファルト舗装     ※無し・有り     ※顔料混入加熱アスファルト混合物       ・カラー舗装     ※無し・有り		幼植物試験の結果 : 生育阻害その他の異常を認めない 窒素全量 (現物) : 0.5%以上
	最高使用温度 - 650℃ - 400℃		間定方法 ・埋込式 ・ベース式 ・バンド式 製造所			カラー舗装の着色骨材 ・有色骨材 (焼成) ・着色骨材 (樹脂被覆) アスファルト ※再生アスファルト G ・ストレートアスファルト (22.4.3)		りん酸全量(現物) : 0.2%以下 加里全量(現物) : 0.1%以上
	・キャスタブル耐火材 エ 法 ※こて押さえ	29 旗竿受金物	材 種 ステンレス製SUS304			加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.6)		発酵下水汚泥コンポスト
	最高使用温度 ※400°C	③ フェンス	・ビニル被覆エキスパンドフェンス			区分     ※一般地域     - 寒冷地域       表層     ※密粒度アスファルト混合物(13)     ※密粒度アスファルト混合物(13F)		「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料 を使用したもので、植書試験の調査の結果、害が認められないものとする
① ブラインド	形式         種類         スラットの材質         スラットの幅 (mm)		○機能塗装メッシュフェンス			* 細粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度ギャップアスファルト混合物 (13F) - 細粒度ギャップアスファルト混合物 (20)		ひ素 : 0.005%以下 カドミウム : 0.0005%以下
	※模型 ※ギヤ式 ・コード式 ※アルミニウム合金製 ※25 ・操作棒式	31 屋外揭示板	照明器具 ※有り ・無し 施 錠 ※有り ・無し			シールコート ※行わない ・行う (施工範囲: ) (22.4.5)		水銀 : 0.002%以下 ニッケル : 0.03%以下
	→ 検型		製造所			アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6)		クロム : 0.05%以下 鉛 : 0.01%以下
<ul><li>① ロールスクリーン</li></ul>	防炎性能 ※有り (20.2.13)	32 車止め支柱	※ステンレス製(上下式鎖内蔵型) 径114.3mm t=2.5mm H=GL+700mm ※スプリング付 ・スプリング無し		8 コンクリート舗装	早強セメント ※使用しない ・使用する (22.5.3) 注入材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ (22.5.3) (表22.5.3)		有機物の含有量 (乾物) : 35%以上 炭素室素比 (C/N比) : 20以下
	施工笛所 装 置 備 考					溶接金網 ※有り ・無し (22.5.3.4)		pH : 8.5以下 **分 : 50%以下
	軽食・喫茶 〇 事務室 〇	③③ 収納家具	材質 形状・寸法 ※図示			Fe		ボカ
	+171X		が		9 透水性舗装	アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.6.6) (22.4.6)		ッル版主 (現物) : 1.0%以上 アルカリ分 (現物) : 15%以下
13 カーテン	(20.2.14)	34 エキスパンション・ジョイント金物	材質 ・アルミ ・ステンレス クリアランス ・50・100・150・		10 排水性舗装	アスファルト混合物 (22.7.3) (表22.7.2) ・改質アスファルトⅠ型 ※改質アスファルトⅡ型	4 支柱材	※杉の焼丸太(間伐材) G ・真竹 (23.3.2)
	施工箇所 形式 装置 片引 引分 電動 [Dも引 手引 ひだの種類 性 能 備 寿	・ショイント宝初	耐火性能 ・有り( )・無し			タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (22.7.3) (表22.7.3)	5 幹巻き用材料	※幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2)
			防水型 ※外部 適用する ※内部 適用しない			適用時期 種 類 下記以外 PKP-T1	6 芝張り	種類 ・こうらい芝 ・野芝 (23.4.2)
						冬期         PKR-T2           アスファルト混合物の抽出試験         ※行わない ・行う           (22.7.6)		
  特	1		事務所登録第1009	9문	検印	┃	<u> </u>	
<sup>1寸</sup>		社 藤﨑	所設計事務所 管理建築士 藤崎		1天 FI		(仮称) 観光	交流センター2期建設工事
			1 級建築士第128417				41 == ··	
記		町大字武雄94-7T	EL0954-23-1001 FAX0954-22-5533			図面名	特記仕	株書(建築) その4   日 日   5   日   1   1   1   1   1   1   1   1   1
								נו   <i>V</i>



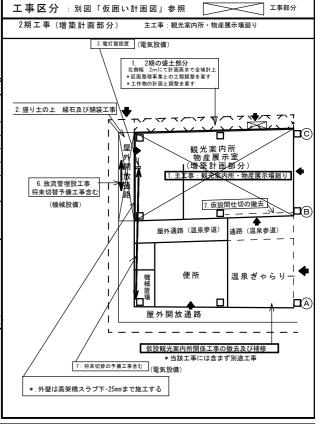
建	物概	[要・外部仕上	:表			<sup>公衆便所</sup> 物品販売店 用途 法上の扱い:木造・	地域 商業地域:80/400 扱い・内装不燃および	-	22条地域				
		構造概要	上部構造:鉄骨造平家與	下部構造:独立フーチ	ング基礎 地	業:割栗石 (ī	直接基礎)						
当該工事部分	Γ	基礎	柱・梁	壁	1 階床	屋根							
高架橋 (既存)	部分	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	なし	なし	鉄筋コンクリー	卜造						
註 JR側の躯体と	は埋設部と	とも縁切にて納め必要なケ所はポリ	スチレンフォームを施工	-									
外部仕上げる	全体	基点高13.800とG. Lとの関係は	JR側と調整のこと。 外壁水切、タ	イル仕様についてはJR側と調整のこ	٤. ١	R側の躯体とは埋設部	とも縁切にて納め 必要なケ所!	はシーリング納め	•				
屋根		当該工事:なし											
軒 樋		当該工事:なし 但し外壁との3	ーリングは当該工事								屋根兼内樋	特殊耐酸被覆鋼飯葺き厚0.4mm	
竪 樋・溜枡		竪樋 這樋ともJR工事、但しま	<b>上側庇用の竪樋、埋設排水管は当該工</b>	事また西面露出竪樋はNADウレタン塗	建装					パラペット	笠木	フッ素樹脂焼付塗装鋼板パネル厚1.6mm	
		南面		北 面 (增築計画部分)		西面	(当該工事部分) (増築計画部分)			庇	幕板	フッ素樹脂焼付塗装鋼板パネル厚1.6mm	
外 壁	下地	鉄骨		鉄骨		鉄骨				(物産展示場北側入り口)	軒天	フッ素樹脂焼付塗装鋼板パネル厚1.6mm	
	仕上	押し出し成形セメント板横贴(ブリック	)厚60mm+せっ器質二丁掛ブリックタイル貼	押し出し成形セメント板横贴(ブリック)厚60	Dmm+せっ器質二丁掛ブリッ	ウタイル贴 押し出し成形	セメント板縦贴厚60mm+防水形複層塗材	E			床	インターロッキング 厚60mm 床は周辺地盤高とスリツケにて納める	
根廻り	下地	コンクリート立ち上がり		コンクリート立ち上がり		コンクリー	ト立ち上がり					ステンレス42.7Φ HL 溜め枡までの埋設部: V P100	
化型 り	仕上	御影石厚20mm本磨き		御影石厚20mm本磨き		御影石厚10	 mm本磨き				竪樋	金物:SUS @800内外	
その他		屋外開放廊下 床:透水性平板300×300		施設銘板:別図「木製建具及び雑工事 室名板:アクリル板 シルク文字75×300 換気扇カバー:設備工事 外壁丁部:フッ素樹脂焼付塗装鋼飯/		外壁開口丁部	水切 :カラーSUS304 厚0.4mm						

【\*註 2.当該工事の外部仕上げ高はJR側資料により調整するものとする。

よって関連する「機械室床高、湯沸室沓摺周辺高。屋外開放通路高、床スリーブ施工高、排水管施工高等」は参考値とする。

佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533

- \*註 3.設備工事に関連する建築工事部分は、設備図面及びJR側資料により調整するものとする。
- \*註 4.ラチ外コンコースについてはJR側と調整のこと。(例:建具関係寸法の確認、納まり、床タイル割り、幅木の納まり等)(例:床開口及び壁、天井開口位置。スリーブ位置。消防設備及び設備機器の位置等



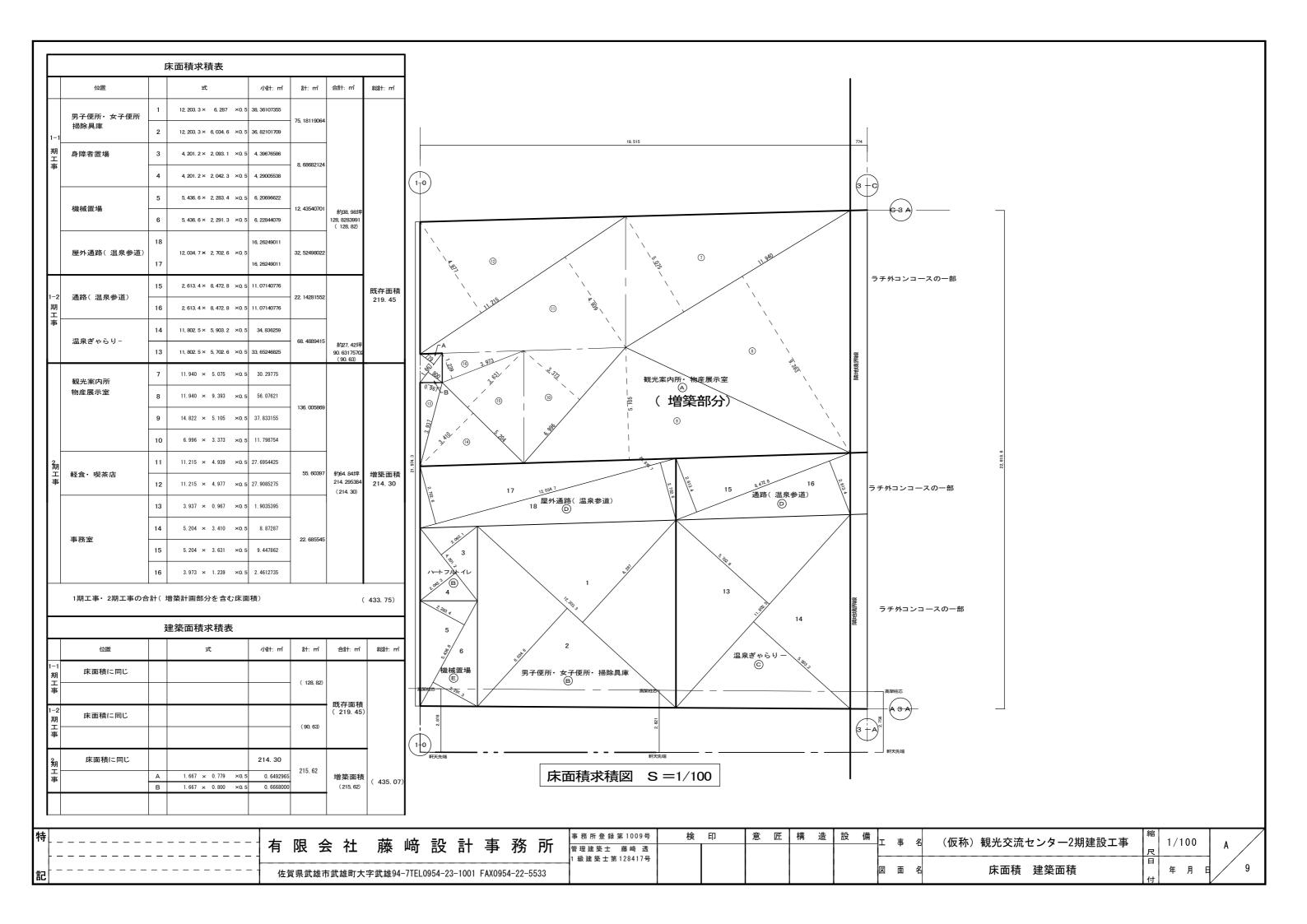
				庆			幅木			採用のこと。	辟			天井		加以绿	室名札	7. O. III
		1 1	下地		<u> </u>	庄喜	シックハウス 計割を	H (FL+	シックハ	ウス	マ 材料名	シッ	ックハウス		シックハウス	知り称	土口化	T COTE
期	室名	天井高	世上 —		- -			- - (:	<u>対策種</u>	<sup>30</sup>		-*	対策種別		対策種別 _	<del> </del>		_
月工事 『部分》	ラチ外コンコース	3. 000	下地 *下地	及び仕上げともJR側の工事		F L+0	*下地及び仕上げともJR側の工事			軽鉄 L	GS+プラスターボード厚12.5mm			* 下地及び仕上げともJR側の工事				アルミ複合パネル下部及び両サイドを曲げ加工
工事 部分)	(3通り境界線の東面)	3. 300	仕上							アルミ	复合パネル厚3mm目透貼 (1-1期:石調 2期:一	般色 )						
	温泉ぎゃらりー	3. 000	- +	Eルタルレベル調整厚10mm 	_ _	F L+0	‡	-	.	- +	GS+プラスターボード厚12.5mm — — — — — — — — — — — — —	\	i	軽鉄 L G S 19型+プラスターボード厚12.5mm	L	L	- 別図参照	便所側壁の 押し出しセメント板は高架橋スラブ下-25mmまで延ばしシーリング ピクチャーレールアルミ:天井付フック30個 アルミ製ブラインドボックス
工事				ニアスビニルタイル厚2.5mm 100×914mm	$\perp$	0	第4種 御影石厚10本磨き	100	規制対象		複合パネル厚3mm目透貼 (石調 ) G S+プラスターボード厚12.5mm	規制		ロックウール吸音板厚12mm及び9mm	規制対象外	アルミカラー	-	竪型ブラインドW80 床仕上げ区分用目地棒: 真鍮3×12
部分)	屋内通路(温泉参道)	3. 000	- +	うラ練りモルタル 	- -	F L+0				- + -	G S+フラスダーホート厚12.5mm 	+	t	軽鉄 L G S 19型+プラスターボード厚12.5mm 	担制分争员	アルミカラー	別図参照	アルミ製プラインドボックス (1-1期) 竪型ブラインドW80 トイレ説明板:別図「木製建具 I 床仕上げ区分用目地棒:真鍮3×12
_				コラ練モルタル	+	F L+0	が利が多か。 神影石序10本店で	100			鉄 L G S + 合板 厚 9. 0mm	25元章	_	ロックワール吸音板厚12mm及ひ9mm   軽鉄 L G S 19型+合板9mm	况制对象71	7 10 = 11 7		
	風除室	2. 500	- + -	- ^ ^	- -			150	規制対象	- +		+-	+	1	第4種	木製	†	
	et ++ + + 2 A		下地 R C+T	Eルタルこて押え厚20mm	$\top$	F L+0				(壁) 尊	鉄 L G S + 合板厚9.0mm			軽鉄 L G S 19型+合板9mm				可動間仕切り2ヵ所
	喫茶・軽食	3. 000	仕上 ホモジ	 ニアスシート厚3.0mm	- -		規制対象外 大製	80	規制対象	象外 (壁) 7		m 3	第4種	ロクウール吸音板厚9mm+木格子ウレタン塗装	規制対象外	木製	1	造付カウンター2ヵ所 H=750,1100 , 収納棚 , 本棚W=1100
	厨房	3, 000	下地 R C+T	Eルタルこで押え厚20mm	_ _	F L+0	↓	_ L		(腰壁	壁) 軽鉄+合板厚9.0mm			軽鉄 L G S 19型+合板9mm	L	L		収納棚 消火器BOX 流し台 ガス台 消火器BOX ステンレス張り厚0.6
事	בעו ועוו	0.000		ニアスシート厚3.0mm	$\perp$		第4種 木製	80	規制対象		ル板厚8mm+ 2UE塗	規制	制対象外	ケイカル板厚6㎜目透かし+2UE塗	規制対象外	木製		
分)	観光案内所	3. 000	- +	Eルタルこで押え厚20mm 	_ _	F L+0				- + -	鉄LGS+合板厚9.0mm	+-	t	軽鉄 L G S 19型+合板9mm	L	L	1	ピクチャーレールアルミ: 天井付フック25個 アルミ製ブラインドボックス 竪型ブラインドW80
				ニアスシート厚3.0mm	+	F L+0	規制対象外 木製	80	規制対象		5スターボード厚12.5mm+クロス貼り (腰壁)化粧合板厚5.5m			ロクウール吸音板厚9mm+木格子ウレタン塗装	規制対象外	木製	-	展示棚 天井点検口 案内カウンター 造付流台 パックガード付コンロ台 ステンレス張り厚0.6
	事務室	3. 000	- +	Eルタルこで押え厚20mm — — — — — — — — — — — 床シート厚2.5mm	- -	F L+0			 第4種	-+-	LGS+合板厚9mm 流し廻り:軽鉄+合板厚9.0m 	+-	t	軽鉄 L G S 19型+合板9mm 	規制対象外	塩ビ	+	屋内コンロ用フード 接気扇不燃枠 横型ブラインド 消火器BOX
	屋外通路 (温泉参道)			カラ練りモルタル	+	FL+0		1,0	APT1±		し成形セメント板厚60mm	75		軽鉄 L G S 25型+プラスターボード厚9.5mm	79L IP3 73 9K 71	72.0	<del>                                     </del>	探丸扇小監督   検空ノフィント   消火器 B O X
	*床面積に含む部分	3.000	仕上 磁器質		- -			190 (205	屋外	防水	複層塗材 E 天板部	+ - 『の腰壁 屋 <sup>ヶ</sup>	- 一		屋外	アルミカラ-	-†	(温泉ギャラリー側間仕切 高架橋スラブ下までグラスウール24Kg/m3厚100mm充填)
	女子便所 男子便所	2. 700	下地 モルタ		25	F L+0				押し出	し成形セメント板厚60mm CB+モ	ルタル	l	軽鉄LGS 25型	L		- 別図参照	【化粧洗面台 ブース 造り付けベンチ 開口沓摺:御影石厚30mm 本磨きスリット加工帕ブース内棚: 250×x50×x50 円 開口上枠(焼付塗装) SUS304厚1.5mm
	(地下ピット有り)	2. 700	1工工 小便器並	クタイル50角 引り:御影石厚30mm 本磨きスリット加工			規制対象外 モザイクタイル50角 小便器廻り:御影石厚20mm 本磨き	300 (315	規制対象		ル板厚6mm+ 2UE塗 出隅アルミ角当 陶器質タ	マイル200角 規制			規制対象外	塩ビ	771 25 7111	腰壁天版 : 御影石厚25mm 本磨き 開口竪枠 : 御影石厚25mm 本磨き 目隠し袖壁:御影石厚40本磨き トイレ説明板: 別図「木製建具及び雑工事」参照
工事	ハートフルトイレ *コーティング	2. 700	下地 モルタ	ル クタイル50角 — — — — — — — —	_ 25	F L+0	+		.	- + -	し成形セメント板厚60mm CB+モ	_ + -	i	軽鉄 LGS 25型	L	L	│ │ │ 別図参照	開口沓摺:御影石厚30mm 本磨きスリット加工幅 腰壁天版 :御影石厚25mm 本磨き 開口上枠(焼付塗装) SUS304厚1.5mm
部分)	(地下ピット有り)		11.1		05	<b>51.0</b>	規制対象外	+						ケイカル板厚6㎜目透かし+2 U E塗	規制対象外	塩ビ	-	開口竪枠 : 御影石厚25mm 本磨き
	掃除具庫。*コーティング	2. 700	下地 モルタ		- 25	F L+0	コンクリート立上り+モルタル ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー 規制対象外 モザイクタイル50角	300 (315		-+	し成形セメント板厚60mm        CB+モ         一           ル板厚6mm+       2 U E 塗       出隅アルミ角当       陶器質タ	+ -	— — i	軽鉄 LGS 25型 	規制対象外	塩ビ	+	床下点検ロステンレス製タイル貼り用 600角 腰壁天版 : 御影石厚25mm 本磨き
	(地下ピット有り)				+	FL+0	R C+モルタル金コテ	基準 F L-	ASC (PIA)	*/r / / / /	が飲存の・200至 田内ブルミ丹ヨ 阿姆莫ブ	·170100月成市	P1 / 7 88 ( / P	軽鉄LGS 25型	みた 中リ ハリ 9本 ファ	- ALL	1	フック掛ステンレスパイプ: 19 Φ L = 1.5Mフック5本付 フェンスH1500 扉W800 鍵付(樹脂コート品): 朝日ユニフェンス同等品
	機械置場	3. 000	- +	_´ _'	- -			190 (205)		押し出						塩ビ	†	鉄骨: 錆止め塗装 (JIS5622) +SOP塗
190F	1 内装用軽鉄W65						化粧ケイ	カル板厚8mm	ニチアス	アスラックス	200準標準色同等品とし出隅はカラーアルミ役物			L 床 ホモジョニアスシート 東リ同等品				■ 面付室名札: 楠板 エナメル文字 75×300×18ウレタン樹脂仕上げ
フロン	トサッシ取り付き部用軽鉄W65	:	ー ー ー ノーリング:流台	ー	10×7/	2		軽鉄LGS	は特記な	き限り19型			!	腰壁 化粧合板厚5.5mm 大建工業同等品				*室名札に関しては別図「木製建具表及び雑工事」参照
														アルミ複合パネルの目地は変性シリコンシーリ	リングとする			
各号						0.0.0.0	₽.₩.III800 A .0 / N I .00 II											
	ンクリート PB -石膏  ンクリートブロック 化粧PB -化	粧石膏ボート		: 厚9.5mm準不燃 Q M 9828 厚12.5mm不燃 N M : 準不燃 Q M 9072			財脂エマルションペイント塗り	を形ポリウレタ										
-軽量	LIXX 門 化粧ケイカル	板-化粧繊維》	ケイ酸カルシュー <i>』</i> !入ケイ酸カルシュ・	ーム板 : 不燃 N M-8424			ビニール樹脂エナメル塗り UC-1 -1液飛 マーラッカー塗り	/変性ポリウレ	タン樹脂	ワニス塗り								
		セメント板厚	0 (ラムダ20ヨコ <b>P</b>	: 不燃 NM-0209  • Y同等品) : 不燃 NM-8431  : 耐火1時間(緊張 FP060NE-9035 構張060NE-9036	w	-樹脂	・ ファル エッ 旨ワックス(2回塗り) -着色ウレタン											
	押し出し成形・																	

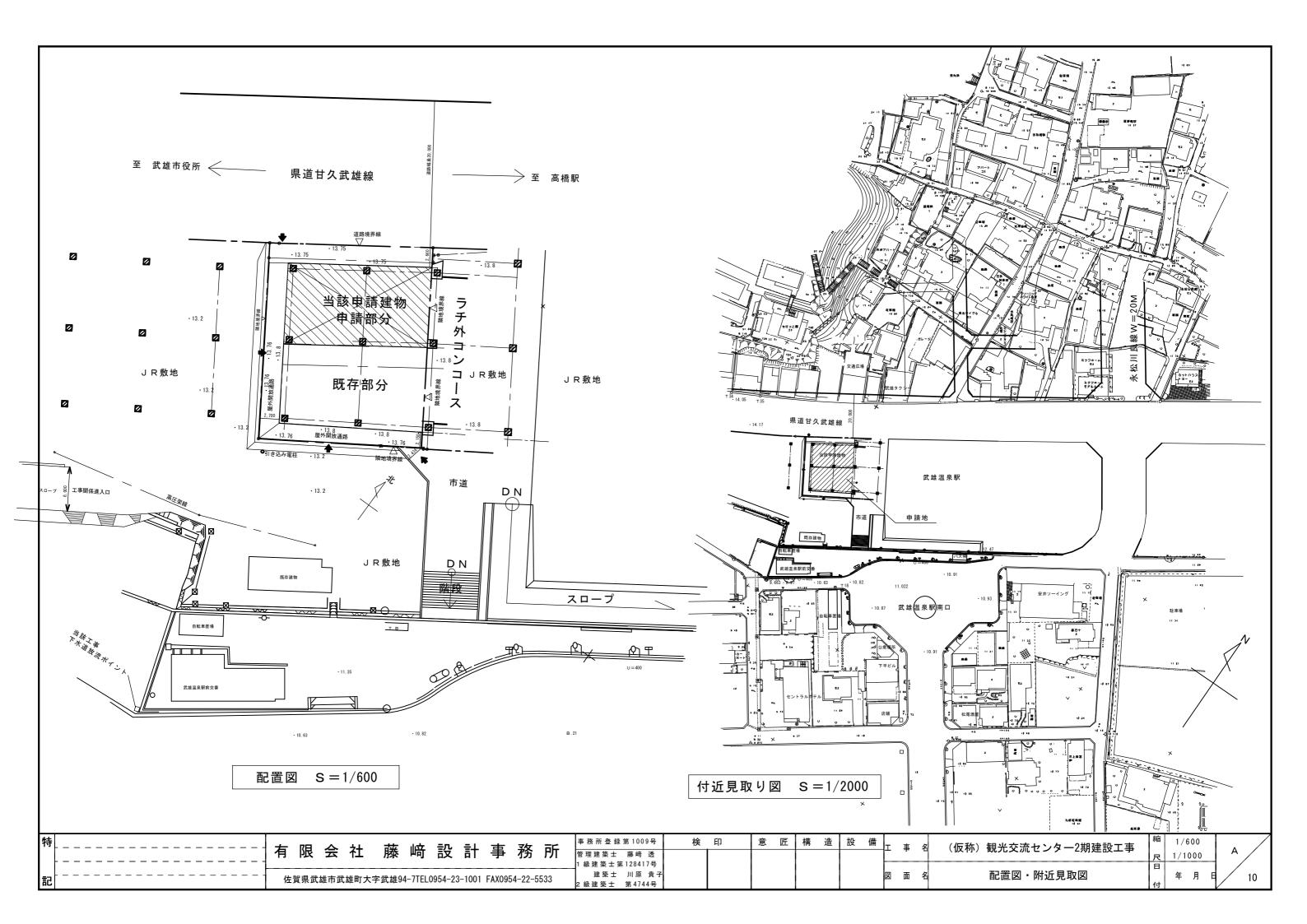
管理建築士 藤﨑 透 級建築士第128417号

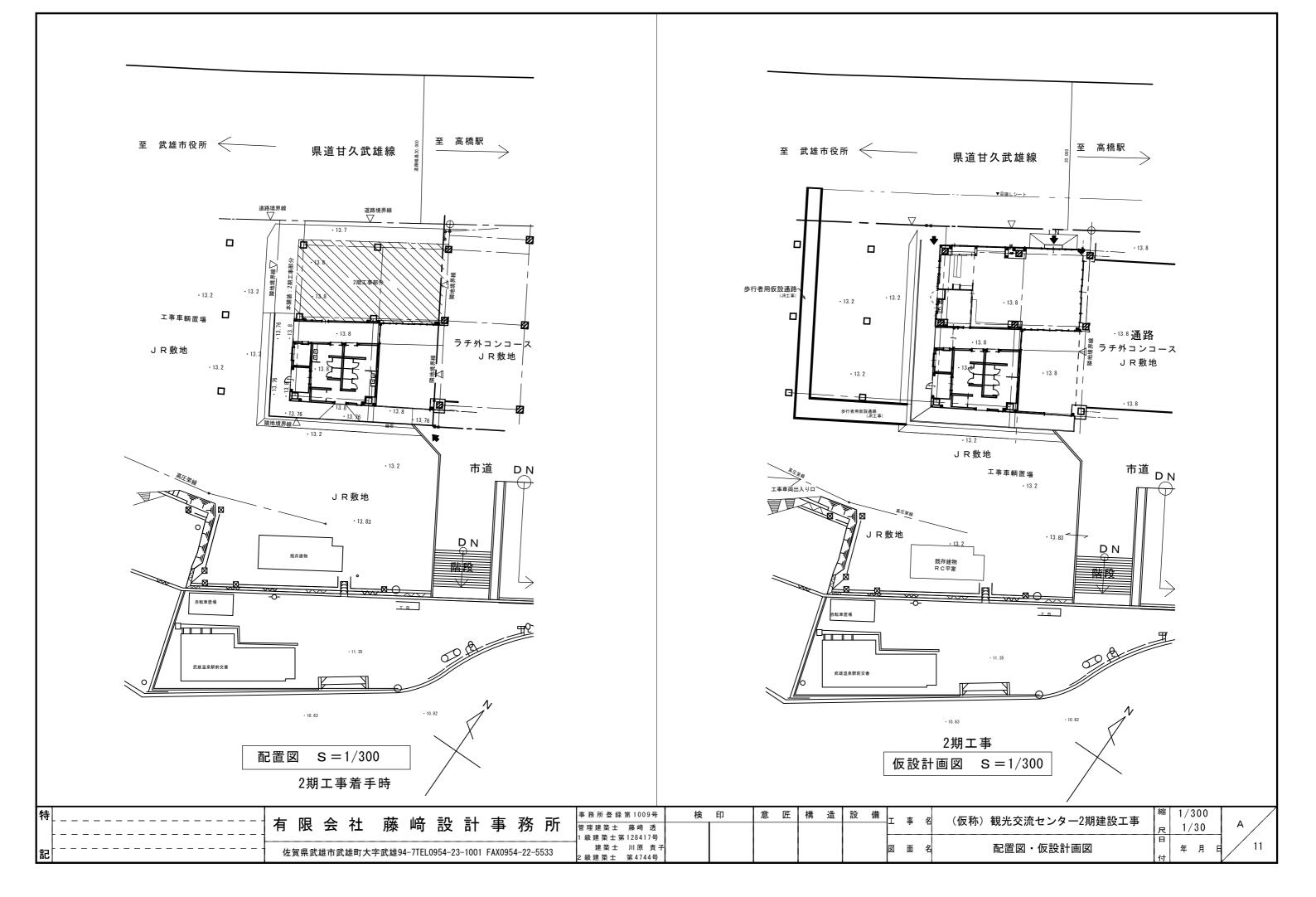
図面名

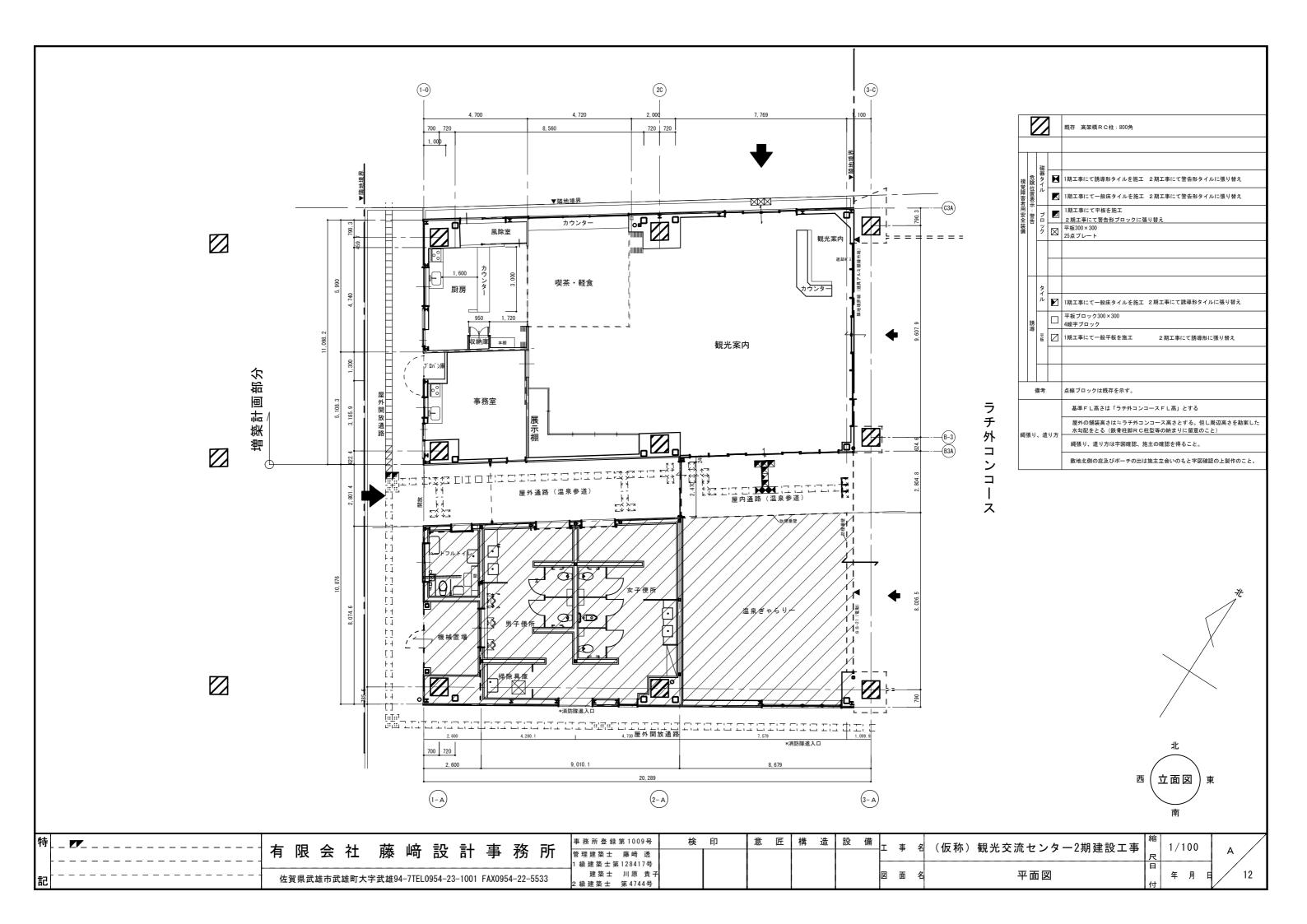
仕上表

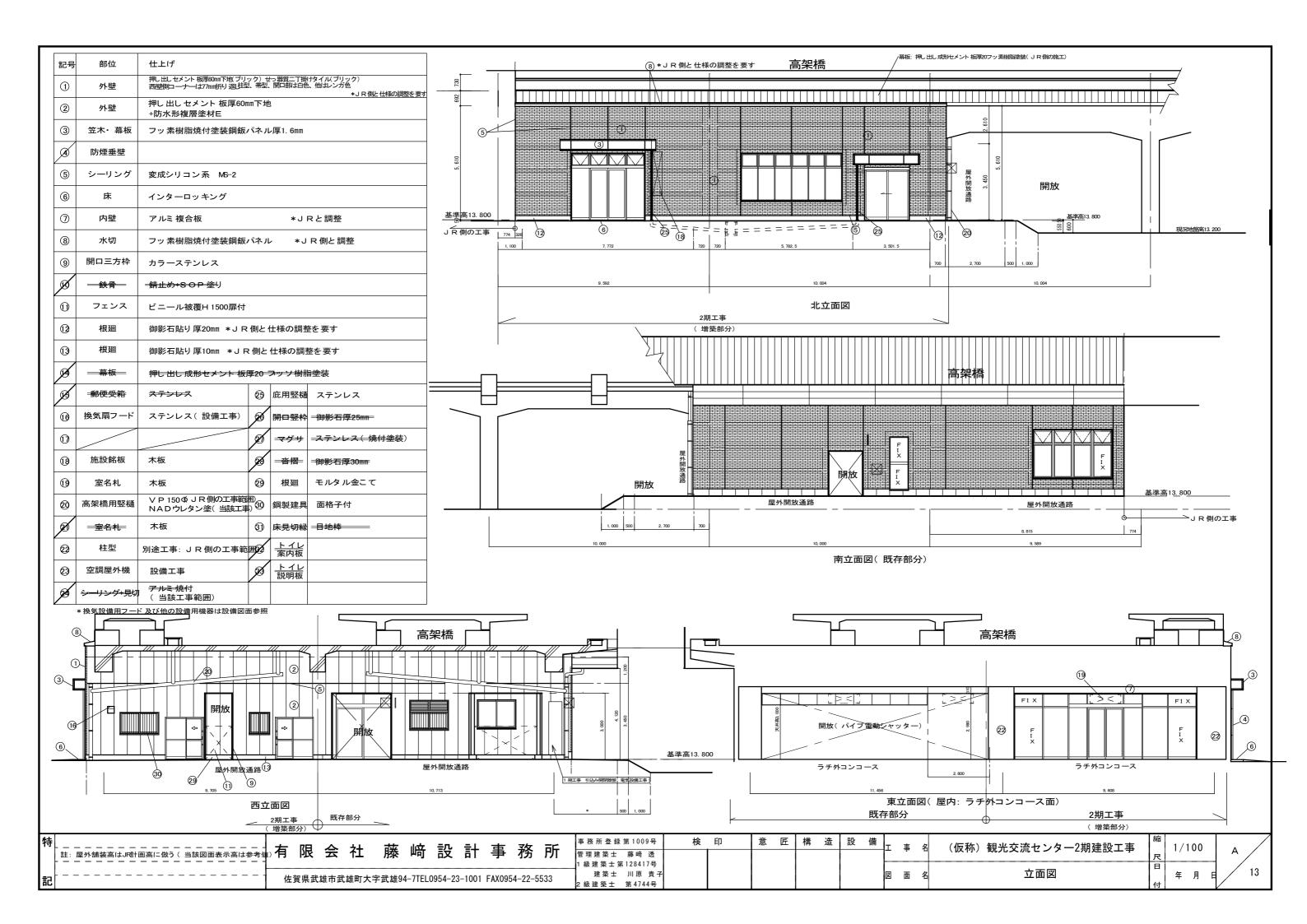
年 月

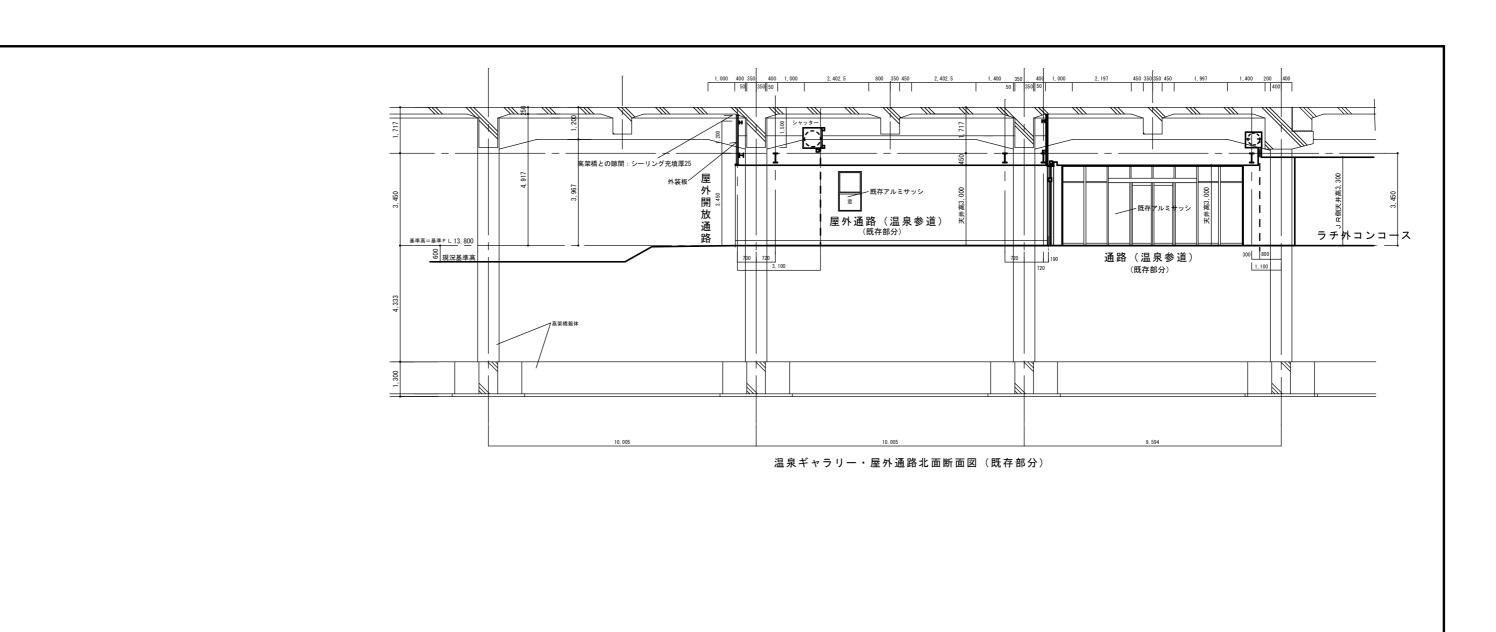


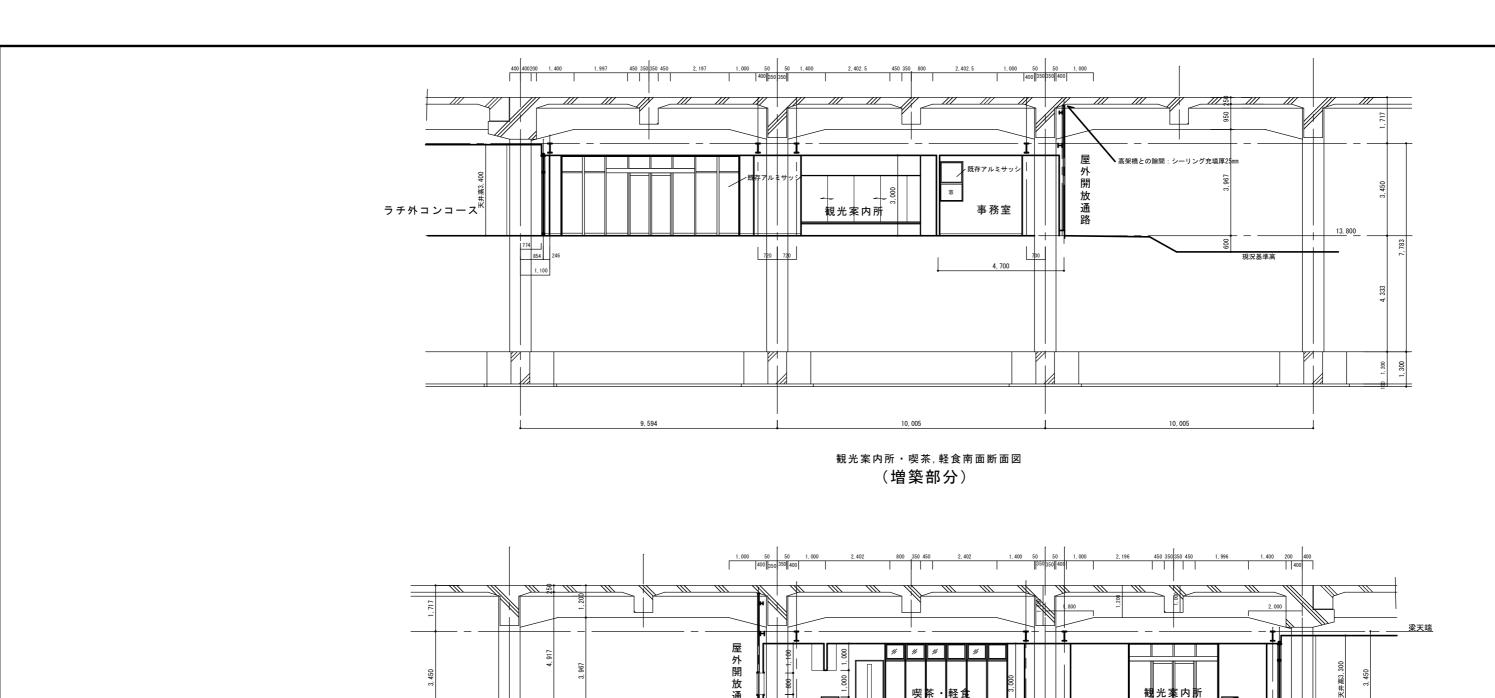


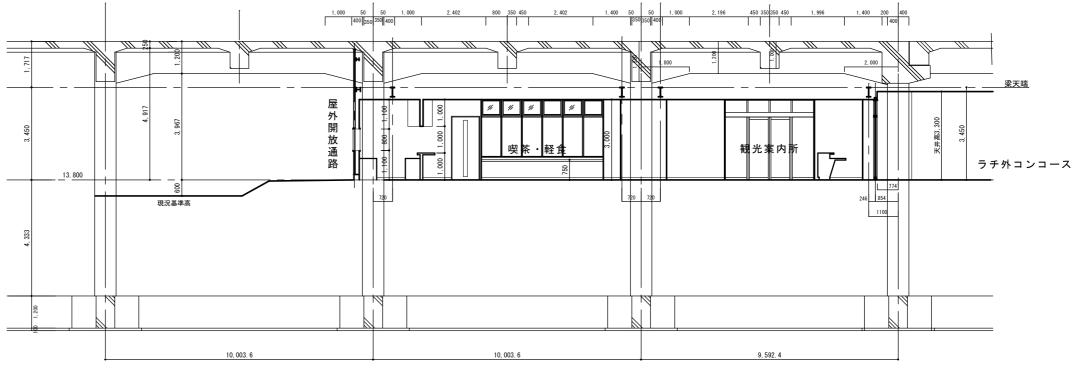






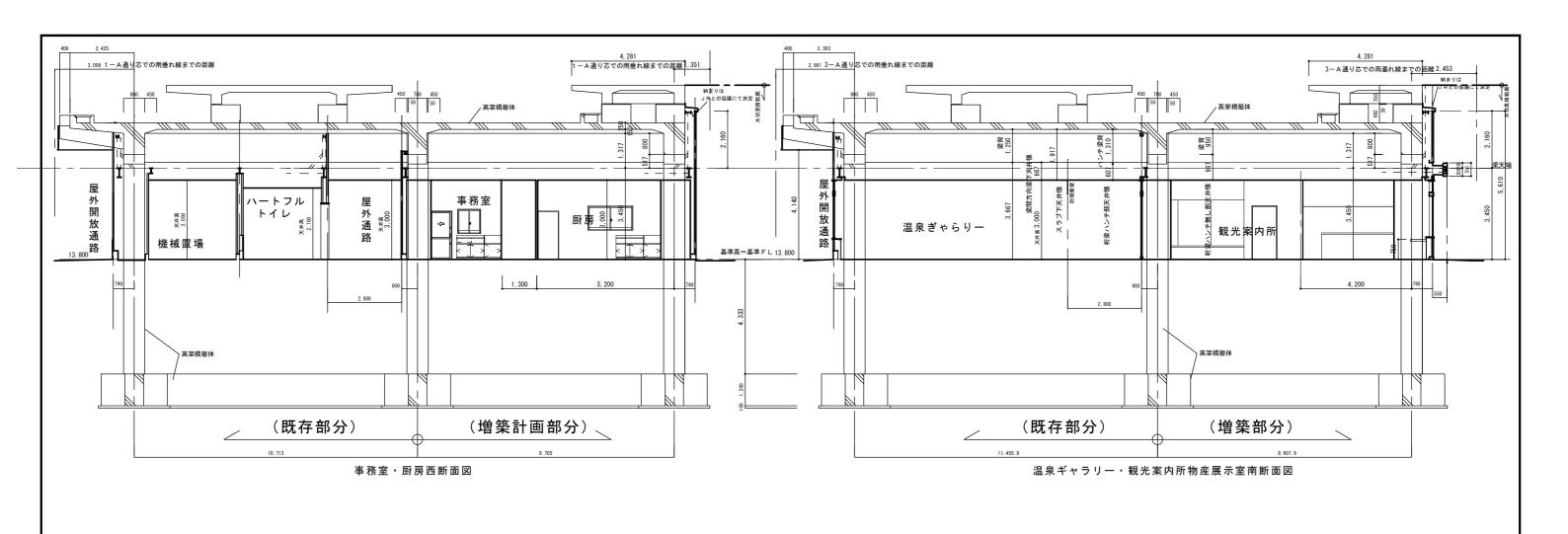


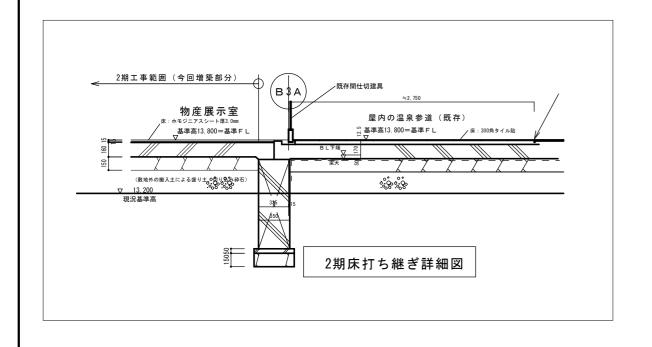




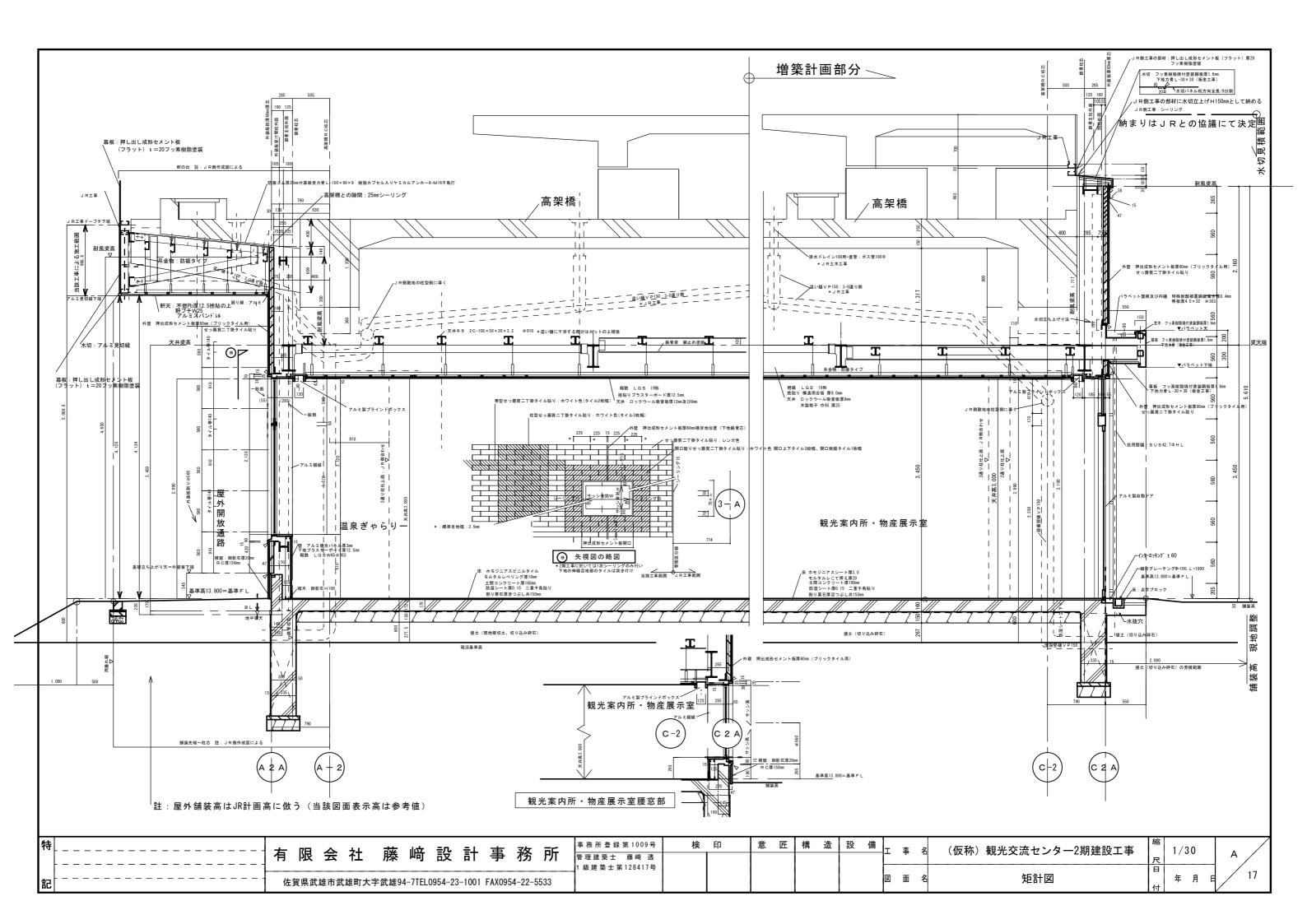
<sup>観光案内所・物産展示室北面断面図</sup> (**増築計画部分**)

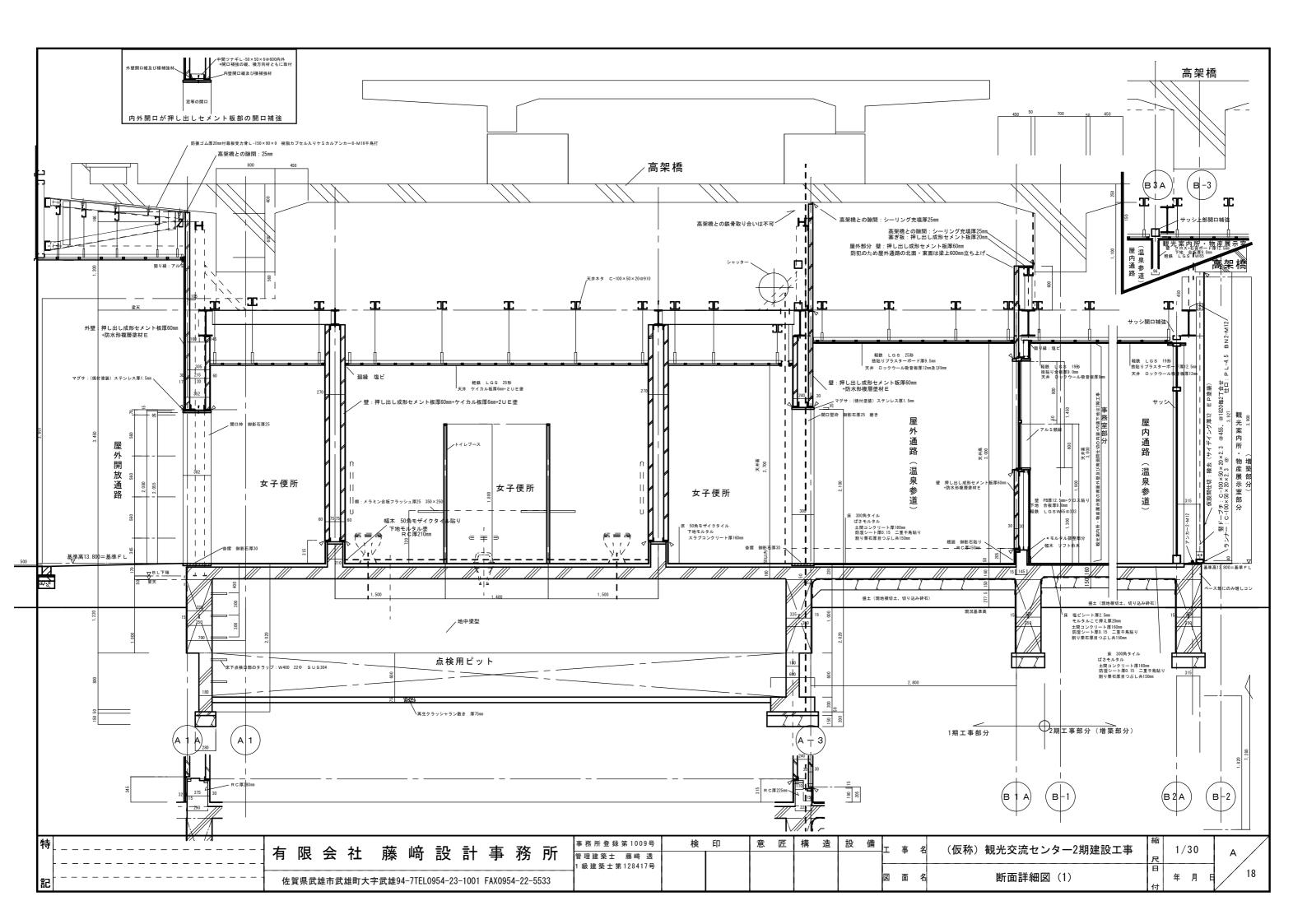
特	 有限会 女 藤 﨑 設 計 東 淼 所	事務所登録第1009号	検	印	意 匠	構造	設(	備一	事 名	(仮称) 観光交流センター2期建設工事	縮 1/100	
	 有限会社 藤﨑設計事務所	管理建築士 藤﨑 透 1級建築士第128417号							7 1	(灰竹)凱儿久加モンクーン列建成工事	尺 日	A
記	 佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533								面名	断面図 (2)	日 日 日 日	15

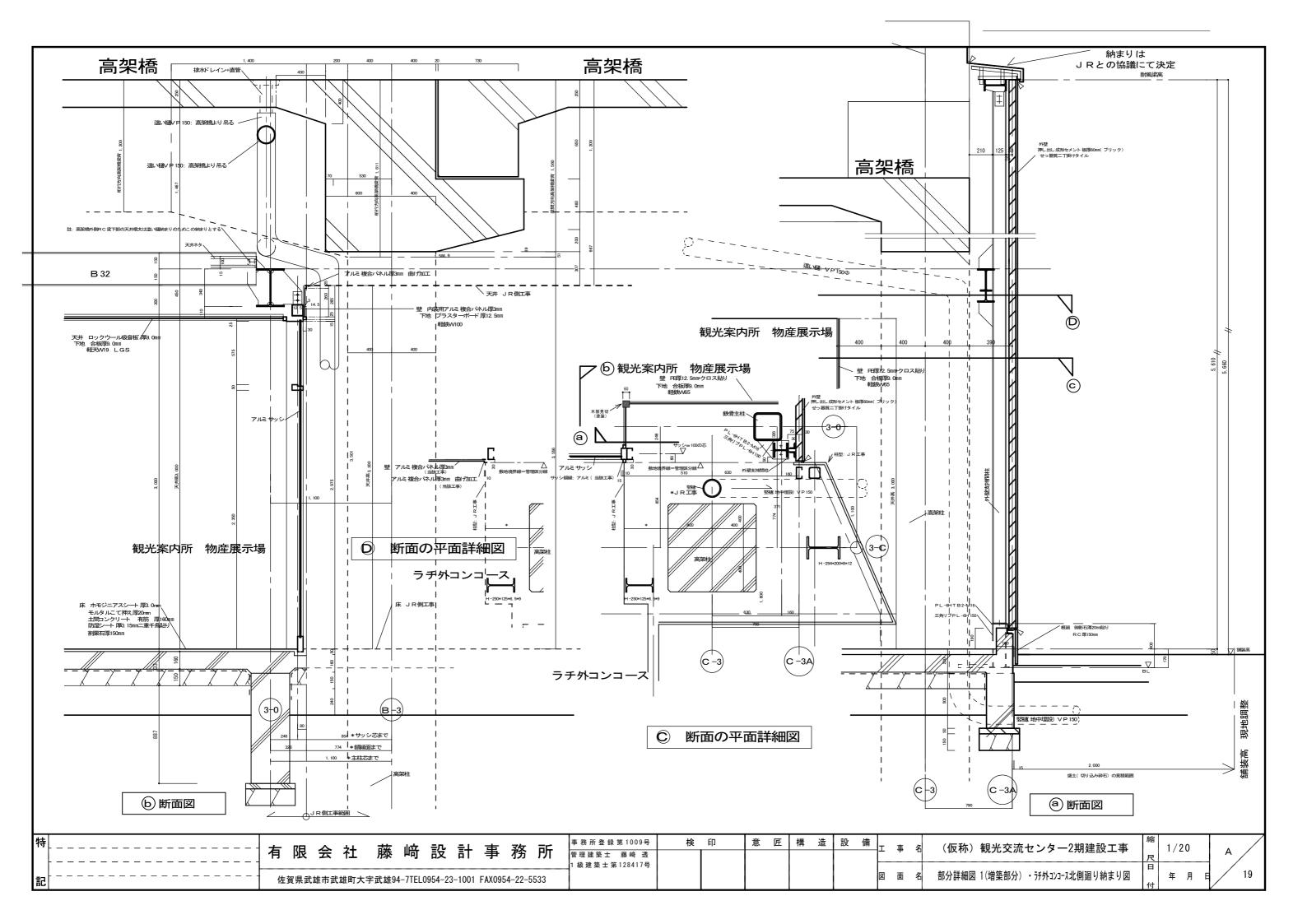


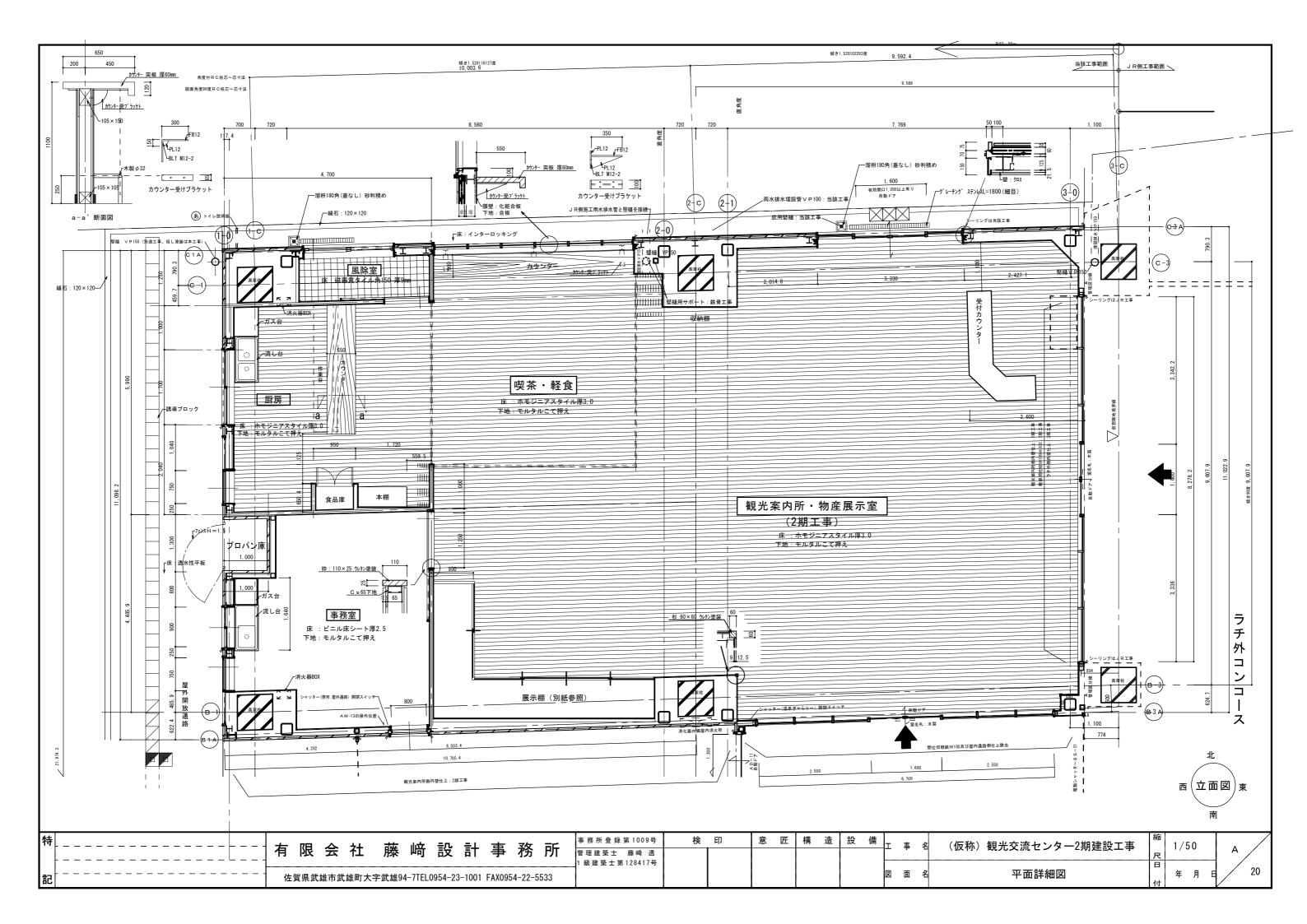


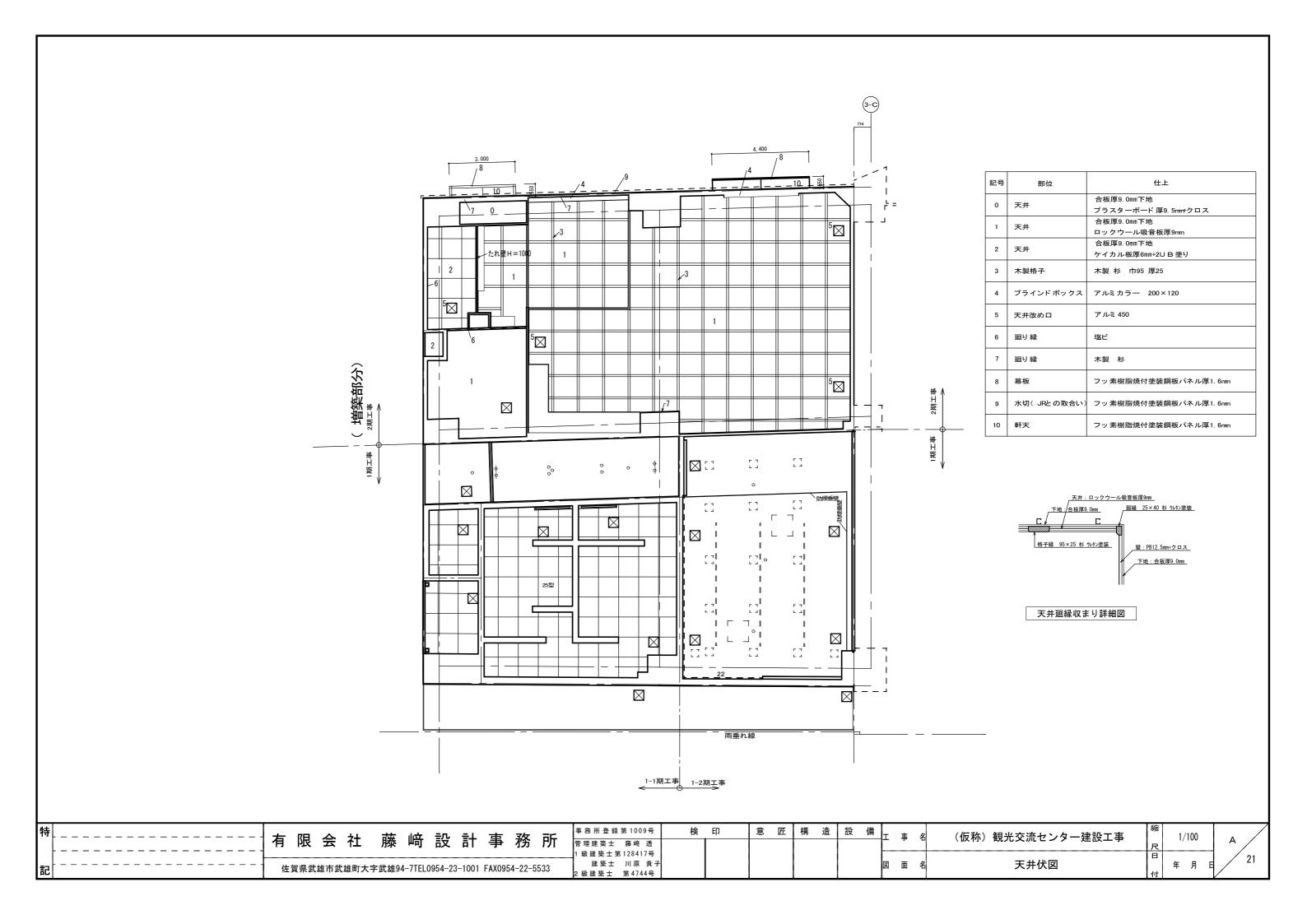
特	有限会社 藤崎設計事務所	事 務 所 登 録 第 1009号	検	印	意 匠	構造	設 備	T 事 名	(仮称)観光交流センター2期建設工事	縮 1/100	
	有限会社 藤崎設計事務所	管理建築士 藤﨑 透 1級建築士第128417号							(成刊) 就児人加モング 2000年以上学	- 尽	^/
記	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533							図 面 名	断面図(3)	日 日 日 日	16

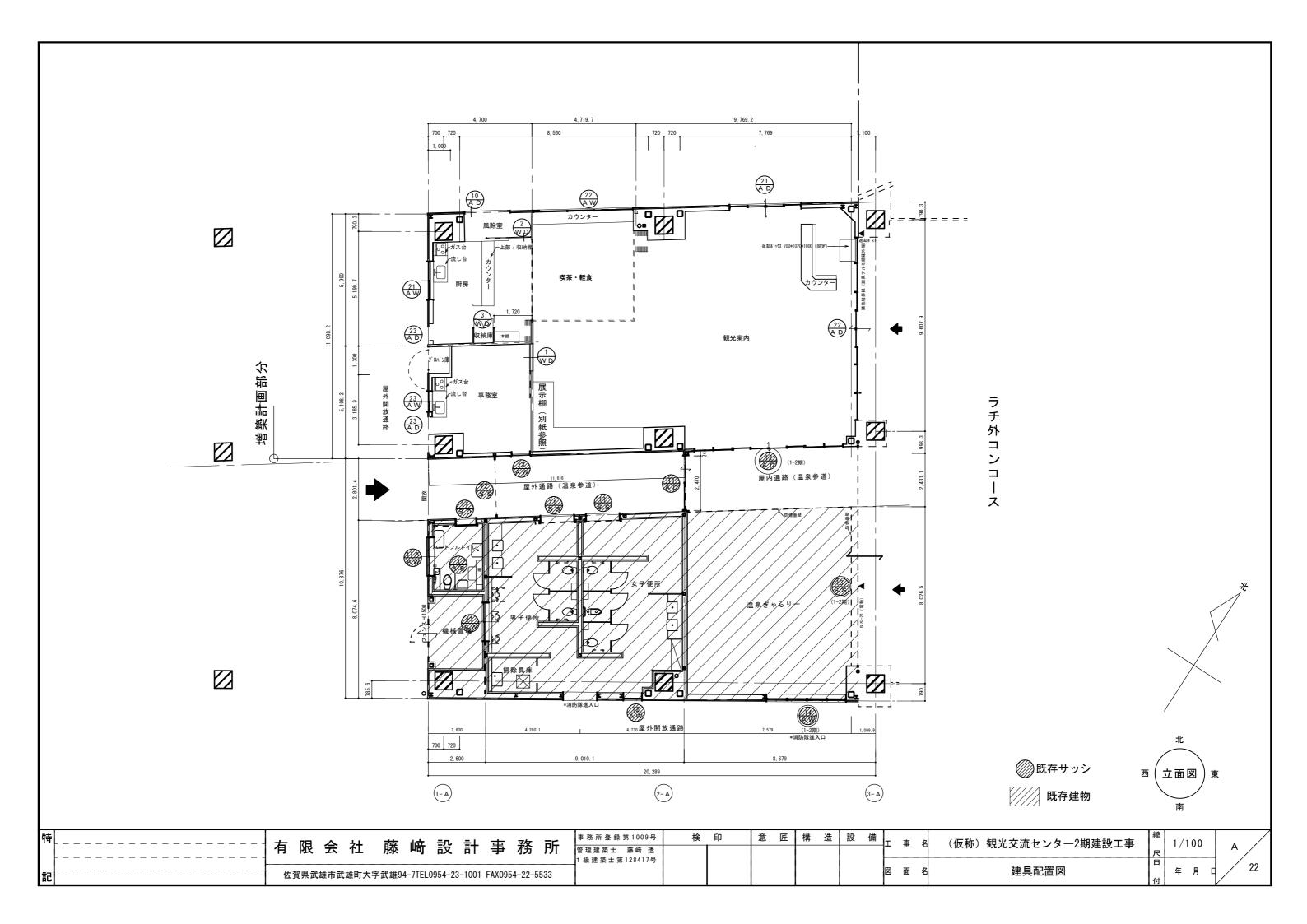


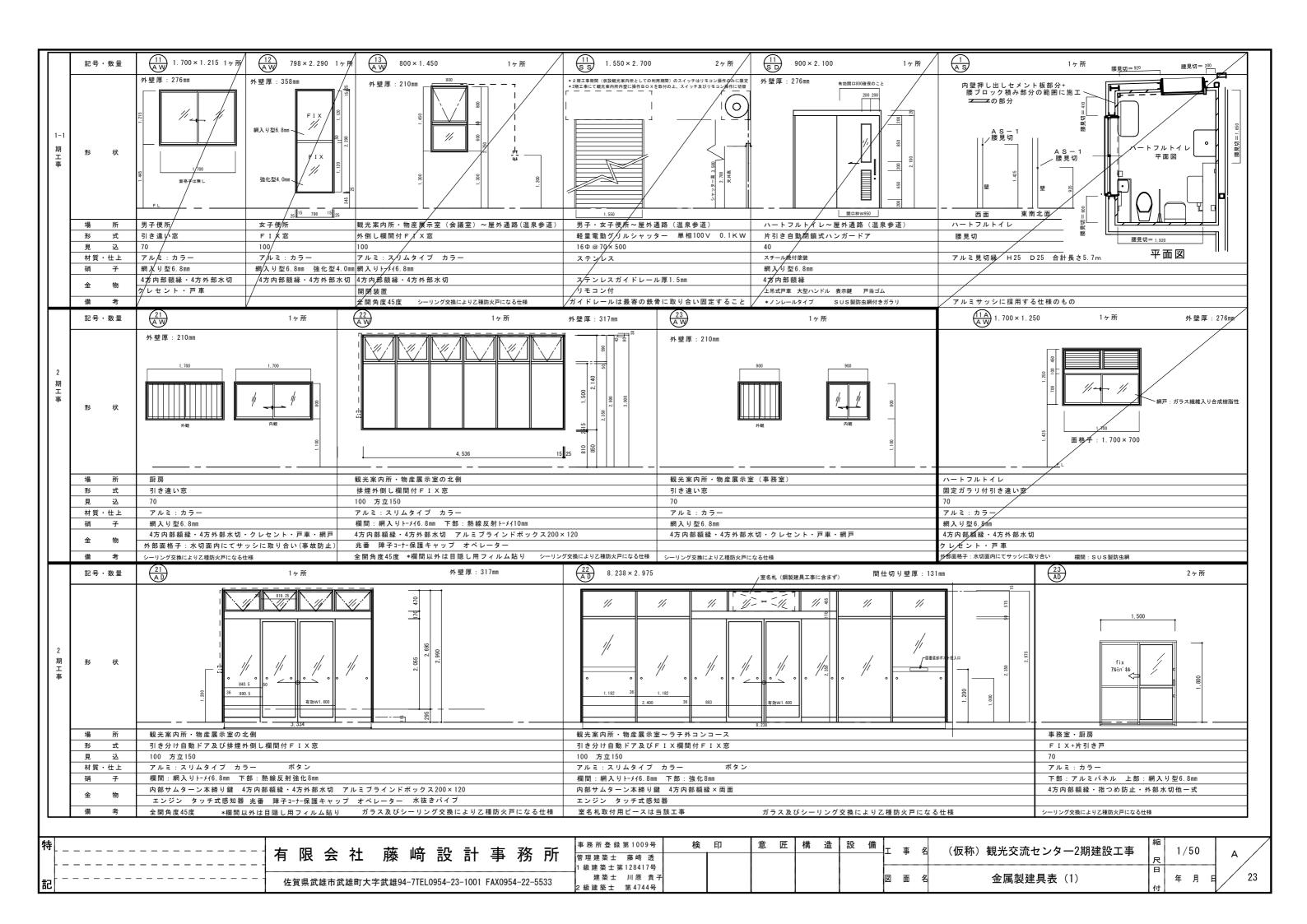


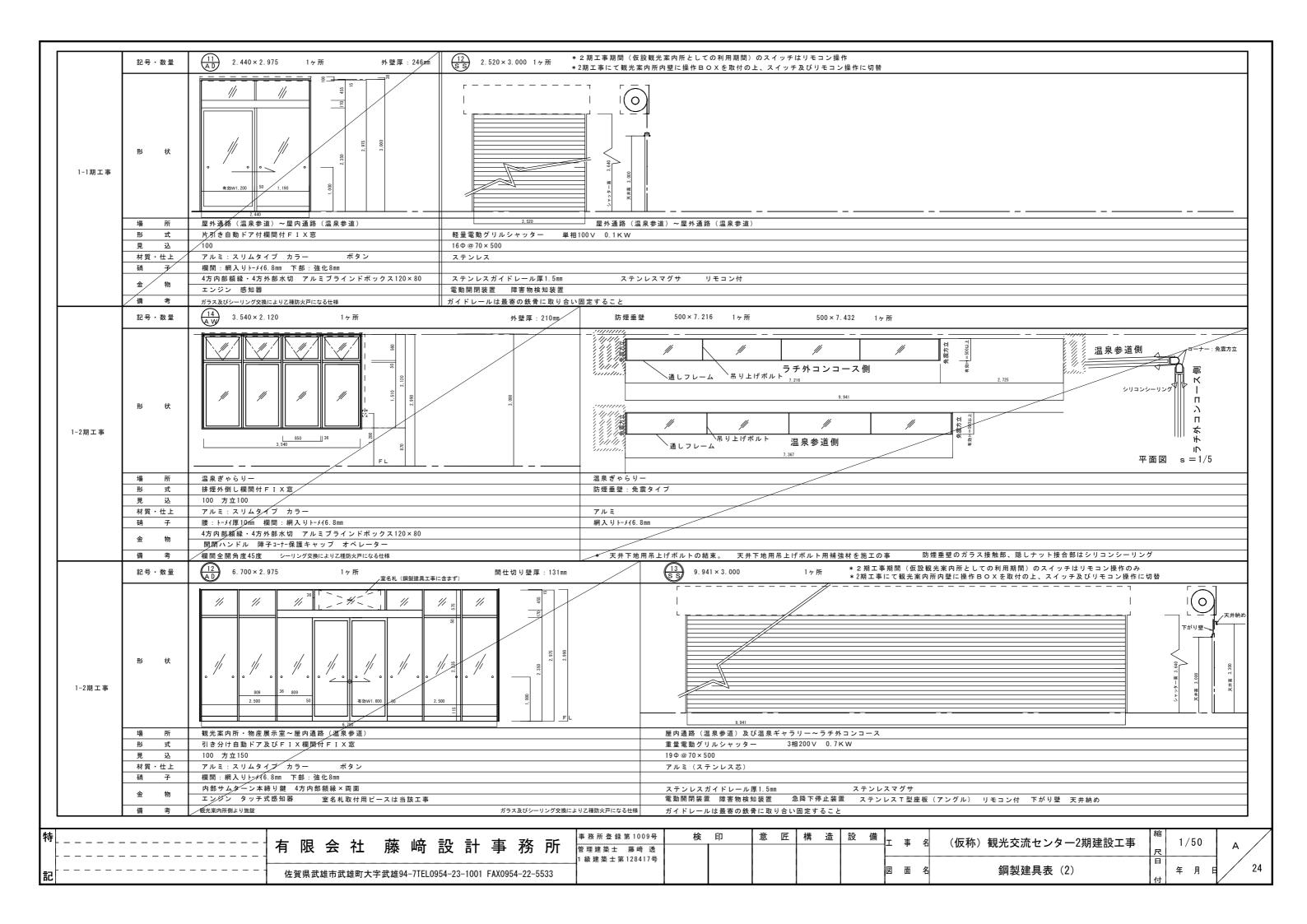


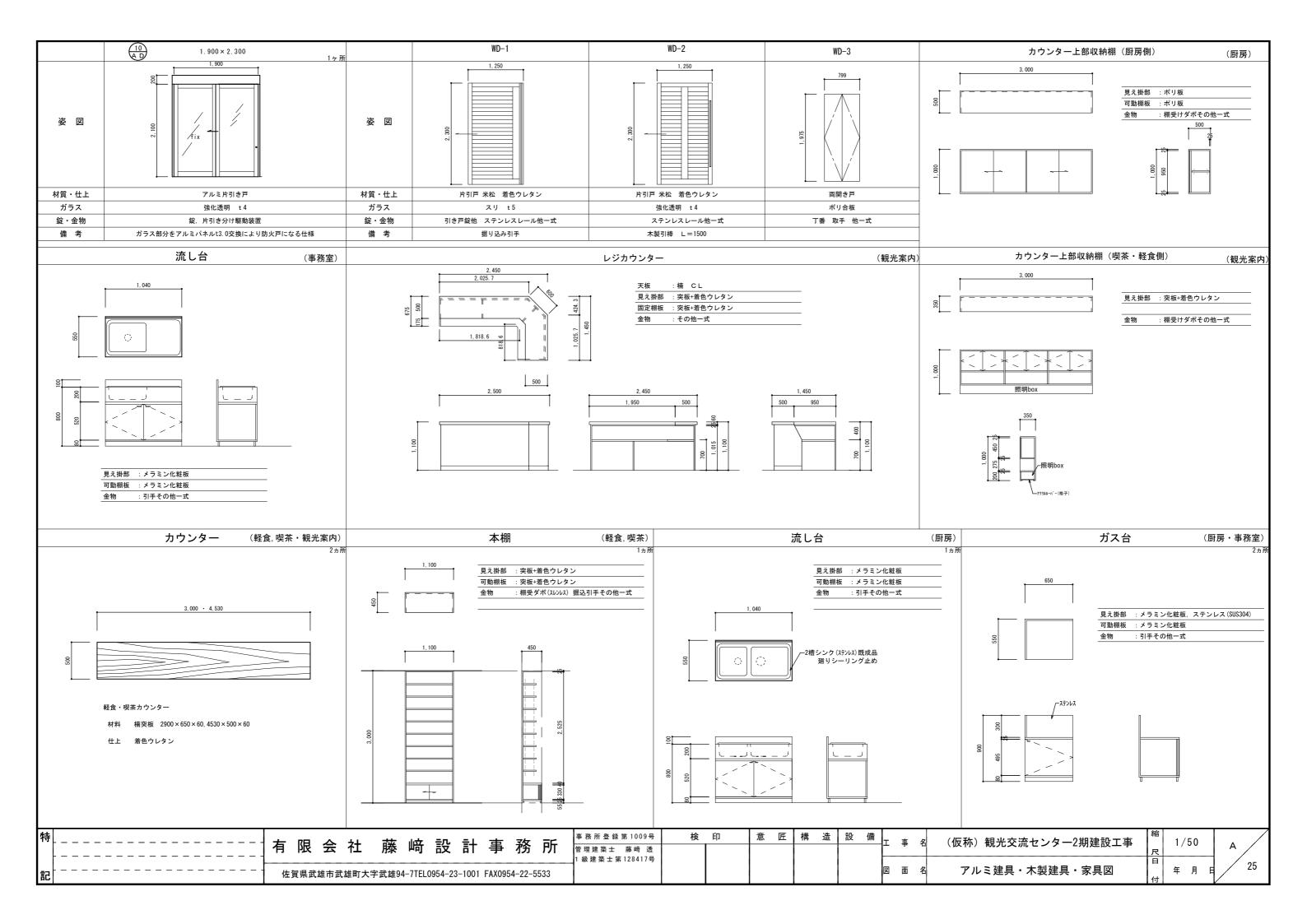


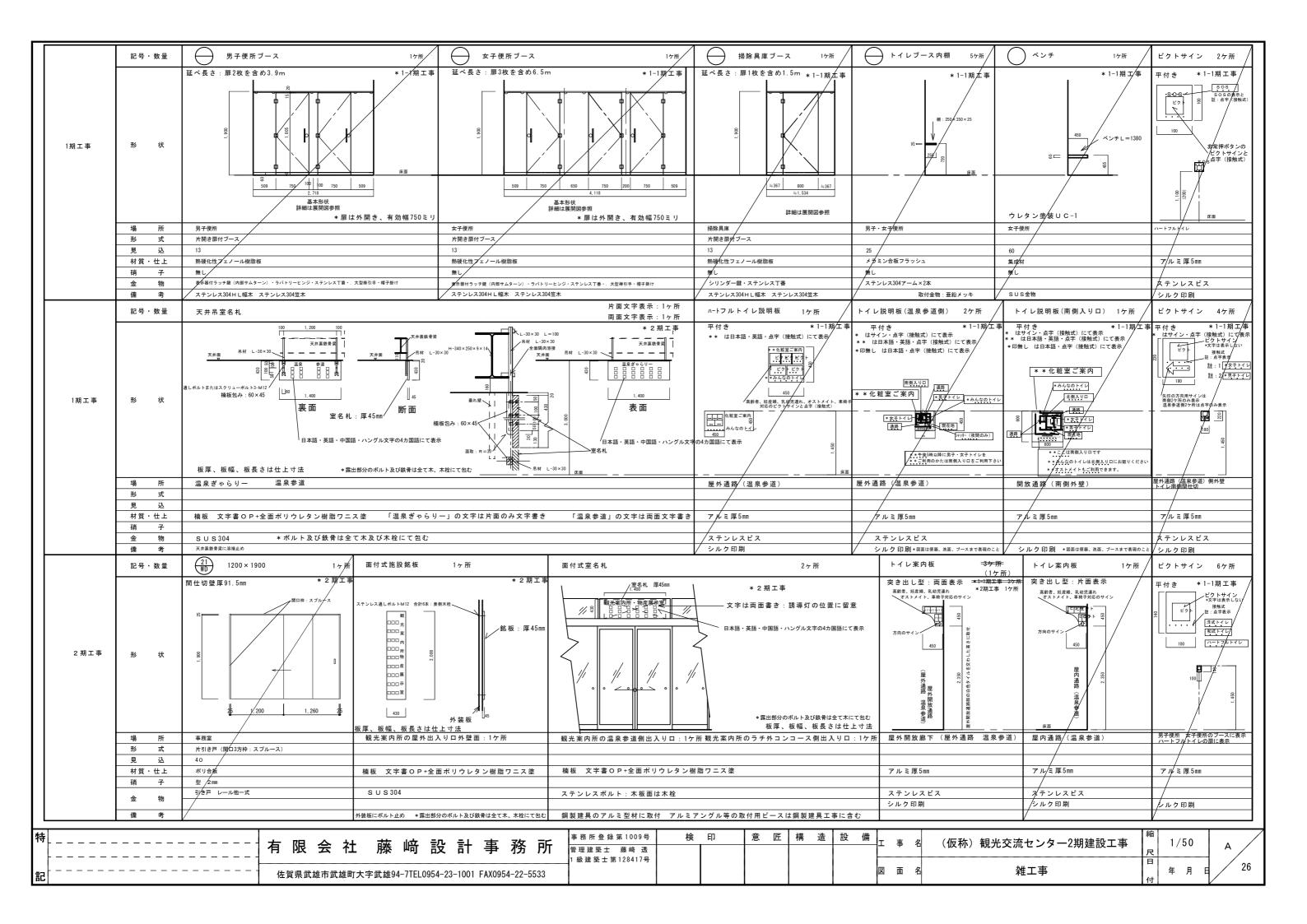


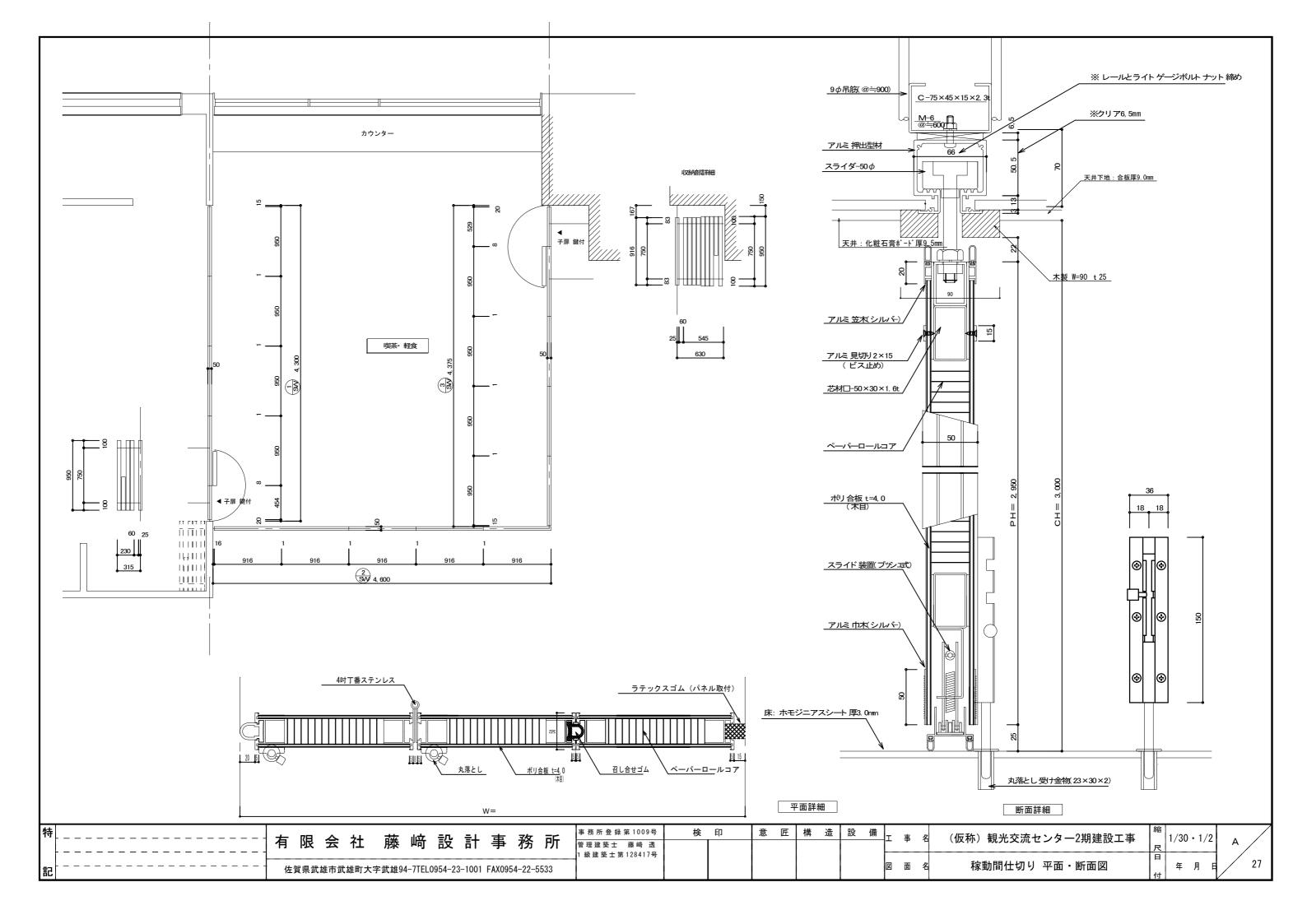


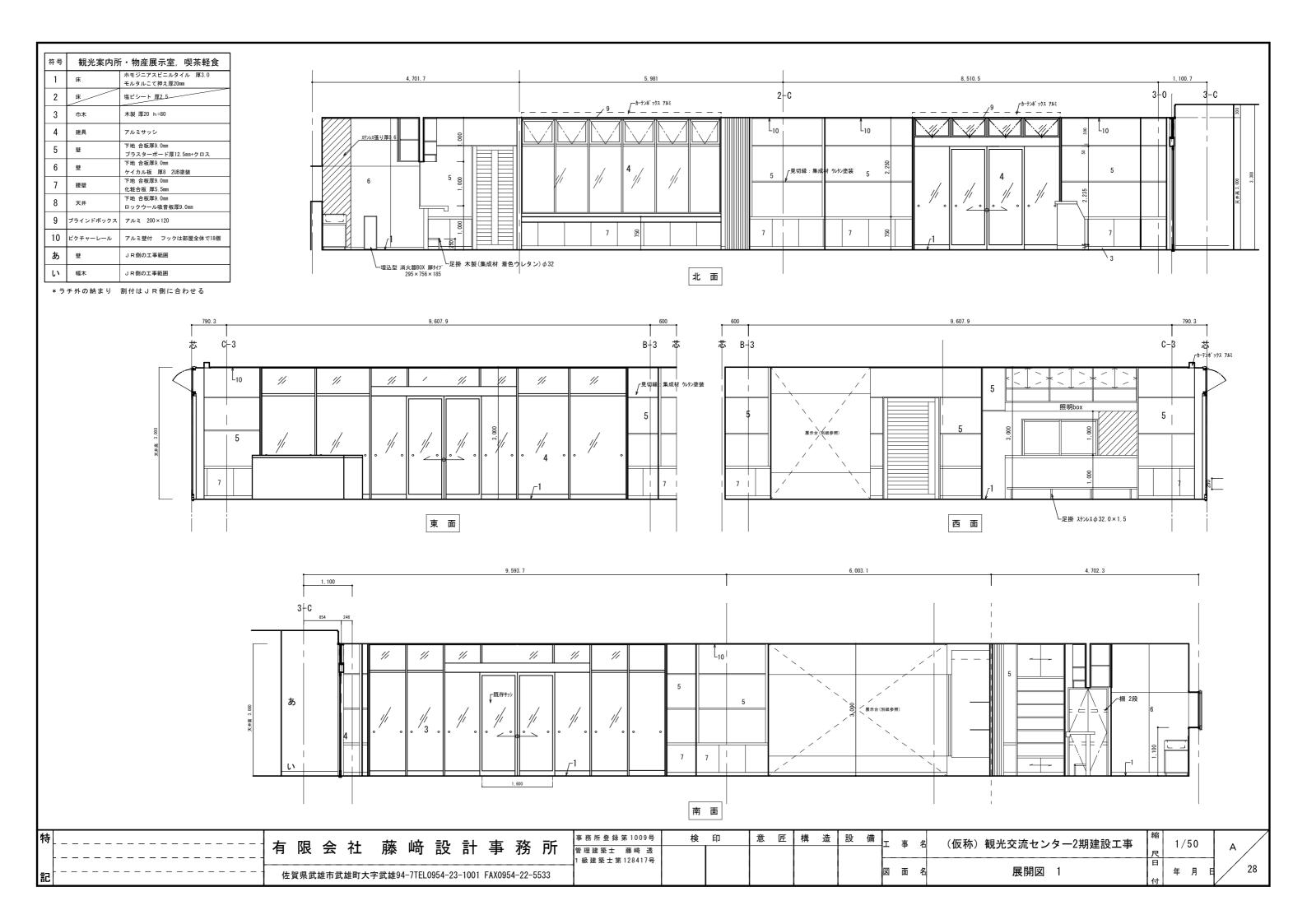


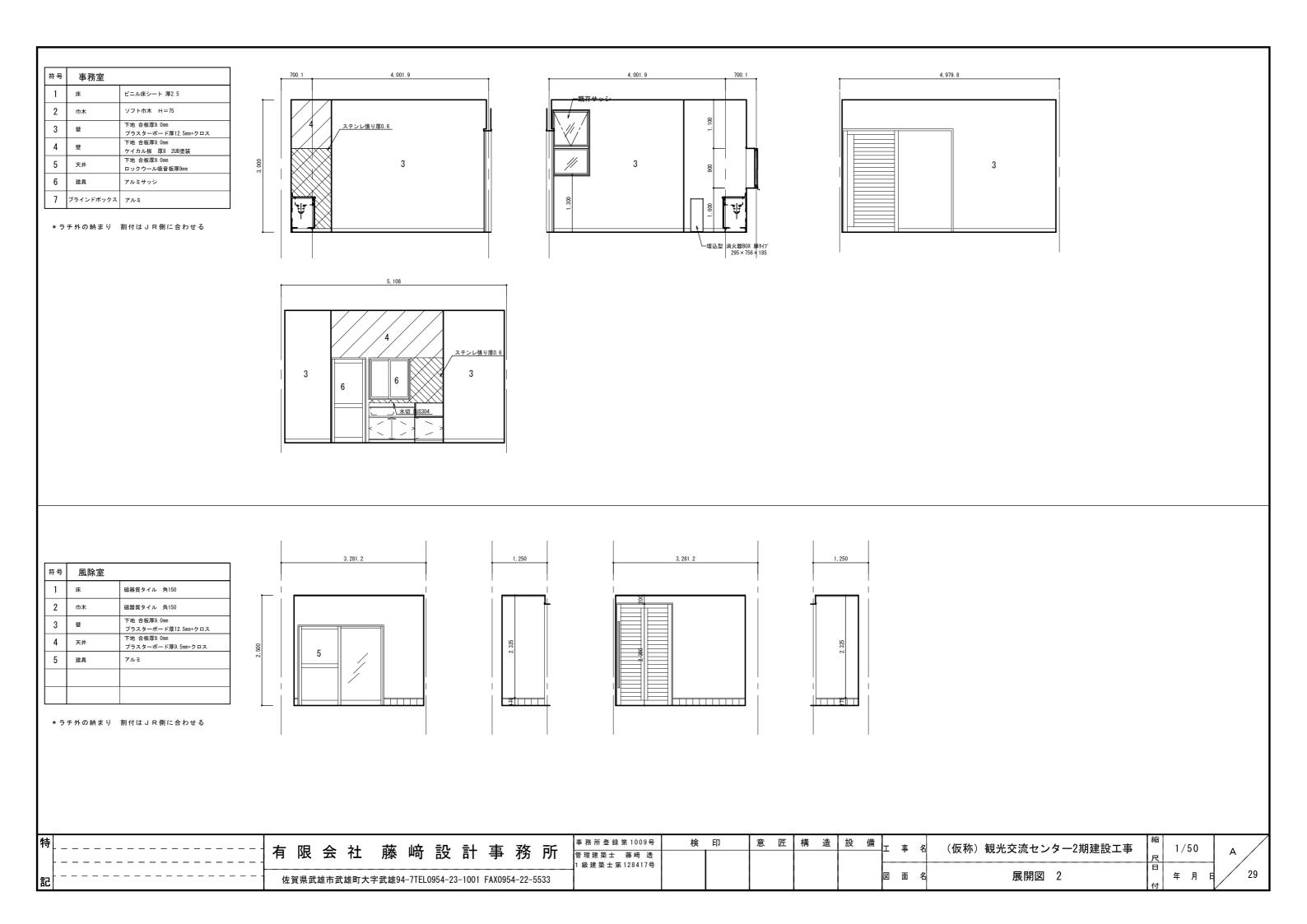


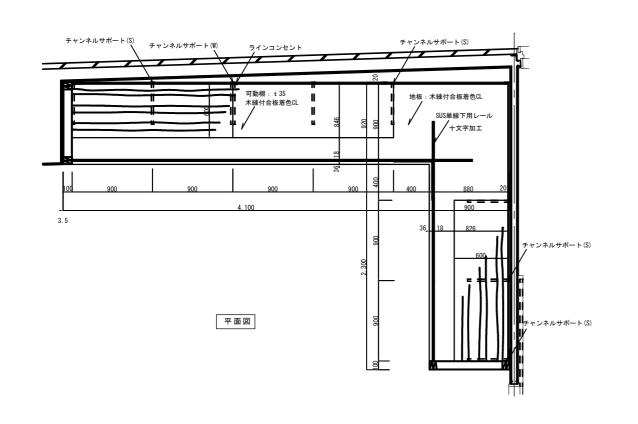


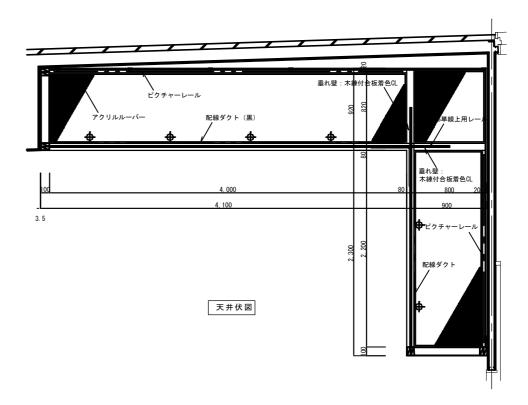


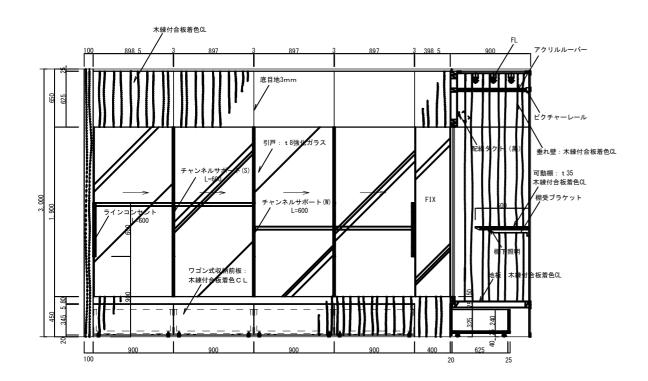


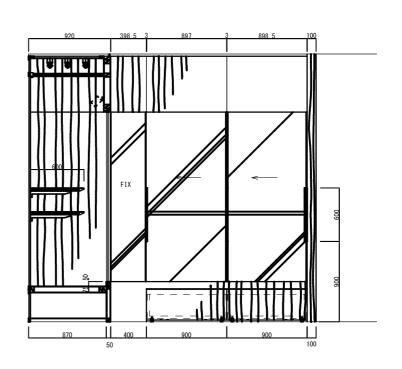




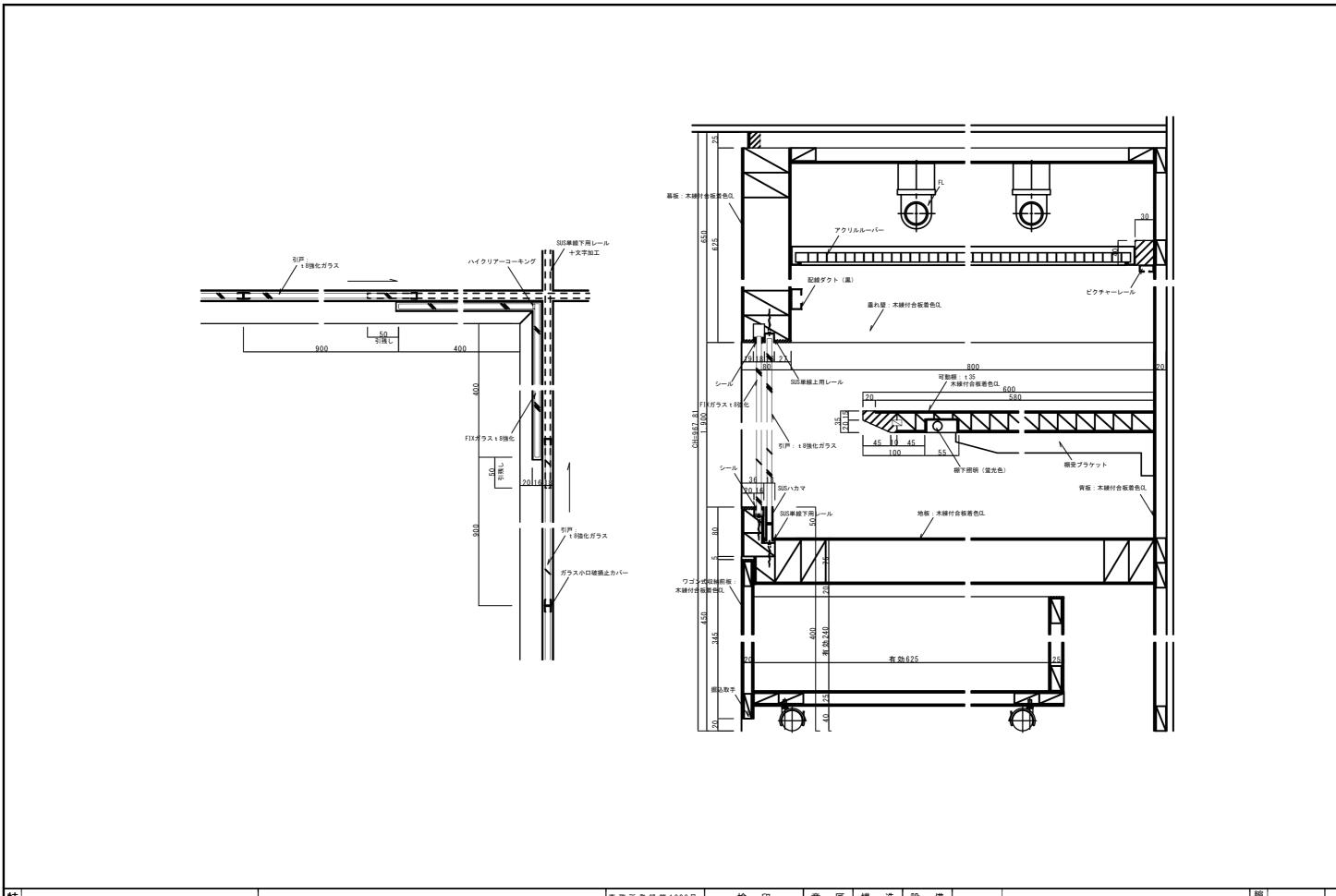








特	 	事 務 所 登 録 第 1009号	検	印	意 匠	構造	設備	工事名	(仮称)観光交流センター2期建設工事	縮	1/30	
	 有限会社 藤﨑設計事務所	管理建築士 藤﨑 透 1級建築士第128417号								- 艮		^/
記	 佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533							図面名	展示台平面図	付	年 月 日	30



特	<b>寺</b>		事 務 所 登 録 第 1 0 0 9 号	検	印	意 匠	構造	設	備 .	T 事	名 (仮称)観光交流センター2期建設工事	縮 1/4	
		 有限会社 藤﨑設計事務所	管理建築士 藤﨑 透 1級建築士第128417号						F			. / · -   문	^/
訂	- 15	 佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533							[	図面	名 展示台断面詳細図	付 年 月	31

## §.4 基礎配筋 §.5 軸組配筋図 鉄筋コンクリート 浩構浩標準図 3-2 フックの必要な箇所 下図の ● 印の鉄筋の重ね継手の末端には 5-1 柱 フツクが必要。 直接基礎 杭打基礎 全ての普通丸鋼 本図面は、一般の鉄筋コンクリート 造建物及び鉄骨造の鉄筋コンクリート 部分用とする。 1) 柱主筋の継手 2) 柱主筋の定着 ■ HOOP. STP. 巾止メ筋. DI A・HOOP 本図面以外の構造図に指示のある場合は、その指示による。なおその他明示のない場合は、 □ 柱主筋の内柱頭4 隅、及び、4 隅の重ね継手 4隅フック付 係員の指示による他、「建築工事共通仕様書」(公共建築協会)、 又は、「JASS. 5」 ・ 梁主筋の内、出隅部分にある重ね継手 (日本建築学会)、に準ずる。 □煙突の鉄筋 §.1 使用材料等 H<sub>0</sub>/4 1-1 鉄 筋 $H_{0/2}$ +15d I d ≧I øb +dを基本とする 規格等 適 用 以上曲げ上げ、本らに I d.k: 鉄筋応力度の2/3に対する 末端にフックを設ける SD295A JI S D10, D13, D16 3-3 鉄筋のあき 必要付着長さ 基礎接合部の補金筋 (柱主筋継手範囲) 15012111 SD345 同上 D19, D25 普通丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値 ※ e/D>1/6のとき STP@に同じ 1.5d 以上、粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上 500以上 1-2 コンクリート 6以上 種 別 適 用 HOOP筋径を1サイズ あげる 基礎、地中梁、ピット壁、根廻り、土間 21+3N/mm2 · S-18 400以上 15N/mm2 · S-18 15N/mm2·S-18 150KLE 型DIO@250W-/150以上 3-4 鉄筋の定着及び継手長さ ~ 夂 基 礎 $H_0/2+15d$ 1-3 基礎種別 コカナナの ∟₁及び ハンチを付けた場合( a ≧3) L 2 直接基礎 : 設計地耐力 (長期) 200 KN/㎡ 土質: 礫混じりの砂質土 小梁下端 小梁下端 床版下端 床版下端 村丁基礎 : 10H 7V Fc= 18 45d 40d 25d 35d 30d 15d 150KLE SD345 耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう 40d 35d 同上 配上 30d 25d 配上 L2 地耐力の確認: 1-1期、1-2期、2期工事にて載荷:環络1ケ所を行なう 130~150 註1) 端部のフックは、定着及び継手長さには含まない。 2. ① の触跡はスラブ主筋の径以上とする。 註2) 径の異なる重ね継手は細い方の径による。 3. (2) の鉄筋 おりょり上とする。 HODP及以 A HODP ※6d 以上 ~6d 以上 L1 1-4 その他の材料等 註3) D35以上の異形鉄筋は、原則として重ね継手としてはならない。 4. 埋戻し土のある場合は40を70とする。 の形状 ・特記仕様書による 3-5 鉄筋継手の間隔及び形状 の寸法 PCパイル PHCパイル 杭頭部の補強 ※a はかぶり 厚さ (3-6表十10) 所定の位置に止まつた場合 所定より 低く止まつた場合 重ね継手 3 ) 帯筋 H型(タガ型) S型(スパイラル型) W型(溶接型) L1 a L1 1-5 材料試験等 圧接継手 $a \ge 0.5L1$ - PC鋼材カット 特記仕様書による 圧接部の形状 -H00P: D10@10 70°以上 🤈 H00P: D10@100 . 5• D 3 以下 底板(市販品) しは中間部50かつ300以上 《圧接前》 《 圧接後》 末端の添巻は1.5巻以上 §.2 鉄筋径表示記号 設ポッチ以下 ガス圧接継手の有無 底板 市販品 鉄 筋 径 DIO DI3 DI6 D19 D22 D25 D29 D82 D 25 中埋めコンクリート(ベースと同論度) 中埋めコング ート(ベースと同強度) 表示記号 ø × 0 × 3-6 鉄筋の最小かぶり厚さ 2d 2d 杭 径 300° 350° 400° 500° §.3 鉄筋の加工要領 構造部分の種別 かぶり厚さ 備考 第1 帯筋 L は片面溶接10d 補強筋 6-D13 8-D13 10-DI3 8-D16 10-D16 仕上有 20 3-1 鉄筋の折曲げ規準 床版 非耐力壁 両面溶接は5d以上 場所でコンクリート 杭 杭頭部の補強 什 上 無 30 下記以外 30 a) 鉄筋末端部の形状 ない部分 柱 梁 耐力壁 屋外仕上無 40 曲げ内法 寸法(D) 鉄筋種別 余長(1 ) 擁壁 耐圧床版 40 柱梁床版壁 土に接す 때 型 4d以上 4d以上 a: かぶり厚さ L は50d以上かつ30cm以上とする 基礎 擁壁 耐圧床版 60 d D はつり部分 1. 第1帯筋は、梁面に入れる 135° 同上 4d以上 6d以上 2. W型で現場容接をする場合は主筋の位置をさける 係員の指示する梁 のSTPにのみ使用 同上 4d以上 10d以上 3. フツクおよび継手の位置は、交互とする する。 06 l I I I II b ) 鉄筋中間部の形状 4 ) 2 段配筋 HOOP筋の継手は片側容接 3-7 鉄筋の最小間隔(2段配筋の場合) 10d又は重ね継手40d 曲げ角度 形 状 使用箇所 鉄 筋 径 鉄筋種別 曲げ内法寸法(D) 鉄筋径 間隔(a) 4d以上 D16 杭間隔=2 X Φ かつ Φ +1000以上 > d A ii床 壁 D16以下 スペーサー D22 60 90°以下 同上 5d以上 D25 70 (各4/所) iii 上記이사 d ≤D25 6시다1 는 同 上 D32 d ≥D29 8억/기 두 事務所登録第1009号 検 印 意 匠 構造設備 事 (仮称) 観光交流センター2期建設工事 $N \cdot D$ 有限会社 S 管理建築士 藤﨑 诱 級建築士第128417号

鉄筋コンクリート造標準図 面 年 月 佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533

## 鉄 骨 造 構 造 標 準 図 本図面は、一般の鉄骨造建物に適用する。本図面以外の構造図に指示のある場合は その指示による。なおその他明示のない場合は、係員の指示による他。「 建築工 事共通仕様書」(公共建築協会)、又は「JASS.6」(日本建築学会)、に準ずる。精 度に関しては「鉄骨工事精度標準」(日本建築学会)による。 §.1 使用材料等 1-1 鉄 筋 種 別 適 SD295 JIS 鉄筋コンクリート 造標準図参照 鉄筋コンクリート 造標準図参照 SD345 JIS 1-2 コンクリート 種別 適 用 ・ 鉄筋コンクリート 造標準図参照 1-3 編 材 種 別 規格等 備 考 鉄骨断面リスト参照 高力ボルト ・ 鉄骨断面リスト 参照 ボルト・鉄骨断面リスト参照 1-4 基礎種別

・ 鉄筋コンクリート 造標準図参照

1-5 その他の材料等

特記仕様書による

1-6 屋根、床、壁

□折版:形式

□A L C 版 : 厚=

1-7 塗装

1-8 鉄骨工事

□QLデッキ : □QL99-50-12 : □SDP1G : □SDP2G

□コンクリート ブロツク( CB) : □ A種 □ B種 ■ C種

□コンクリート壁:厚= □ 120 □ 150 □ 180 □ 200

防鋳塗装の範囲は、高力ボル接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。

□ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ

注) コンクリート に埋め込まれる部分も塗装、但しコンクリート との接触面で、コンクリート と

一体とする設計仕様になつている部分である主柱ベース底及び間柱ベース底は、塗装をしない。

■ 製作工場 ■ 製作要領書 □ 工作図 ■ 施工計画書 ■ 社内検査表

■ 建設省告示第1103号による認定工場(大臣認定 J グレード、都道府県 ランク)

■ 材料規格証明書又は試験成績書( ■ 鋼材 ■ 高カボルト □ 頭付スタッド

JI S G 3352

錆止めペイントはJIS K5622を2回塗りを標準とする。

2) 工事監理者に検査事項を連絡し確認を受けるもの

□ 現寸検査 ■ 組立、開先検査 □ 製品検査

3) 溶接及び接合部を検査し工事監理者に報告すること

検査方法

超音波探傷式影

外観(目視)検査

注) 第三者検査とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が受入検査を代行させるため

錆止めペイントを使用し2回塗りとする。

1) 工事監理者の承認を必要とするもの

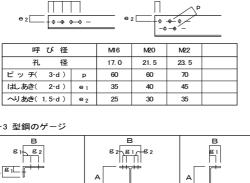
■ 溶接部及び接合部の検査報告

検査箇所

ピード、われ、アダーかり

オーバラグ 、余盛、 サバ 他

自ら契約した検査会社をいう。



締付け摩擦面は、母材においては平グラインダー掛け、スプライスプレート に

おいてはショット掛けを行い、黒皮を除去し一様に赤サビを生じさせる。

※トルクコントロールボルトの場合はメーカー規格による

M20

M22

締付け長さ

一余長

(ネジ山β山以上)

H T. B 締め付け長さに加え る長さ

MI6 30以上

35 "

40 //

§.2 ボルト 接合

(ボル 長) (ボル 長)

□ ボルト 接合面の処理

2-2 H.T.Bのピッチ

厚一

亜鉛メツキ(G) Z12

: 厚= ■ 100 □ 150 □ 190

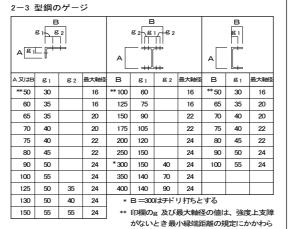
検査率又は検査数

30%

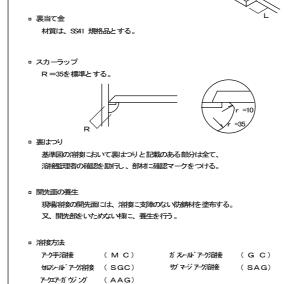
自 主 第三者 工事監理者 特記事項

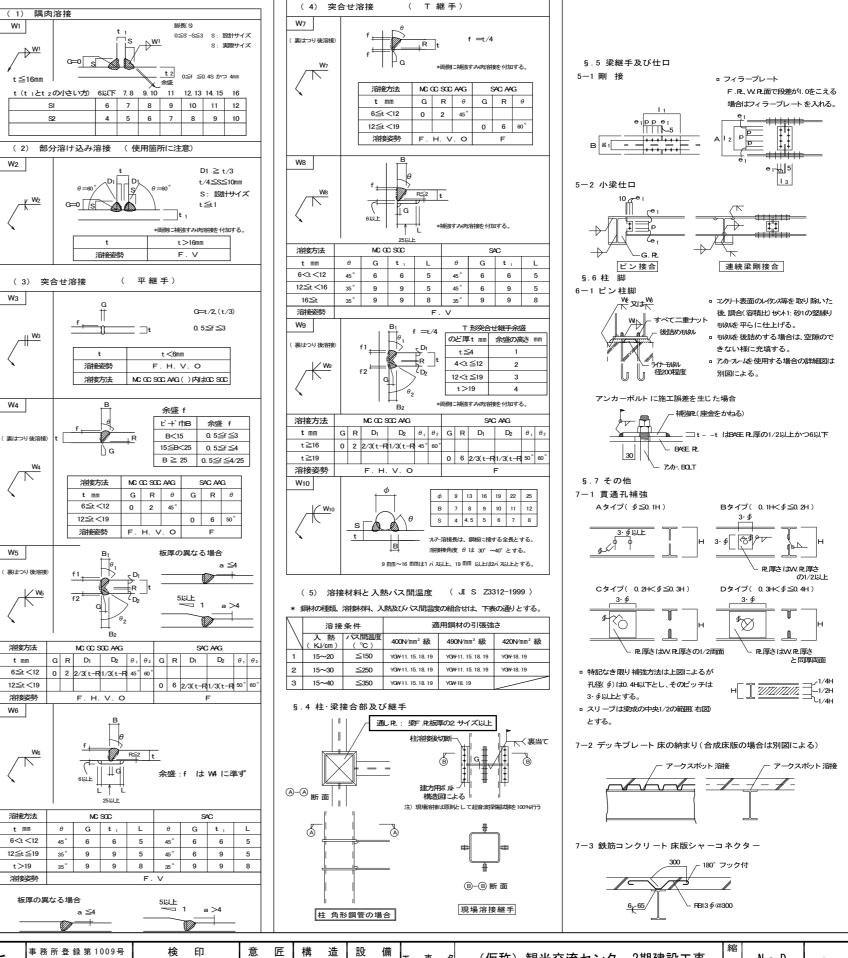
2-1 H T. B

3-2 開先形状

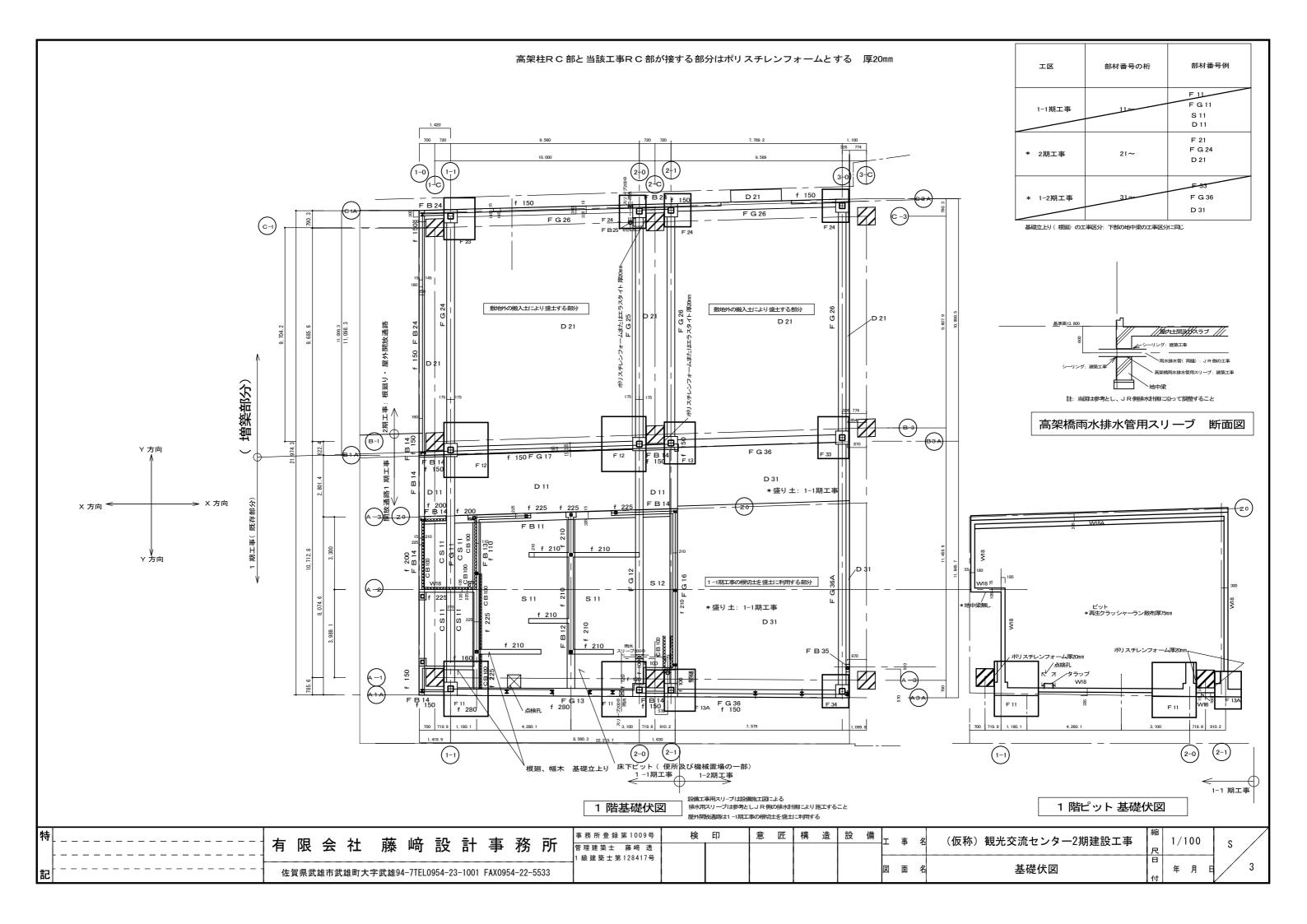


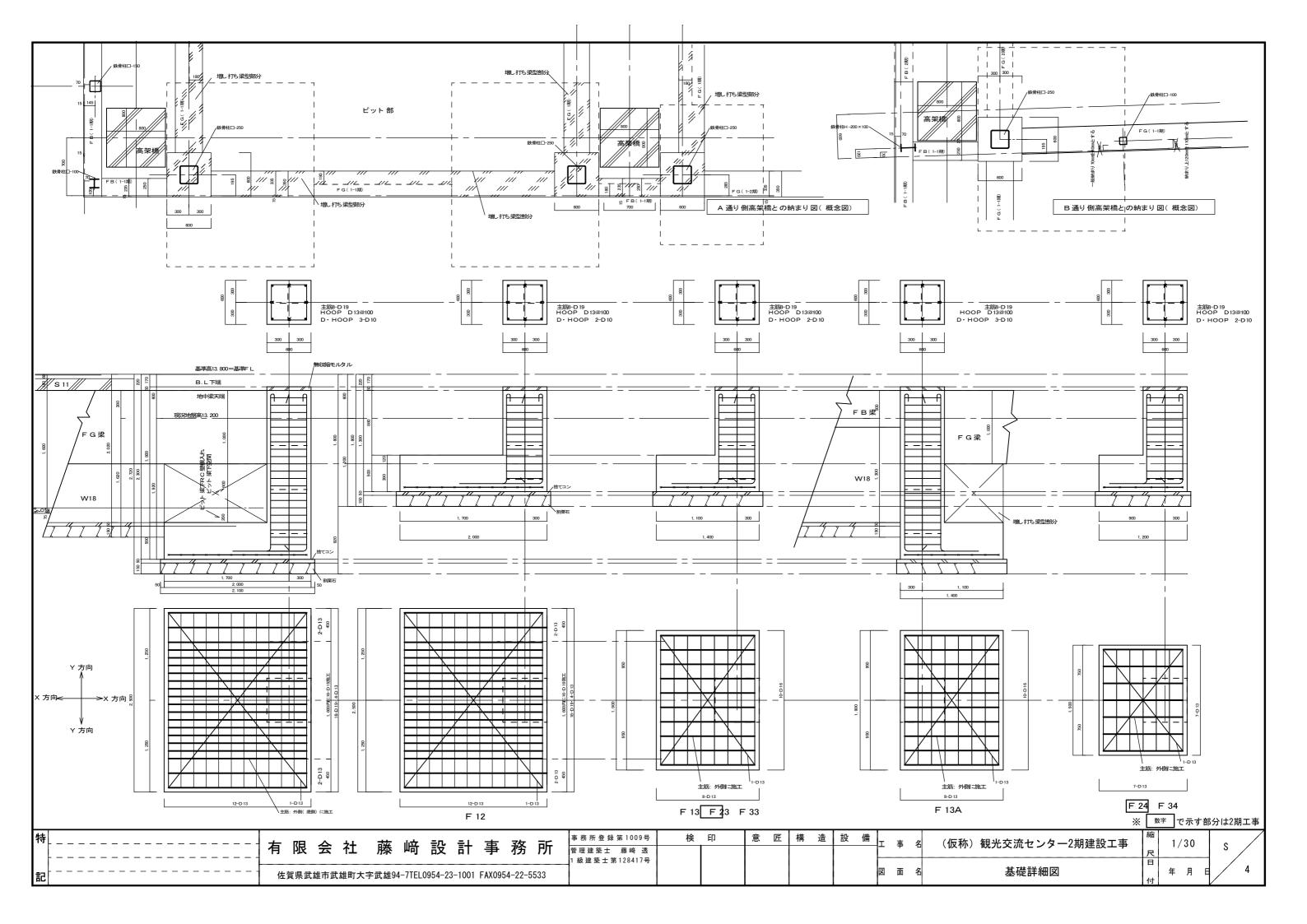


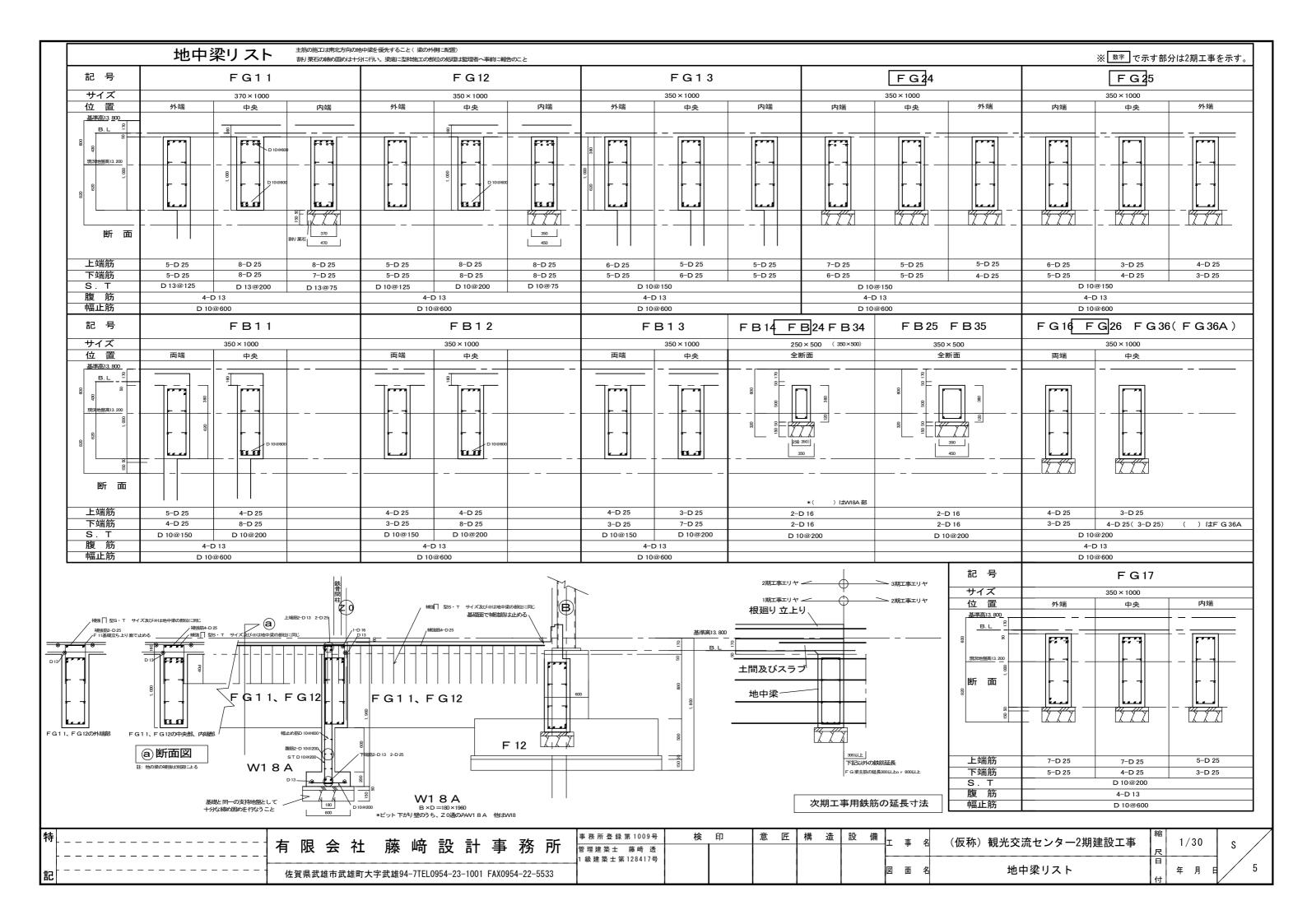


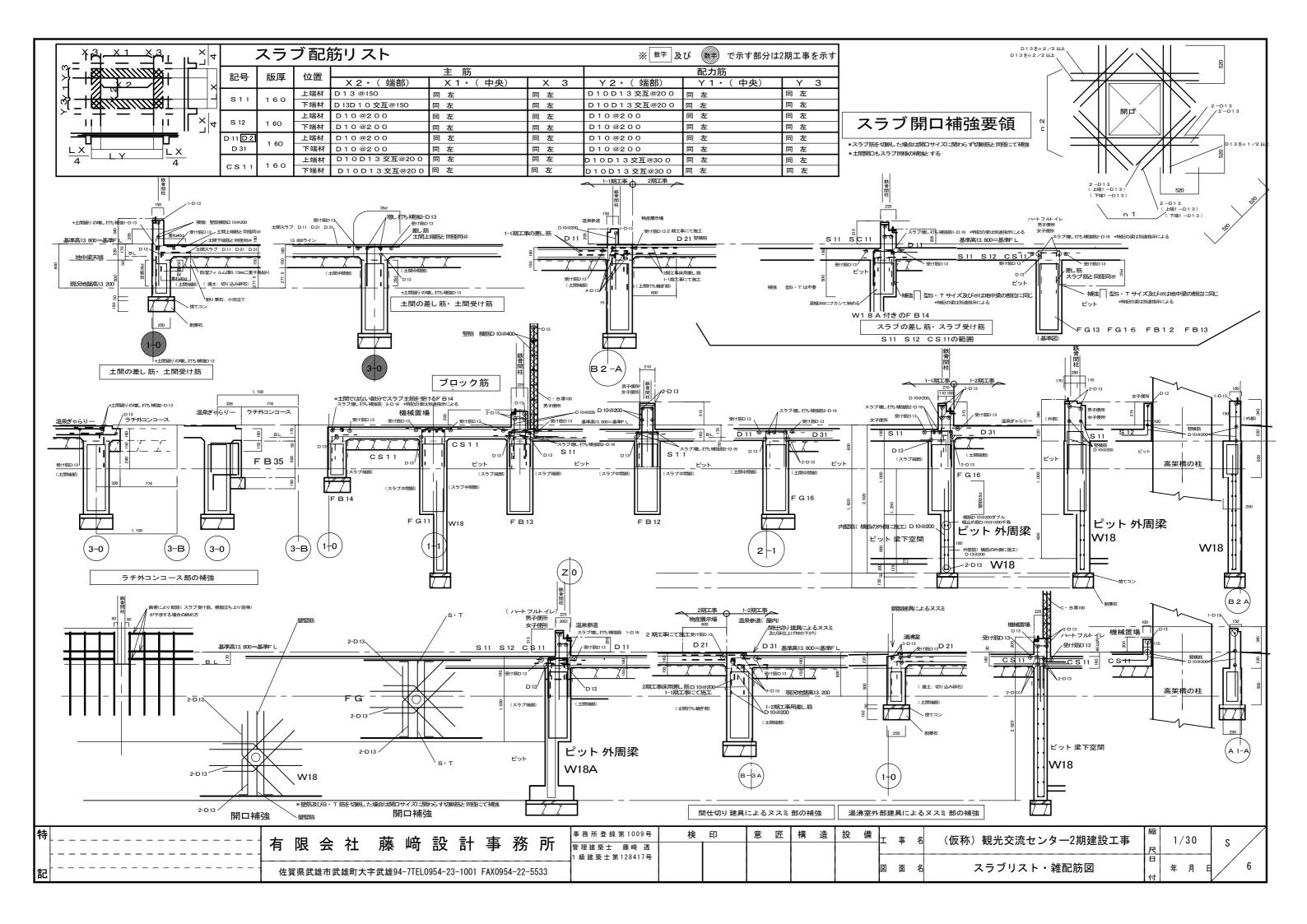


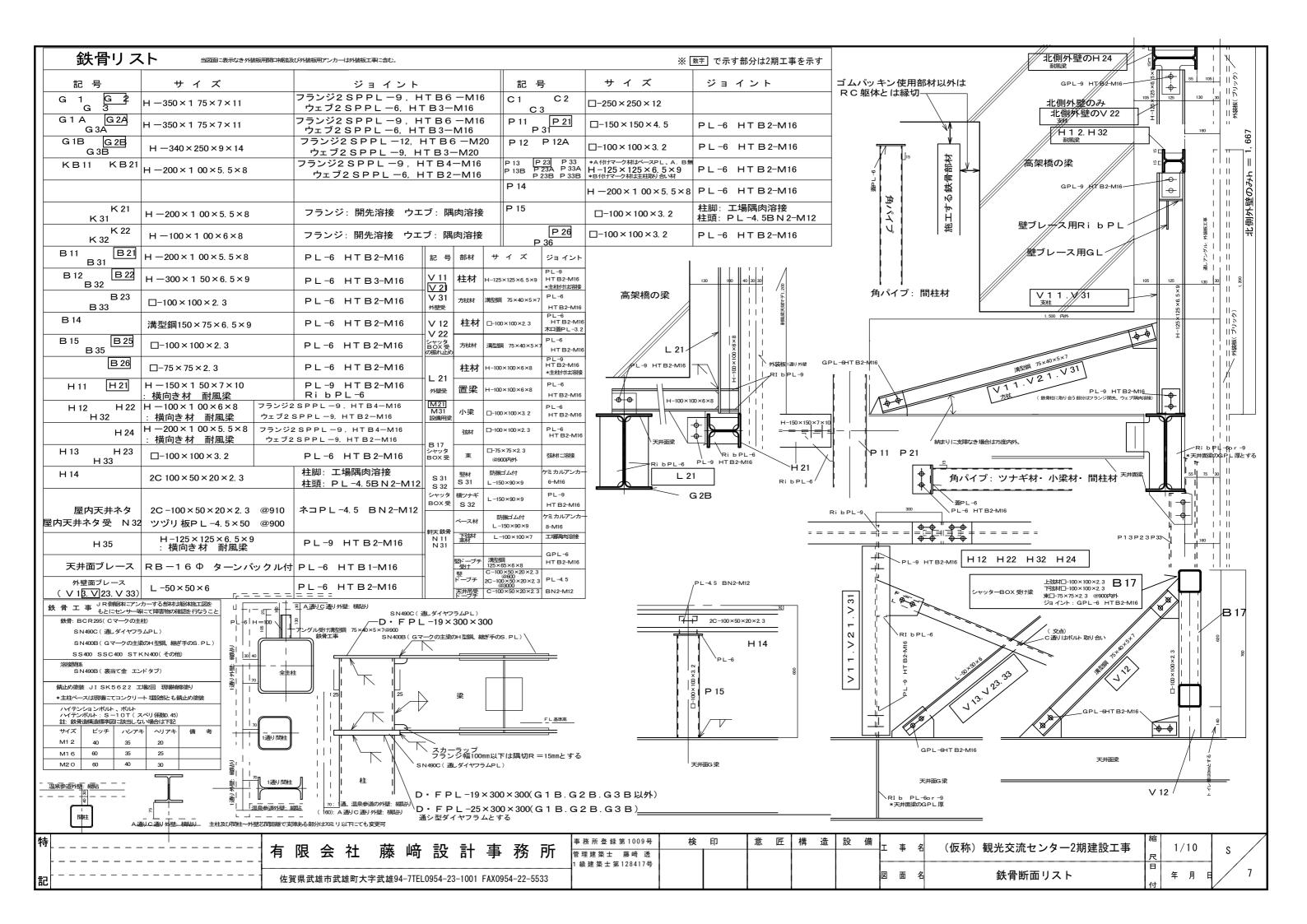


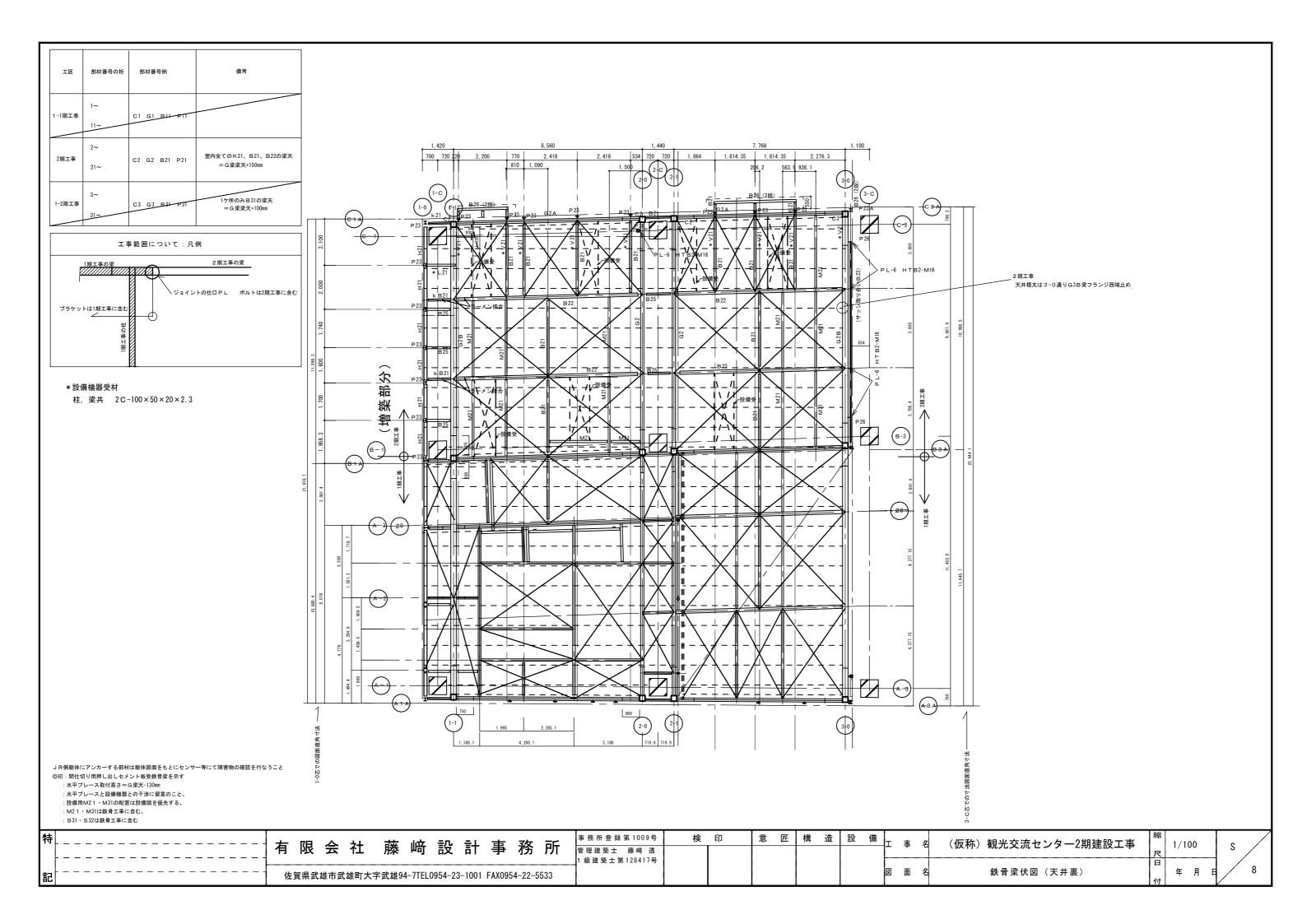


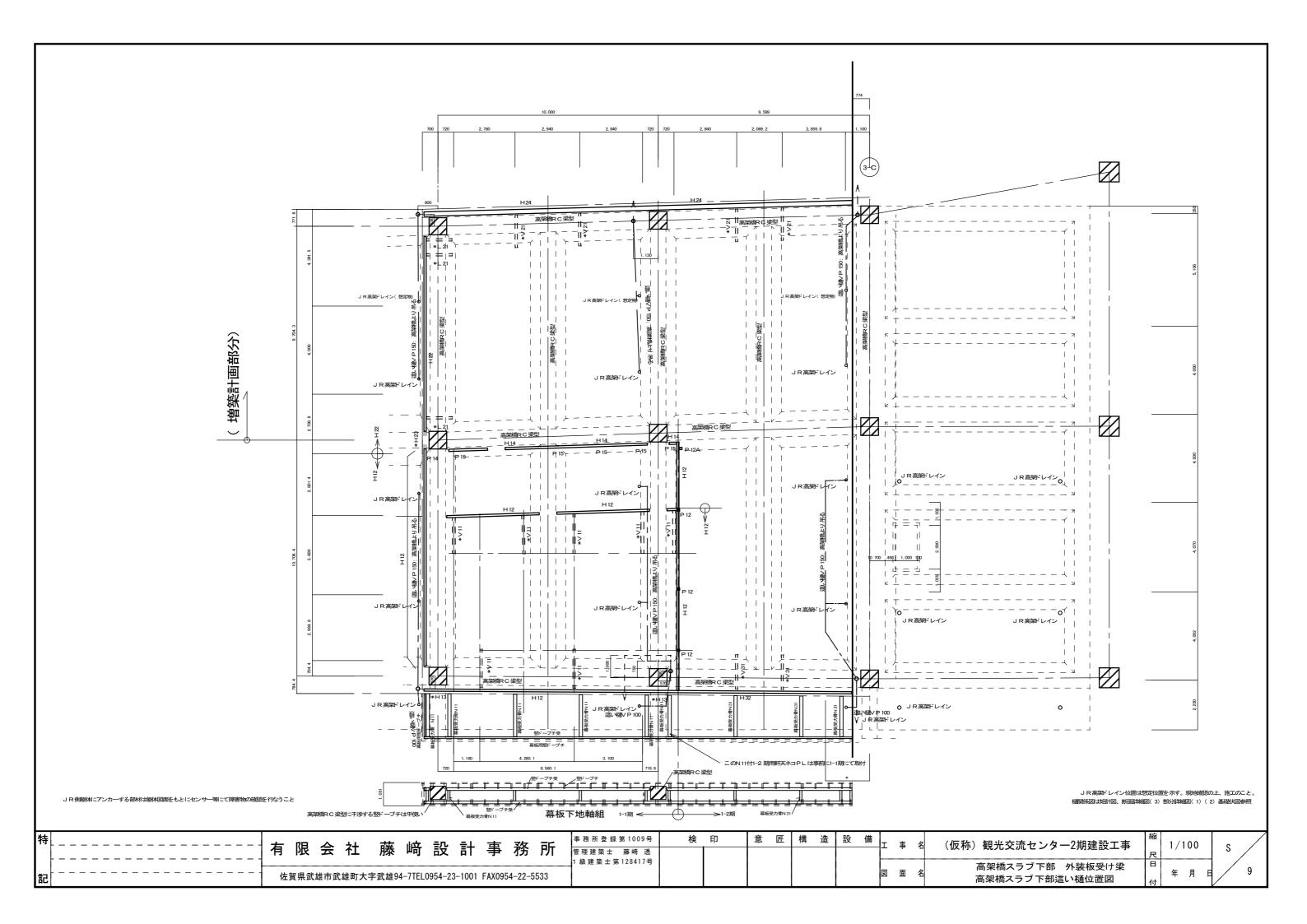


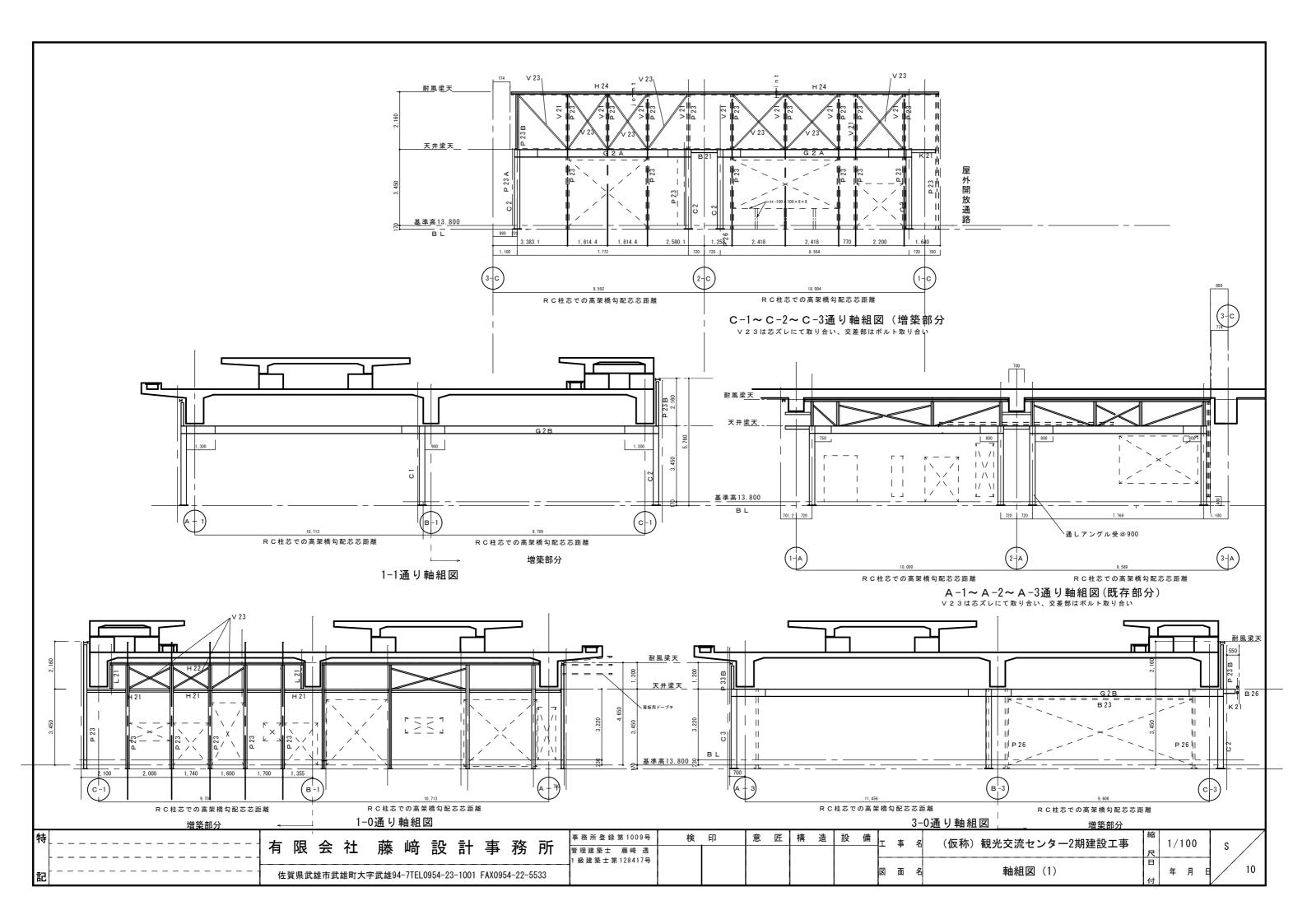


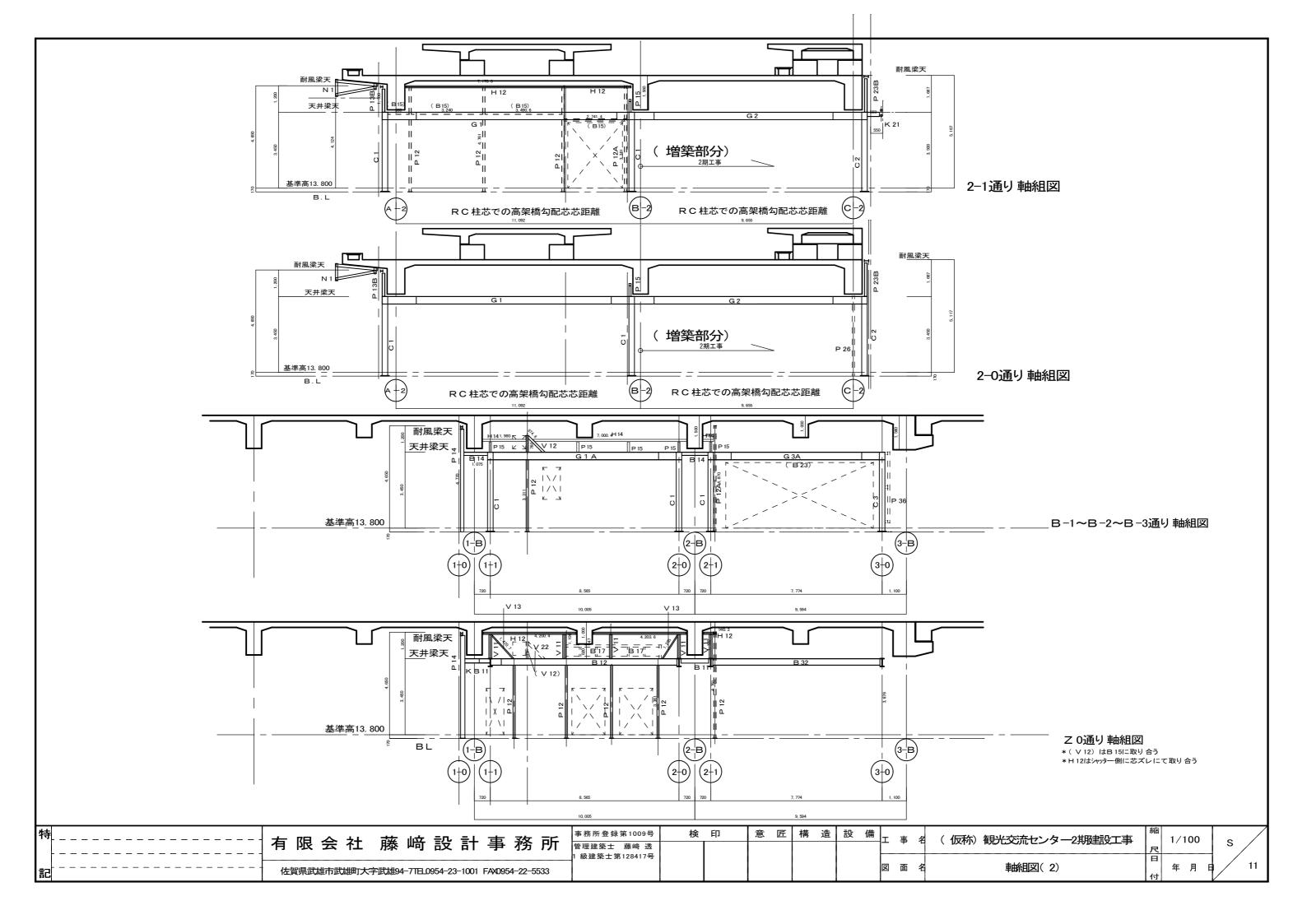


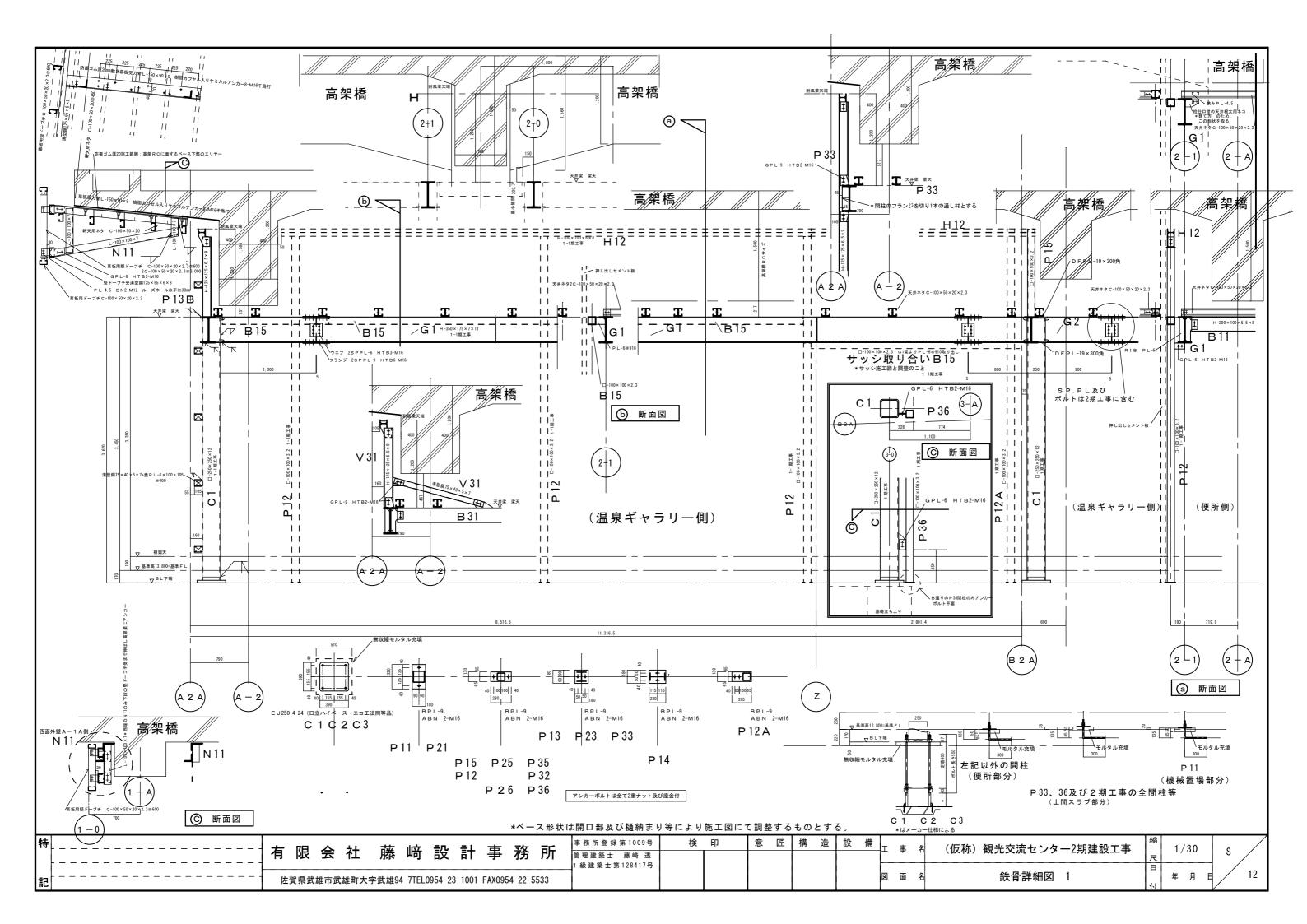


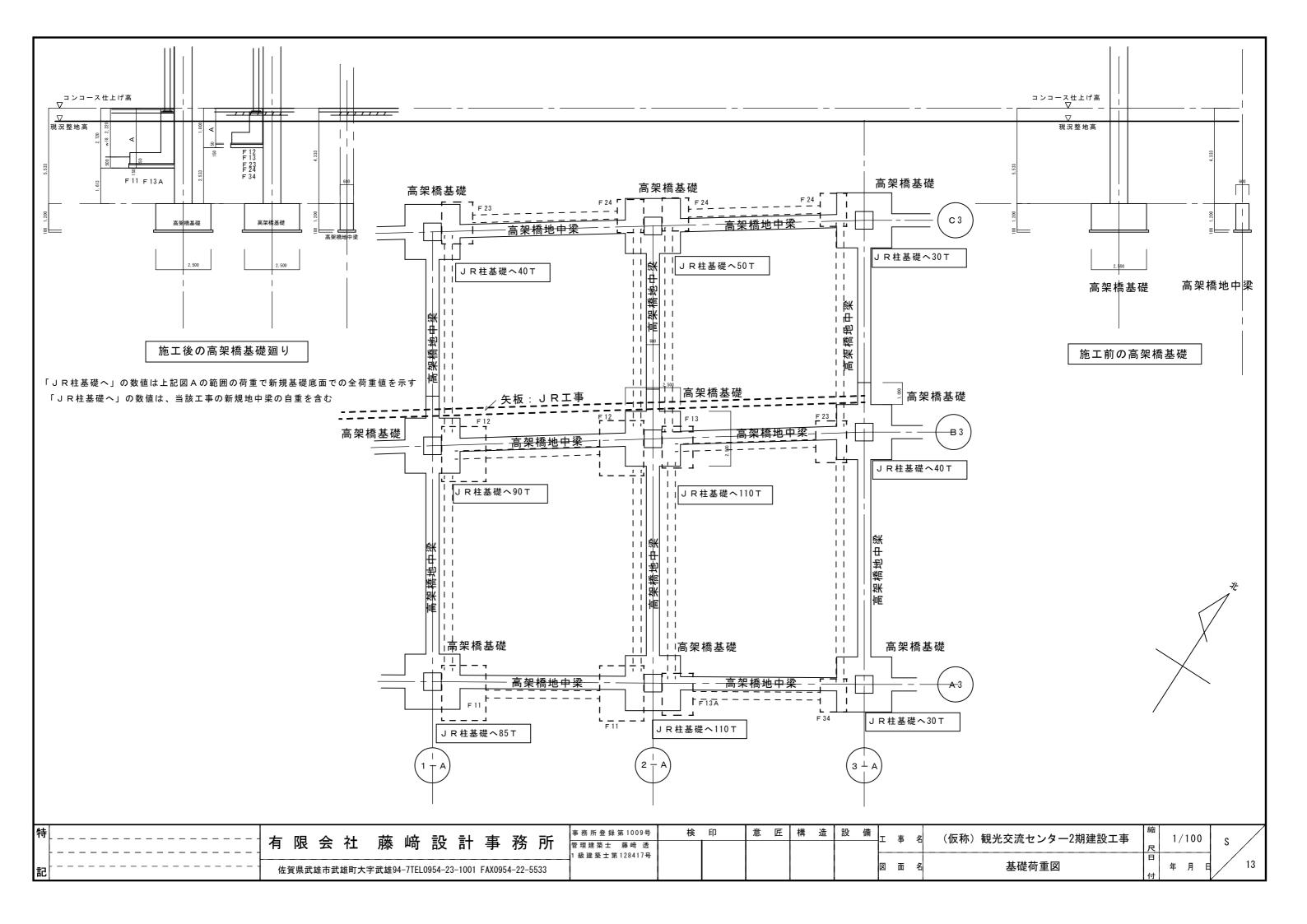












## (仮称) 観光交流センター2期 電気設備工事

武雄市役所 建設課

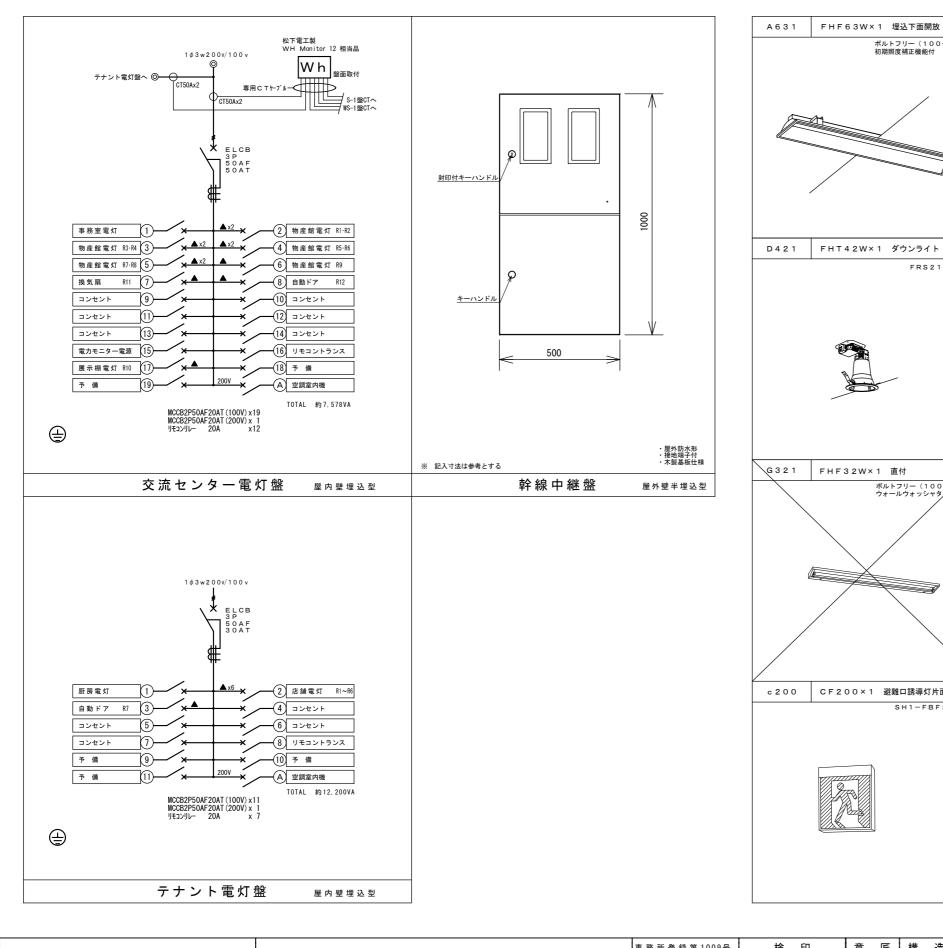
## (仮称)観光交流センター 2期電気設備工事

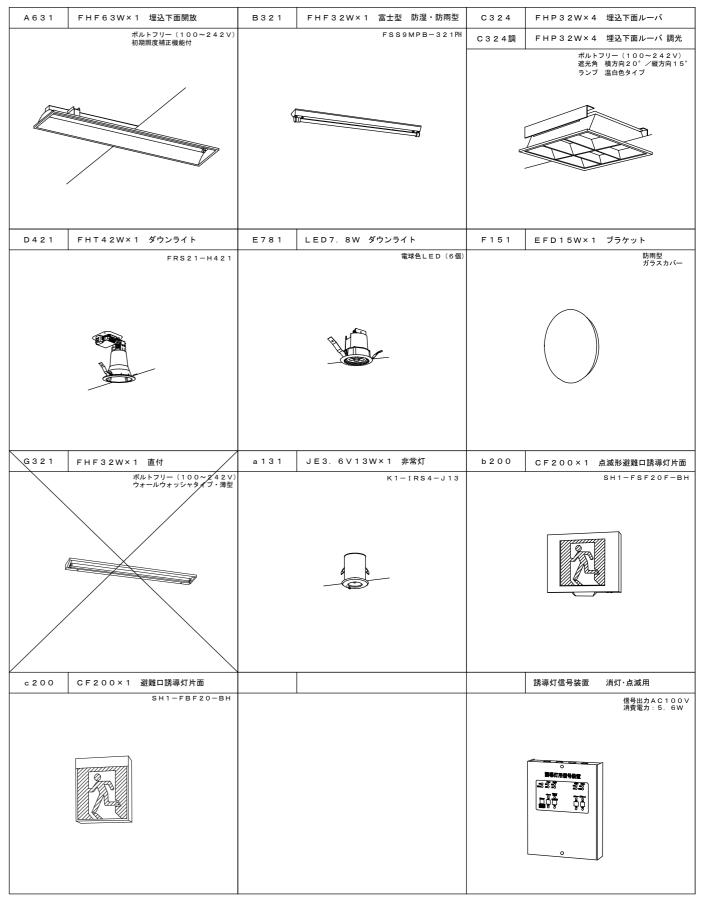
図面番号	図 面 リ ス ト	縮尺
E - 0	電 気 設 備 現 場 説 明 書	
E — 1	電 気 設 備 特 記 仕 様 書	
E - 2	盤 図 ・ 照 明 器 具 参 考 姿 図	
E - 3	既 設 盤 類 改 修 図	
E - 4	幹線・動力・コンセント設備平面図	S = 1 / 1 0 0
E — 5	電灯設備平面図	S = 1 / 1 0 0
E - 6	弱 電 設 備 平 面 図	S = 1 / 1 0 0
E - 7	自動火災報知設備平面図	S = 1 / 1 0 0

特	有限会社 藤﨑設計事務所	事務所登録第1009号管理建築士 藤﨑 透	検 印	意 匠 構 造	設備	工事名	(仮称) 観光交流センター2期電気設備工事	縮 N·D 尺	
記	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533	1 級建築士第128417号				図 面 名	図面リスト	年月日	

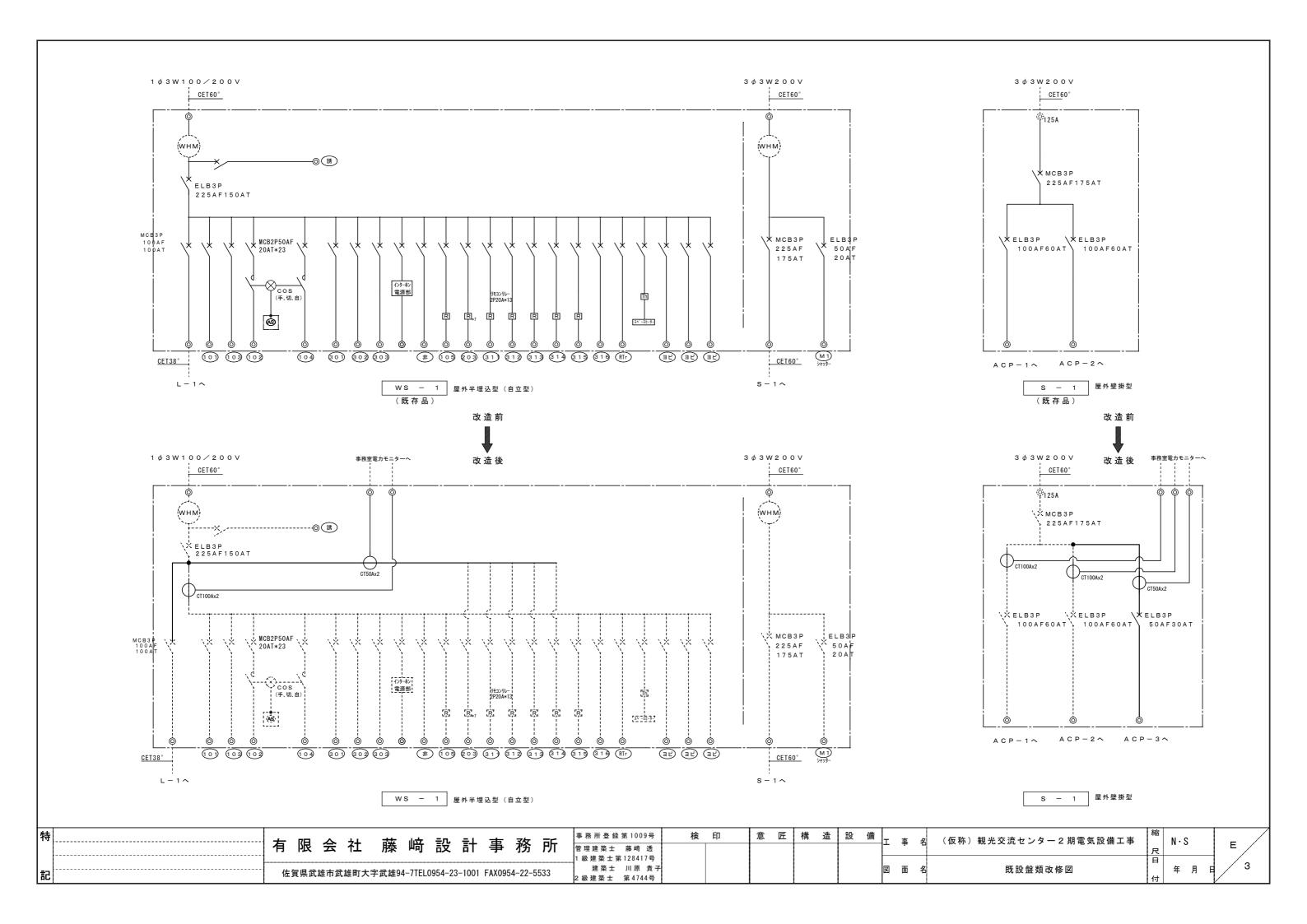
		現 場 説 明 書														
工 事 名	(仮称)観光交流センタ	岁一2期電気設備工事														
契 約 条 件	監督員事務所の電気, ガ	ス, 水道使用料, 公用電話料金は, 建築, 電気, 衛生, 空調等の各請負					建設	資材納入業者の	利益を不	当に害する	ことなく、公正な	取り引きを行うこと。さらに,工事の実施にも	あたっ			
	業者により,按分負担する。						たは,	下請け代金の	決定(前	払い金を含	む)及び下請け代	金の支払等についての不適正な条件による下間	青けをし			
建設業退職金	1, 建設業者は, 組合に	こ加入するとともに,その建設業退職共済制度の対象となる労務者についっ	て,証紙を購入し,				ない	こと。また,不	必要な重	層下請が生	じないよう配慮す	ること。				
共 済 組 合	当該労務者の共済手帳に証紙	紙を貼付摺ること。						4, 工事施工に	あたって	ては、土砂等	の運搬が運送契約	こによって行われるときは、正規の運送免許を	受けた者の	車		
		ない   安集者は、組合の発注者用掛金収納書(以下「収納書」という。)を工事	: 請負契約締結後.				輌の作	使用に努めるこ	٤.							
	1ヶ月以内に契約相手方の担							5,建設資材の	)価格変動	かに対応し下	請金額の変更につ	かいては、適切に措置すること。				
		ーー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	る定を			案 内 根 を含む)	i   :	工事の案内板は	t, 書入内	9容,製作寸	法,使用材料,該	設置位置について監督員と協議して設けること。				
	あわせて申し出ること。		. ~ 2		工事に使用	する進入路		土砂,工事用資	材等のダ	<b>ブ</b> ンプ,トラ	ック等の大型貨物	7自動車による搬送計画,通行計画の選定,その	の他車輌			
		る必要があるときは、関係資料の提出を求めることがある。					の通行	行に係る安全対	策につい	て、請負業	者は関係機関と十	分協議して、必要な具体的内容を定め、監督員	真の承認			
		の	掛全切 4 頼 た 下き 4				を得え	たうえでこれを	誠実に履	行すること	。また、官公署等	に対する許可届け等の手続きも行うこと。				
		、下請業者の組合加入並びに証紙のこ購入及び貼付を促進すること。	野亜伯当懐を下胡に		仮囲い	等		仮囲い及び板塀	詳について	ては, 設計図	]により実施するこ	と。なお,現場の状況により仮囲い等の変更だ	が必要な場			
		, 下調来有の報告加入业のに証本のに購入及い始刊を促進すること。 いさく、管理事務処理の面で万全でない場合は、元請業者に組合加入手続	: +他 Tu 7 ( 4口 △ 目日 /万				合は,	監督員との協	議により	実施するこ	٤.					
			(成及び和口関係		工事中	の写真	: :	工事中及び竣工	写真につ	いては, 建	設大臣官房官庁営	な は 結部「工事写真の撮り方(建築設備編)」に 。	よる他,			
建設産業における生産システム		もあるので、元請業者は積極的に受託すること。					建設	地周辺に建築物	,構築物	等がある場	合は適切な区画を	定め,必要に応じ、着工前にそれらを撮影する	こと。			
合理化指針		, 「建設産業における生産システ合理化指針」を遵守すること。			関連工事と	の協調		工事関係請負者	信は、工事	事の質の向上	:及び工事全体の円	]滑な進捗を図るため、協議、協調すると共に、	契約			
工事費内訳書 安全対策	入札に際し、工事費内訳書の		5.4.浮儿长事。				書並	ぴに「共通仕様	書」によ	る他, 監督	員の調整に従い、	工事の円滑な施工に協力すること。				
2 1 7 4		は、「建築・電気設備・機械設備工事共通仕様書」、「公共住宅建設工事 う。)による他、下記による。	P		竣工後の維	持管理	1,	竣工後の維持領 (期間は			協議のうえ、請負者	皆の責任において,下記の仕様により善良に行	うこと。			
	(イ) 本工事における	5建設機械の使用については、環境汚染,鉛公害等防止のため、ガソリン無鉛	化対策を講じ					(4) 雨天の	)日以外は	は週に2回じ	<b>↓上建物を開放し</b> ,	室内の換気を行う事。				
	たものを使用すること。							(ロ) 暴風雨	等,当該	核建物に被害	₹の生じる恐れのあ	5る場合には,必要な措置をとると共に,その約	結果を監督	員に		
	(ロ) 工事請負者は附	付近住民への防災その他の対策については, 特に留意し, 関係下請負作業	者にその趣旨を					報告	すること。	•						
	徹底し,紛争が生じた場合は	は、直ちに監督員に報告し、責任をもって処理すること。						(ハ) 建物内	部及び馬	間囲は適時巡	巡回し、建物等に指	慢傷, 故障その他異常があったとき, 又は緊急	事故が発生	L		
	(ハ) 危険物, 土砂及	及び塵埃が現場から飛散しないよう防止策を日常怠らぬようすること。						たと	きは, 所	要の措置を	講ずると共にその	結果を監督員に報告すること。				
	(二) 震動, 騒音を伴	<b>半う工事については,その防止対策を講ずると共に作業日時は次のとうり</b>	とする。					(二) 建物を	使用開始	台する直前に	ユ建物の内外の清掃 エ	を行う事。				
	◎ 日曜日及び国民の祝日	には作業は行わない。なお、作業時間については、周辺居住者と十分な協議	義を行う					(ホ) 居室の	)外部開口	1部には必要	それで に 監督員と 協	。 諸議して、遮光シートを取付け維持管理をする。	こと。			
	等の措置を講じ、かつ関係	R法規等に抵触することのないよううに十分配慮し作業を行うこと。					2,	建物使用開始後	後,原則と	として, 90E	日間は及び設備の耳	Q付い等の処理のため、即時対応できるよう態:	勢を			
	(木) 建設現場内,外	トを問わず, 道路, 構築物等を破損あるいは, 汚染させた場合は, 本工事	請負業者の責任に					取っ	ておくこ。	٤.						
	おいて、すみやかに原型に復	夏し,管渠等への土砂の流入があった場合は直ちに除去すること。			その他特記	事項				のとうりとす	する。現場説明書	(現場説明に対する質疑応答書も含む), 特記・	仕様書,			
	(へ) キャタピラ付料	寺殊車等の場内道路の通行については監督員の指示をうけること。						設計図,共通化		± 1 - 4± v	. * * ! !		~ +			
適正な施工の確保	1. 工事現場ごとに設置	置しなければならない専任の主任技術者又は、専任の監理技術者について	は適切な資格,									車輌等は徐行運転をし、駐車は指定の場所に行				
	技術力等を有する者を設置す	すること。					- 1	工事の一部をT を得ること。	下請に付す	する場合は、	下請契約の形式を	と明確にして,直ちに一部下請申請書を提出し,	,承諾			
	2、労働時間についたは	は、労働基準法を遵守し、労働時間の短縮や休日の確保には十分配慮する	こと。				-	不慮の事故に値			ロ入すること。また	と,労働災害事故にも備え,建設労働災害補償	制度へ			
危 険 防 止	工事期間の危険防止についる	ては下記のよること。									+ 太 本 丁 車 娄 孝 問 /	D自由な意思が尊重されますが、下請契約の相:	<b></b>			
	(イ) 工事期間中危険	食と思われる箇所については危険防止の稼動柵,立入禁止の表示,立札を	設置し,夜									が 材はできる限り市内業者から購入してください。 がはできる限り市内業者がら購入してください。				
	間は必要に応じ注意灯を設け	ける等の措置を講じること。					0	建設副産物の処			き場に関する辻徒	」、「再生資源の利用の促進に関する法律」及	기 (기계 = 11 Toll Pi	- 物油		
	(口) 工事期間中,通	<b>通行者の安全確保のための交通整理員を配置する等,必要に応じ措置する</b>	こと。									」, 「丹王貞源の利用の促進に関する法律」及 適切に処理すること。	・ひを改画が	E 19J JULI		
注 意 事 項	1, 官公署等への手続き	きについては「共通仕様書」による他,地元に対しても打合わせ等を十分	た行い、工事中								運搬は許可を受け 分場(中間処理場?	た収集運搬業者の車輌とする。又,処分につい を今お)とする	ても許可る	ŧ		
	も地元及び関係官公署に対	し、連絡を保ち適切に行うこと。										- 日日 / こ / し。 写真等による,産業廃棄物処理報告書を作成す	・ステレ			
		第7条の2」の保証事業会社への通知 期変更の被保証者(発注者)から保証事業会社への通知を発注者に代わ・	って行うものとする。									ラ具寺による、産未焼来物処理報言書をTF成9 ・リサイクルを前提とした処理に努めること。	a - C o			
	(ロ) 通知方法は,	工期変更にかかる工事請負変更契約書の写しを送付して行うのとする。					1 %				作成要領により提出					
	3, 工事を受注した業者	皆は,適切な賃金の確保,及び労働災害の防止等,建設労働者の保護につ	とめるとともに,				0		いて防災			▲1部提出すること。 ₿局(電波法に基ずく免許を受けないで開設され	る無線局)	を設置しているダ	プカーについ	いては
				事務所登録第1009号	 <u> </u> 印	意匠		造設						縮	$\overline{}$	
		有 限 会 社 藤 﨑 設 計	事務所	管理建築士 藤﨑 透 1級建築士第128417号	-		† ···		T I	事 名	(仮称)	観光交流センター2期電気設備	エ事 	R 日	_	E
		佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-100	1 FAX0954-22-5533						図	面名		電気設備現場説明書		年 月	4/	<sup>′</sup> 0
		I .		1										ן ניו ן	-V	

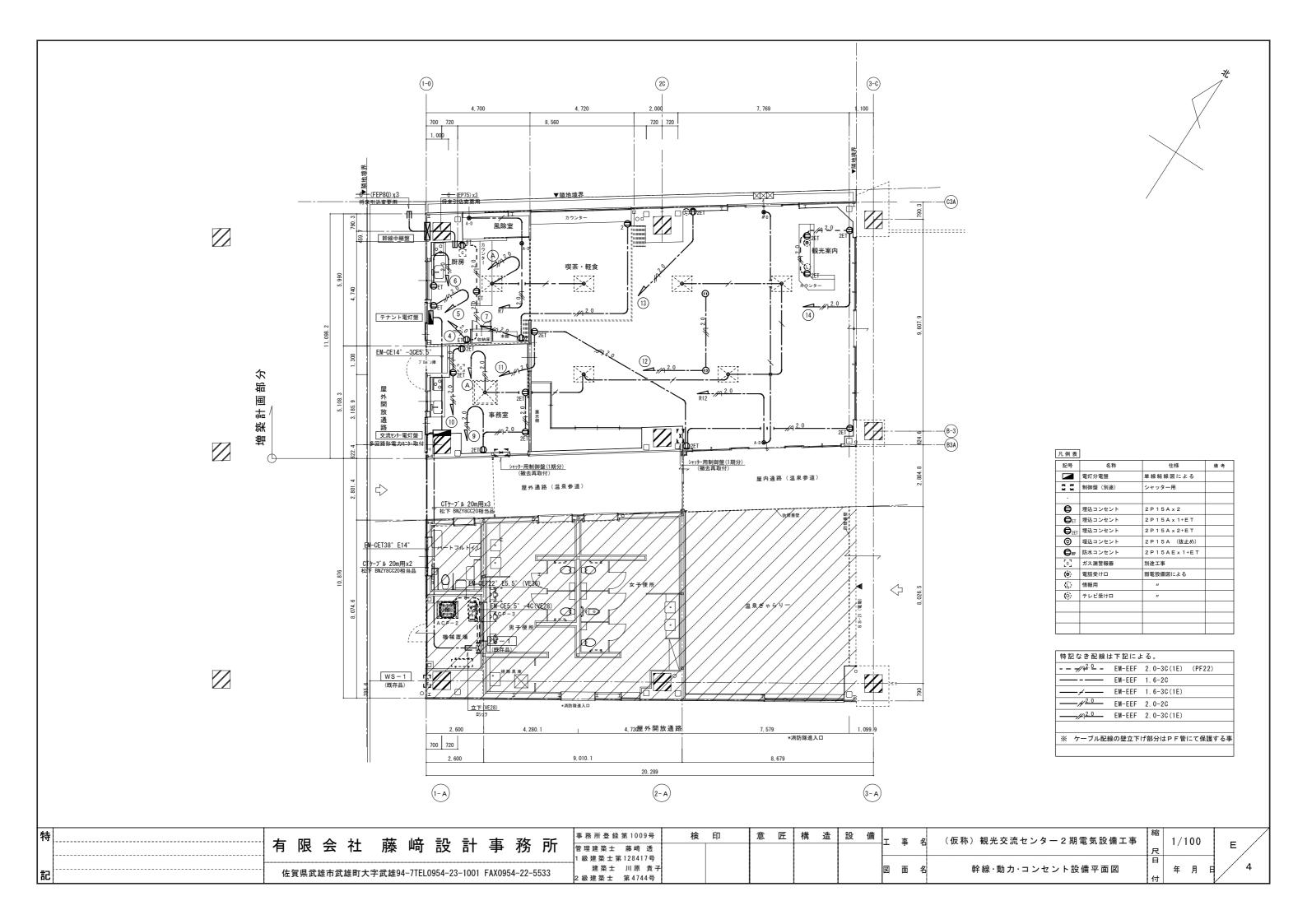
************************************						11工事仕様書		② 電線本数、管路など	分電監、制御盤、塔子盤などの2次側以降の配機経路、電線太さ、電線本数、管径などは、図面と格達しても差しつかえ	47 予備配管	理込形分電盤からの立上がり予備配管は、予備の配管用連新器4個以下の場合 (F72)を1本、5個以上の場	4 他工事との取合い事項は、下表により、該当項目はOを●に差りつぶしたものとする。
Part	(	(仮称)観光交流	たセンター 2	2 期雷気設備	工事特記什		現土もアカル宮頂汗 同十立落北台高台庁号録制改統の「八土神族丁宮護港升建章(巻名丁室鎮)(京成10年指	O A W S S S S S S S S S S S S S S S S S S				工 事 内 容 工 事 区 分 電気設備 建築工事 機械設備 工事 工事
The content of the				- 79 FE X IX III		(以下、「標準仕様書」とし	・う。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(電気工事編)(平成19年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及ひ	24 屋外の支持金物及び	屋外の支持会物、ボルト及びナットなどは、溶融亜鉛めっき仕上げ又はSUS製とする。	個盤類の塗装		電 配電盤・制御盤の基礎 屋外 〇
19		武雄市武雄町										機器の基礎 関
The color of the	2. 建物概要					(3) 本工事において以下に示	<b>す建設機械を使用する場合、排出が ス対策型建設 機械を使用するものとする。なお、排出 ガス対策型建設機械に</b> 付	1-		49 電話機への配線		
The content of the	78.60 / P Tr		延床面積 (m	12) 消防法施行令	五条中人社会八年				1) 發射用水平地震力		• EM-EBT 0.4-2P (• 20m • m)	
The content of the	建初名称	補 道	階数 建築面積(m	加表第一区分	耐震女学性の分類 電気工作初		機械とは、指定要項に基づき指定された排出が X対策型建設機械をいう。				・2号ワイヤーブロテクタ 1.5 m	はり、床、壁貫通スリーブ
The content of the		S造	2 1 6.16	m2					なお、特配なき場合、設計用標準水平震度は、次による。	50 地中理設標	電力用 ・鉄製 個ふ設する。 ・コンクリート製 個ふ設する。 ・樹脂製 個ふ設する。	補強を要するもの O
The content of the	274-			m2 m2		(1) 項目は、番号に〇印のつし (2) 特記事項のうち選択する	たものを適用する。 事項は、・ に〇印の付いたものを適用する。					開 補強を要しないもの 〇
The content of the				m2					設置場所   機器構別		通信用 ・鉄製 信ふ設する。 ・コンクリート製 信ふ設する。 ・樹脂製 信ふ設する。	性里以前「心人が主
No.				<u>m2</u>								補強を要するもの 〇
The control of the				m2 m2		2 グリーン購入法	による総合省エネルギー率33%以上であることを確認する。	1	- 一 機 基 1.5 1.0 1.0 0.6	51 標準シート	低圧地中幹線路及び通信地中幹線路にも設ける。	神 福盛を要しないもの
The content of the				m2			工事」の品目		水福類 (※1) 1.5 1.0 1.0 0.6	52 残土処理		
19   19   19   19   19   19   19   19						③ 再生資源利用計画書及び						
The column   Column	3. 工事種目及び工事科	目(工事種目欄の・にO印の付	けいたものが対象工事)				再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画書を、また、工事完了時に同計画書の実施報告書(書式は同一) を監督員に提出するものとする。及び再生資源利用促進計画書を、また、工事完了時に同計画書の実施報告			53 美生材の処理		
The column   The		施工範囲別		I #	種目	4 機材等						
Triangle	工事科目		観光交流センター			J 100 F1 F9	と同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。					
The content of the							本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書等に規定する所要のものとし、次の(1)から(5)を				- POB使用機器の有無については、調査を行い結果を監督員に報告する。	
The content of the			改修									
Total							めて少ないものとする。		とする。			
The content of the						<del> </del>	ものとする。		設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。			
Total		投債					可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルペンゼンを発散しないか、発 散が極めて少ないものとする。		100kg以下の一般機器、一般水槽の据付け、取付けについては、取付け下地を入念 に施工し、機器メーカーの指定する	る 54 外灯ポール		
The content of the						<b>-</b>	(4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて				35の溶融亜鉛めっきを施したものとする。(エッチングプライマー、指定色仕上)	大分フリ空ド CU、協別ハウケーシ、主放又快優と採作人イツテ
The content of the	·構內情報通信	官網 設備					(5) 上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具家具、書架、実験台、その他の		4) 地中配線 建物への配線引込部の耐震処理(+FEP方式 ・地中箱方式 )	55 線名札	幹線に取付る線名札には、施工年月及び施工業者名を記入する。	D. C.
April			改修				ルデヒドを発散しないものとは発散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使	<b>③</b> はつり	○既存の3ン州・1床、壁などの貫通部の穴開けは、図面に特配なき場合、原則としてダイアモンドカッターによる。	56 ハンドホール内のケーブル余長	建物直近のハンドホールでは、内部でケーブル1巻分の余長を取ること。	RL .
Table						<u> </u>				【共通】	1 電線・ケーブルは、ハロゲン及び船を含まない材料により構成されているものとする。	8
Part		DX 1M				<del> </del>		27 撤去後の補修				
The content of the		A				<del> </del>	②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品		合成樹脂製可とう電線管はPF管とし、			
Act   19			改修				a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用	0.0000000			4 上記 2. 3. の特性は、電力用エコ電線類の規格を準用する。	
Control   Cont	・監視カメラ8	段 備					c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用	29 电粉切体接				E
Table	·駐車場管制 8	投 備					まホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用	③ 蛍光灯器具	電光灯器具の安定器の回路方式、電圧は図面に記載のない場合は次による。			デム エ 亜明ライン設備プレート
Company   Comp	・防犯・入退	室管理設備							RECEBBOOLISEA DE V	1 #80 4 # 2 1 1 2 1 1 1	TOTAL TELL T	
Table			改修				③IBJISのEc規格品			3 強合の標準収刊向さは、固固に作	恋が少い場合は、「衣にみなっ	
### 1995	・ 甲 天 監 視 制 (	即投補					(I) HOUSE COOK TO BE					
日本語名	・横内配雷線器	is a second				⑤機材の品質・性能証明	設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は、外部機関((社)公共建築協 会他)が発行する資料等の写しを監督員に提出して承諾を受ける			3		l
## 10						⑤電気工作物の種類	○事業用電気工作物 ・一般用電気工作物			1   h		
1887   1887	・テレビ電波	障害防除設備				7 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の 保安の業務を行うものとする		B 即何可能死、即在即能死	1 —	示	
Author   A									測定数 箇所以上			-   防災用照明器具
TABLES						8 電気工事士	契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。		漢古協政田領ガカン(十 漢田彰レオス		助けた事子 かりつ	
### 1						9 基本料金等		I_	フラッシブレートは、図面に特配なき場合		(一般) 第二十つ 500 to 150~200 と 壁付位置ボックス 中ト~中 か 150~200	
Section   Commonweal   Common	4. 指定部分		平成 年 月	<b>B</b> )			工事目的物にかかる引渡しまでの電気料金は、請負者の負担とする。	34 707712-14-2		%		# N VIPE
### 1	5. 設備概要	(対象即方:		,		10 電気事業者 (電力会社) との契約		I_	スイッチ・コンセント・ブランクブレート及びブルボックスなどで用途の判別し難いものは、表示する。ハンド			国工文題智人に目房目川呂地印監がい・延某何村・改勝俊何寺
Table   Control Card Card Card Card Card Card Card Card	設備方式は・に〇日	『の付いたものを該当項目とす	ō.				電気方法 ・単相 2線式 ・単相3線式 契約電流 A		ホール・マンホールのふたは、用途別に「電力」「通信」と表示する。		*   The state of t	本配線器具工業会住宅用分電盤認定制度に基づく認定品とし
************************************	電灯設備	1. 照明器具		照明 〇電源内蔵 ·電源	原別置)	① 工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力、水、及び官公署その他への諸手続などの費用は、すべて請負業者の負担とする	•				
1982   1982	数十四曲			· 소급 . 등록 . 상성	<b>建水 ,道小 ,维福</b>	12)工事用仮設物	横内につくることが ・できない 〇できる			ブラケット(浴室) 床		
1988					四八 河地	13 新春日本本本				ブラケット (最上階部下) 競上		
12 年					・高圧スイッチギヤ、変圧器盤						上~中 心 1,500 直列ユニット(一般) 床 上~中 心 300	監視カメラ装置
19						_	仮設備期間(・図示 ・ ・ )	_		類 操作スイッチ 床	上~中心 1.300	直 流 電 源 装 置 運搬を送り、 (社)日本蓄電池工業会) の認定 顕が貼付されたもの 電池 電電池
20 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	静止形電源設備				ı. <del>d</del>	15 施工調査	事前調査	I_		刀 警報盤 床	上~中 心 1.800 関 機器収容箱 天井下~上 端 200	自 家 発 電 装 置 (仕) 日本内燃力発電設備協会の認定証票が貼付されたもの
1	発電設備				N-24	$\dashv$	調査項目 (・ ) 調査範囲 (・図示 ・ )	-	接地様の材料は下表による。なお、設置機EB (14 o) の長さは1500mm以上とし、10 o はW=30、14 o はW=40として	第子盤(室内) 床	下~上 端 300 <sup>福</sup> テレビ婦子 床 上~中 心 150~400	
1.   1.   1.   1.   1.   1.   1.   1.					オール ・リピータ ・ルー	7	非破壊検査(費用は別途)			1 dg		銀作装置 非常放送設備委員会 ((社)日本電子機械工業会) の基準適合
1887 1992						$\rightarrow$ $\Gamma$				2 1 300		· 运用策1F並
1999年   1999年   1998年   19					ヤイム ・時刻表示装置 ・出退表示	<b>→</b> 1.						
## 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						世 走場・機構類	・本工事で設置する。		日種接地 EB Ω以下 B (14φ,L=1,500) ×3連ー組	I H	<u> </u>	4I I
おしているのではない					出し装置	<b>-   </b>	・内部仮設足場等 (・ 種・ 種)		D種接地 ED 100Ω以下 EB (10φ) ×1 (L=1000)	_		
### 1488		7. テレビ共同受信装置	·UHF ·BS	· CS <b>O</b> 有線(C	CATV)	(B) 施工図等の即扱い				英		自動閉鎖装置 (財)日本建築センターの性能評定マークが貼付されているもの
10 日本の日本日本   10 日本の日本日本   10 日本の日本日本   10 日本の日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本	通信·情報設備				dayan war	_	ただし、製作図等で原図として提出ができないものは、原図に代わるものとしてよい。なお、施工図等の著	•	雷保護用 ELA Q以下 EB (14ø,L=1,500) ×3連ー2組	;	<u> </u>	
1.5 世紀 人名世 田田	-					-			通信用 EAt 10Ω以下 B(14φ,L=1,500) ×3建-2組			走 常 等 銀 苯 雷 起勤装置 非常警報股側認定来務委員会 ((社)日本火災報知機工来会)
1 日	-	11. 防犯·入退室管理装置		J #9A 'E		① 形状·寸法等	姿図の形状寸法等は、図面表示と多少相違してもよい。ただし、その場合は、監督員の承諾を受ける。					2011 2012
1. 自動物問題   1. 表があり、   20 大				R型受信機		M + ± ≥ ± . + → → = *	海底社会協会は図書院の事だ / III のは17年1日 ) レレフドルをお乗点後ラレ・リー・	44 インパータ生素の視め効率				受信機
1.					ダンパ用	(3) 工学ラ兵・尤原因寺						五面女の古田直来が知りていたもの
中央監視制御房 1.5 世 3						② 電線類	EM電線等で規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料により構成されているものと し、下表による。		インバータ効率(%) 85.0 87.0 88.5 89.5 90.0 90.5 91.0			
開発型開展 1.5級方式 ・受益機式・地中型以 ・配管方式	中央監視制御設備					-	記号 住 株	1				(は) 商業を選択する場合を受けることでは、7 後の事業
横角温度開発   1-6 股内式   ・安全開式 ・地中電込式 ・配管方式   日本区   以名 471 「マイクロカン用ビニルコード)に達北、影構料及びシースに必思機に ( ) を作れたものは裏天井の重を元子が、									備考) (1) 電動機の供給電圧は200V又は400Vとする。			\$ L7:50
● 野以館	構内通信線路	1. ふ設方式	·架空線式 ·地	中埋込式 ・配管方式		$\exists$		45 天井仕上げ表示				
有限会社藤崎設計事務所 「会理建築土藤崎透 「お健築土第128417号 「機理・大学では128417号 「機理・発生・第128417号 「機理・発生・第128417号 「機理・発生・第128417号 「機理・発生・第128417号 「機理・発生・第128417号 「機理・発生・第128417号 「関面名 電気設備特記仕様書 年月日						<b></b>	よりCEF/ 一ノルの耐効性小リエアレノを用いたもの	] [_				中央 監視制御装置 国土交通省大臣官房官庁宮籍部監修の「建築材料・股機機材等 品居性能辞価事業股機機材等搭価名簿(平原19年版)」による。
有限会社藤崎設計事務所 「 <sup>管理建築士 藤崎 透</sup> 「 級建築士第128417号	=					I	1					
1 級建築士第128417号 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	<b>†</b>					有 限 会	社 藤 﨑 設 計 車 系	冬 所 🖺		工   神 垣	<mark>│                                     </mark>	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
□	ļ								1 1 1			尺  /
	<b>,</b>				·	<b> / / / / / / / / / </b>	 				図 面 名 電気設備:	
	:					在貝宗以雄甲武	MEMIハナ氏ME34-/IELU304-23-IUUI FAAU954-A	22-0000	及建築士 第4744号			付 / 7

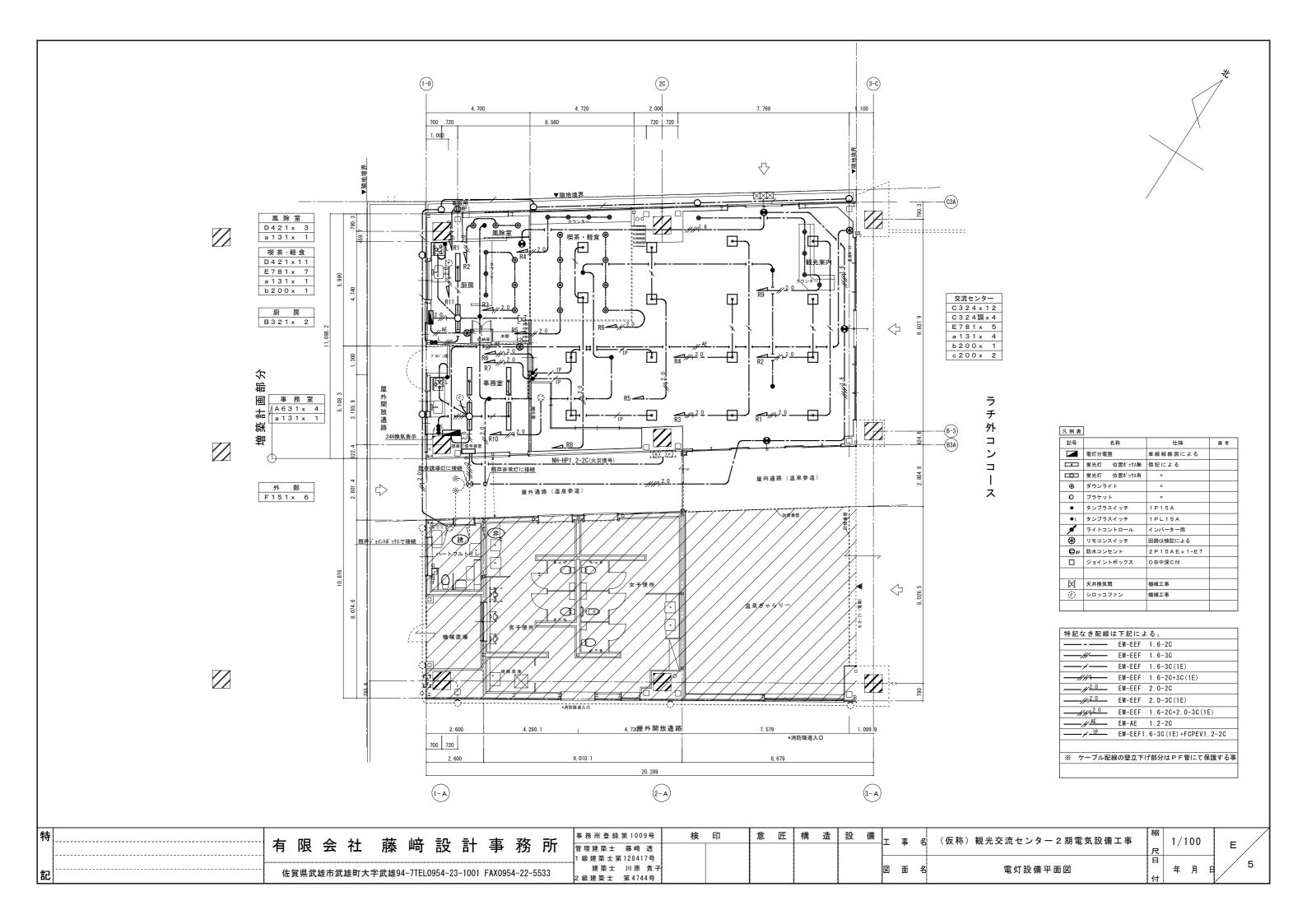


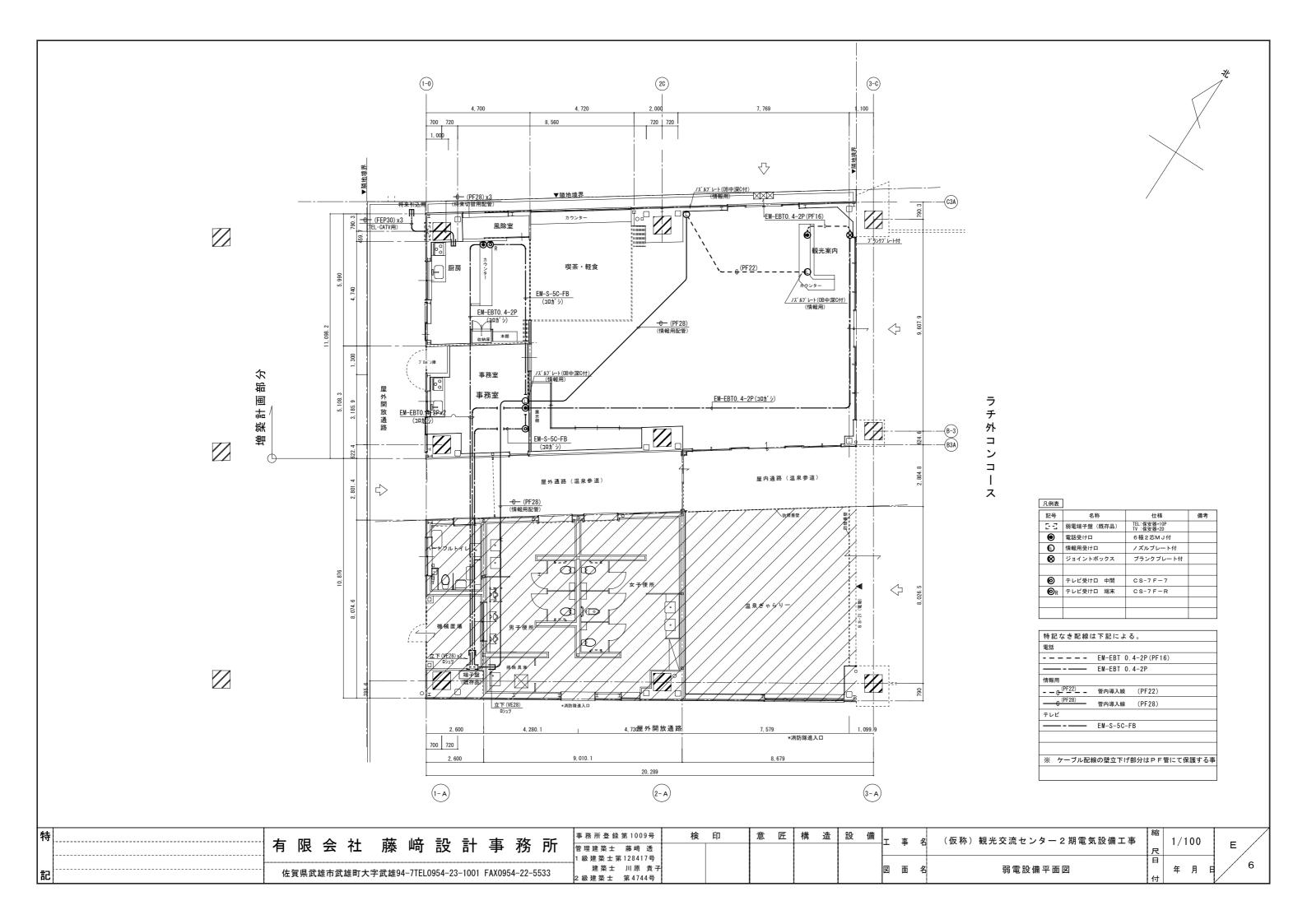


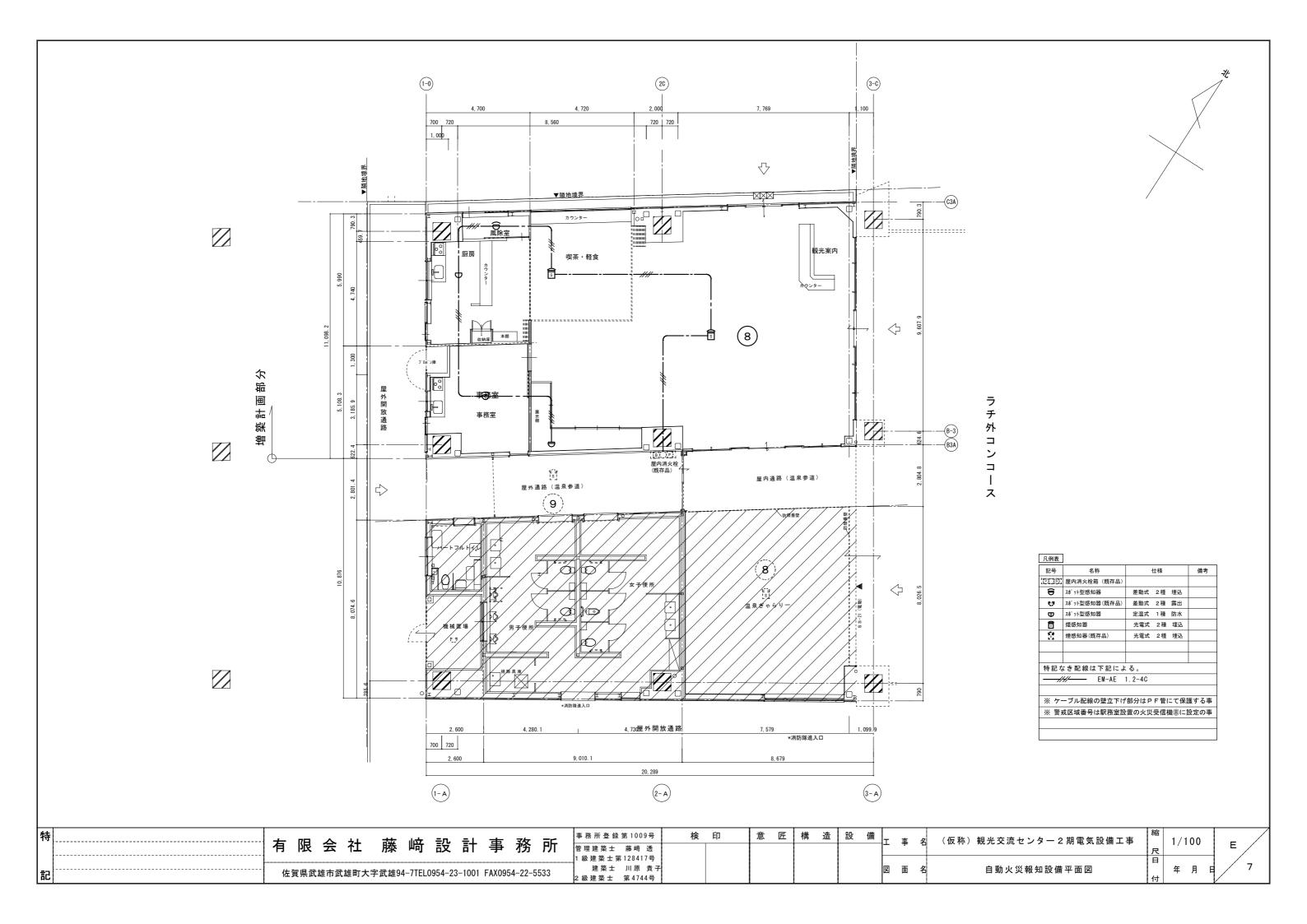
特	有限会社 藤﨑設計事務所	事務所登録第1009号	検印	意 匠	構	<b>造</b> 設	设備	工事名	(仮称)観光交流センター2期電気設備工事 縮	N·S	_
	有限会社藤﨑設計事務所	管理建築士 藤﨑 透 1級建築士第128417号							尺日		
記	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533	建築士 川原 貴子 2級建築士 第4744号						図面名	盤図・照明器具参考姿図	年月日	











## (仮称) 観光交流センター2期 機械設備工事

武雄市役所 建設課

## (仮称)観光交流センター2期機械設備工事

図面番号	図 面	リスト	縮尺
M — 0	機械設備現場	説 明 書	
M — 1	機械設備特記	仕様書	
M - 2	空調換気設備	機器表	
M - 3	空調設備平面	図	S = 1 / 1 0 0
M - 4	換気設備平面	図	S = 1 / 1 0 0
M — 5	衛生設備平面	図	S = 1 / 1 0 0
M - 6	衛生設備平面	詳細図	S = 1 / 5 0

特	F	有限会社 藤﨑設計 事 務 所	事 務 所 登 録 第 1009号	検	印	意 匠	構造	設 備		(仮称) 観光交流センター2期機械工事	縮 N - D	м
		 有限会社 藤崎設計事務所	管理建築士 藤﨑 透 1級建築士第128417号							(成年の) 最近の人がにこう アーニの日成年成工事	R R	\\\\ \ \ \
話	3	 佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533							図面名	図面リスト	日 年 月 日 付	

		現 場 説 明 書											
工事名	(仮称)観光交流センタ	2 一2期機械設備工事		1									
契約条件	監督員事務所の雷気 ガス	ス,水道使用料,公用電話料金は,建築,電気,衛生,空調等の各請負					建設	資材納。	入業者の利益を	不当に害する	ことなく、公正な取り引きを行うこと。さらに、工事の実施にあたっ		
32 45 31 11	業者により、按分負担する。						たは、	、下請(	け代金の決定(	前払い金を含	む)及び下請け代金の支払等についての不適正な条件による下請けをし		
建設業退職金		加入するとともに、その建設業退職共済制度の対象となる労務者について、証紙を購入し、					ない	こと。	また、不必要な	重層下請が生	じないよう配慮すること。		
共 済 組 合	当該労務者の共済手帳に証約							4, I	事施工にあたっ	ては、土砂等	の運搬が運送契約によって行われるときは、正規の運送免許を受けた者の車		
		など、					輌の	使用に	努めること。				
	1ヶ月以内に契約相手方の担							5,建	設資材の価格変	動に対応し下	請金額の変更については、適切に措置すること。		
		出できない特別の事情がある場合は、あらかじめその事由及び証書購入予定を				) 案 内 ね 等を含む)	反	工事の	)案内板は、書入	内容,製作寸	法、使用材料、設置位置について監督員と協議して設けること。		
	あわせて申し出ること。	ロしさない1寸別の手間A、のも物口は、のもかしの(の手口及び血音階入)とださ				する進入路		土砂,	工事用資材等の	ダンプ, トラ	ック等の大型貨物自動車による搬送計画,通行計画の選定,その他車輌		
		5必要があるときは、関係資料の提出を求めることがある。					の通	行に係る	る安全対策につ	いて、請負業	者は関係機関と十分協議して、必要な具体的内容を定め、監督員の承認		
		約を締結する際は、下請負業者にたいして、この制度の趣旨を説明し、掛金相当額を下請代					を得	たうえ	でこれを誠実に	覆行すること	。また,官公署等に対する許可届け等の手続きも行うこと。		
		下請業者の組合加入並びに証紙のこ購入及び貼付を促進すること。			仮囲い	等		仮囲い	及び板塀につい	ては、設計図	により実施すること。なお、現場の状況により仮囲い等の変更が必要な場		
		では、管理事務処理の面で万全でない場合は、元請業者に組合加入手続機及び組合関係					合は,	,監督	員との協議によ	り実施するこ	٤.		
		もあるので、元請業者は積極的に受託すること。			工事中	の写り		工事中	及び竣工写真に	ついては, 建	設大臣官房官庁営繕部「工事写真の撮り方(建築設備編)」による他、		
建設産業における生産システム		ものるので、元嗣来有は保煙的に支託すること。 「建設産業における生産システ合理化指針」を遵守すること。					建設	地周辺(	に建築物,構築	物等がある場	合は適切な区画を定め、必要に応じ、着工前にそれらを撮影すること。		
全成性(またいの) を主体(大) A 合理化指針 エ 事 費 内 訳 書	本工事の施工にあたっては、 入札に際し、工事費内訳書の				関連工事と	:の協調		工事関	係請負者は, エ	事の質の向上	及び工事全体の円滑な進捗を図るため、協議、協調すると共に、契約		
上 争 負 内 武 音 安 全 対 策		原桷を狩ぎりのこと。 よ、「建築・電気設備・機械設備工事共通仕様書」、「公共住宅建設工事共通仕様書」					書並	ぴに「	共通仕様書」に	よる他、監督	員の調整に従い、工事の円滑な施工に協力すること。		
		5。) による他, 下記による。			竣工後の維	持管理	1,		後の維持管理は監 (期間は竣工後3		a議のうえ、請負者の責任において、下記の仕様により善良に行うこと。		
		プ。アトロの のに、「正にもの。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・									、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
	たものを使用すること。										(工)を開放し、主行の決なという事。 『の生じる恐れのある場合には、必要な措置をとると共に、その結果を監督員!	Ξ	
		<b> 近住民への防災その他の対策については、特に留意し、関係下請負作業者にその趣旨を</b>							報告すること			_	
		:, 直ちに監督員に報告し、責任をもって処理すること。						(v)			『回し,建物等に損傷,故障その他異常があったとき,又は緊急事故が発生し		
		なび塵埃が現場から飛散しないよう防止策を日常怠らぬようすること。							たときは. 頁	<b>听要の措置を</b> 請	講ずると共にその結果を監督員に報告すること。		
	(二) 震動,騒音を伴	<ul><li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>						(=)			建物の内外の清掃を行う事。		
		こは作業は行わない。なお、作業時間については、周辺居住者と十分な協議を行う						(木)	居室の外部開	口部には必要	ミに応じ監督員と協議して、 遮光シートを取付け維持管理をすること。		
	等の措置を講じ、かつ関係	法規等に抵触することのないよううに十分配慮し作業を行うこと。					2,	建物使	使用開始後,原則	として, 90日	日間は及び設備の取付い等の処理のため、即時対応できるよう態勢を		
	(ホ) 建設現場内,外	・を問わず、道路、構築物等を破損あるいは、汚染させた場合は、本工事請負業者の責任に							取っておくこ	٤.			
	おいて、すみやかに原型に復	し、管渠等への土砂の流入があった場合は直ちに除去すること。			その他特記	書項				(のとうりとす	する。現場説明書(現場説明に対する質疑応答書も含む), 特記仕様書,		
	(へ) キャタピラ付特	殊車等の場内道路の通行については監督員の指示をうけること。							図,共通仕様書。	.p+ .l 4+ \\			
適正な施工の確保	1. 工事現場ごとに設置	しなければならない専任の主任技術者又は、専任の監理技術者については適切な資格、									注意を払い、工事車輌等は徐行運転をし、駐車は指定の場所に行う事。		
	技術力等を有する者を設置す	すること。							)一部を下請に付 ること。	する場合は、	下請契約の形式を明確にして,直ちに一部下請申請書を提出し,承諾		
	2, 労働時間についたは	t, 労働基準法を遵守し, 労働時間の短縮や休日の確保には十分配慮すること。					-		D事故に備えて火 きる限り加入する		ロ入すること。また,労働災害事故にも備え,建設労働災害補償制度へ		
危 険 防 止	工事期間の危険防止について	ては下記のよること。									は本来工事業者間の自由な意思が尊重されますが、下請契約の相手は。		
	(イ) 工事期間中危険	と思われる箇所については危険防止の稼動柵, 立入禁止の表示, 立札を設置し, 夜									い。また、建設資材はできる限り市内業者から購入してください。		
	間は必要に応じ注意灯を設け							建設副	削産物の処理につ 1, 「廃棄物		青掃に関する法律」,「再生資源の利用の促進に関する法律」及び建設副産物	適	
., + + -		行者の安全確保のための交通整理員を配置する等、必要に応じ措置すること。									関係法令等に従い適切に処理すること。		
注意事項		については「共通仕様書」による他、地元に対しても打合わせ等を十分に行い、工事中									運搬は許可を受けた収集運搬業者の車輌とする。又、処分についても許可を 分場 (中間処理場を含む) とする。		
		し、連絡を保ち適切に行うこと。							3, 伝票管理	理制度(マニ <i>:</i>	ュフェスト)及び写真等による,産業廃棄物処理報告書を作成すること。		
	I .	37条の2」の保証事業会社への通知 期変更の被保証者(発注者)から保証事業会社への通知を発注者に代わって行うものとする。							4, 再利用	が可能な建設副	副産物については、リサイクルを前提とした処理に努めること。		
	(ロ) 通知方法は、こ	工期変更にかかる工事請負変更契約書の写しを送付して行うのとする。					1 =				r成要領により提出すること。 3、A2二つ折り製本1部提出すること。		
	3, 工事を受注した業者	fは、適切な賃金の確保、及び労働災害の防止等、建設労働者の保護につとめるとともに、					1 0	当該コ			t、A2二つ折り製本1部提出すること。 妨害する,不法無線局(電波法に基ずく免許を受けないで開設される無線局)を訂	设置しているダンプカ	-については
		有 限 会 社 藤 﨑 設 計 事 務 所	事務所登録第1009号管理建築士 藤﨑 透		印	意匠	- 構	造	設備	事名	(仮称) 観光交流センター2期機械設備工事	商 N・D	
			1 級建築士第128417号						E	□ 面 名	1	マー ヨ	
		佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533							P	д ш 1	· 1灰1灰改	t - 7 '	V

T 古 从	● 施工図等	工事が完成(指定部分に係わる完成を除く)したときは、本工事で作成する施工図等のうち、	● 1 設計温湿度	屋内	7 水栓柱	・合席樹脂製 ・アルミニウム合金製 ・人進石とぎ出し製 ・ステンレス製							
工事仕様書	-	下記の原図及びその陽面焼き付け (1 部) を監督員に提出する。ただし、製作図等で原図として提出できないものは、原図に代わるものとしてよい。なお、施工図等の著作権に係わる使用	空 気 調	外 気 一般系統	8 建物導入部配管 9 引込納付金等	標準図(建物導入部の変位吸収配管要領)の ・ (a) ・ (b) ・ (c)による。 ・要 (・別途工事 ・本工事) ・不要							
I 工 事 概 要		権は免注者に移譲するものとする。 機器製作図 一式	和設	温度(DB) 湿度(RH) 温度(DB) 湿度(RH) 温度(DB) 湿度(RH) 温度(DB) 湿度(RH)   湿度(DB) 湿度(RH)   湿度(DB) 湿度(RH)   湿度(DB) 湿度(RH)   夏期 °C % % °C % % °C % %	10 水質検査	・残留塩素 ・2.6項目 ・1.0項目 報告書を提出する。							
1 工事場所 佐賀県武雄市 2 建物概要		制御システム図 一式 試験成績書 一式	"	冬期 10 % 22.0 10 40 % 10 % 10 %	● ②配管材料	(1)屋内 汚水管 · 維排水管 ⊙ 硬質塩ビ管 通気管 ⊙ 硬質塩ビ管							
建物名称 構 造 階 数 延べ面積 消防法施行令 債 考		機器、配管固定、納まり詳細図等の施工図 一式 耐震固定の計算書 一式	2 銅板製煙道 3 ぱい煙濃度計	伸縮継手、掃除口及びばいじん量測定口の位置は図示による。 ・設ける(電源は、付属制御盤の二次側より取出すものとし、配管配線とも本工事)	排水。	(2) 屋外 第一桝まで・ 桝間・							
(m) 別表第一	③ 工事写真・完成図等	5 電子媒体:規格JWWWまたはDXFで3郎(CD-R)、製 本:A3版 2郎、A1版 3郎、施工図:A1版2郎。 請負契約締結後、設計図書の縮小版(A3版) 青焼(白焼)製本2郎提出。	4 ぱいじん量測定ロ 5 煙道	・設ける (測定口は80 ¢ とし、取付箇所は煙道の直線部とする) 鋼板厚 (・3.2 mm ・4.5 mm)	水 設 備	洗面器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。 台所渡し等の床上部分の配管は、ビニル管(RF-VP)でもよい。							
		第1頁 実 5 5 8 6 10 0 × 12 5 以上)、電子データ 2 都 (200 万 画素以上、300 dp i 以上) CD-R。	5 程道 6 ダクト	類敬序 (・3.2mm ・4.5mm) ・低圧ダクト (・コーナーボルト工法 (長辺の長さが1.500mm以下の部分) ・アングルフランジ	3 滿水試験継手	図示の箇所に取り付ける。							
	① 機材等の検査及び 試験	検査及び試験を行うべき機材は、共通仕様書によるほか図示による。		工法)とする。	4 試験 5 放流納付金等	排水管は、滴水試験を行い、衛生器具等の取付け完了後、通水試験を行う。 ・要(・別途工事 ・本工事) ・不要							
	② 総合調整	〇本工事(頻整項目は下記のものとする。)		<ul><li>- 高圧1ダクト(適用範囲は図示による。)とする。</li><li>- ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様は別図による。</li></ul>	〇 1配管材料	•							
3 工事種目及び工事科目 (〇印の付いたものが対象工事)		・風量調整 ○水量調整 ○室内外空気の温湿度の測定 ・騒音の測定 ・別途とする。	7 風量測定口	取り付け箇所は図示による。	和 2 絶縁フランジ 湯 2	國示の箇所に取り付ける。 JIS又はJV (・ 5 K ・ 1 0 K (表示部分))							
工事種目	21 電動機	換気扇、圧力扇、その他これらに類するものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品 としてよい。	8 チャンパー	<ul><li>(1)内張りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。</li><li>(2)空気調和機に取り付けるサブライチャンパー及び風道系で消音内張りしたチャンパーには点</li></ul>	備	・ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。							
歴 外   ①空気類和設備   改修 −式 −式 −式 −式 −式 −式	22 容量等の表示	(1)機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。		検口を設け、大きさは図示による。	O 1 配管材料	(1)屋内消火栓 一般 地中 · (2)連結送水管 一般 · 地中 ·							
○空氣調和設備         改修 一式         一式         一式         一式         一式           ○換気設備         改修 一式         一式         一式         一式         一式	23 耐震措置	(2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。 設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2005年版」(国土交通省国土技術政策総合	9 ダンパー	(3) ガラリに直接取り付けるチャンパー類は雨水の滞留のないように施工する。 (1) 防煙ダンパー 復帰方式(・道隔 ・ ) 定格入力はDC24V、6.7A以下とする。	火設	(3)							
·排煙設備 —式 —式 —式 —式 —式	m. ac. n. u.	成前後継の副定体、・産業改善的級政制・総工指針 2000年版] (国工文通報国工状所以来の日 研究所・独立行政法人建築研究所整修)による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を整督職員 に提出し、未課を受けるものとする。	9 3 3 7 7 -	(1) 前注ランハー 後帯方式 (・連柄・ ) た何人刀はDD244、0.7 N以下とする。 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (・連隔・ )	備 2 保温	屋外露出配管は標準仕様書第2編3. 1. 5 e 3・(ハ)・Vによる保温を行う。							
·自動制御股備         一式         一工         二工		1) 設計用水平地震力 機器の重量[kg f]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、	① 配管材料	(1)冷凝管 O 空調用被覆鋼管 (t=10,20) (2)冷却水管	3 建物導入部配管	ただし、防速保温は共通事項による。 標準図(建物導入部の変位吸収配管要領)の ・ (a) ・ (b) ・ (c)による。							
○給水設備         改修         一式         一式         一式		設計用標準水平震度は、次による。 設計用水平震度		(3) 油管	4 地中埋設管の接合	外面被覆鋼管の呼び径100以下は、ねじ接合とする。							
○排水設備         改修 -式         -工         -工         -工         -工         -工         -工         -工         -工		10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1		(4)蒸気管 給気管 通 管	5 スプリンクラー O 1 システム	流水検知装置には、音響警報装置を (・別途工事 ・本工事) で設ける。 ・ドライシステム							
・消火投備         一式         一式         一式         一式		耐震安全性の分類		(5)高温水管 (6)膨張管、空気抜き管 (7) 硬質塩ピ 管	房 2 厨房用熱源	図示による。							
・厨房機器設備 -式		設置場所 機器種別 特定の施設 一般の施設 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器		ドレン管及び膨張タンクよりボイラ等への補給水管	設 3機器の性能等	図示による。							
・排水処理設備 一式		機器 2.0 1.5 1.5 1.0	11 弁類	JIS又はJV(・5K ・10K(図示部分)) 50A以上の冷温水・冷却水用弁装置の仕切弁はパタフライ弁とする。	● ○ 配管材料	・都市ガス ガス事業者の供給規定による。  ②液化石油ガス (1)一般 ② 配管用炭素鋼々管 (2)地中							
・搬去工事(改修)     一式     一式     一式     一式     一式       4 指定区分 ・無 ・有(工類:平成 年 月 日 )		上層階、 歴上及び塔屋 水槽類(※) 2.0 2.0 2.0 1.5 1.5 1.0		・鋼管用伸縮継手の種類は図示による。 ・ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。	ス 設 2 充てん容器	別途(・50kg · kg · kg)× 本							
(一都完成) (対象部分: )		機器 1.5 1.0 1.0 0.6	12 温度計	取り付け箇所は図示による。	3 集合装置	標準図(液化石油ガス容器廻り配管要領)による 本組。							
5 設備概要 設備概要 (本工事における、工事項目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない〇印のものが該当する)		中間階 防振支持の機器 1.5 1.5 1.5 1.0 水槽類(※) 1.5 1.0 1.0 0.6	13 圧力計	取り付け箇所は図示による。	4 転倒防止等 5 メーター	<ul><li>標準図 (液化石油ガス容器転倒防止施工要領) の (・ (a) ・ (b) ) による。</li><li>・親メーター (・貸与品・・) ・子メーター (・買い取り・・)</li></ul>							
方式及び種別 設 備 概 要		水槽類 (※) 1.5 1.0 1.0 0.6 機器 1.0 0.6 0.4	14 瞬間流量計 15 油面制御装置	コック付とし、取り付け箇所は図示による。 制御整には(・給油ポンプ制御 ・満油警報 ・連隔警報 ・電磁弁制御	6 ガス漏れ警報器	・本工事(図示による) ・別途工事							
空調 方式 ・ 全室気方式		1階及び地下階 防振支持の機器 1.0 1.0 1.0 0.6 水構器 (※) 1.5 1.0 1.0 0.6	原屬對鄉表歷	初卵壁には(・右油ボシノ初卵 ・渦油雪報 ・追除雪報 ・電場弁制卵 ・返油ポンプ制御 ・減油警報 ) の端子を設ける。なおフロートスイッ	7 漏洩検知装置 8 電気防食	・合成樹脂製 ・アルミニウム合金製 ・人造石とぎ出し製 ・ステンレス製 標準図(建物導入部の変位吸収配管要領)の ・(a) ・(b) ・(c) による。							
・直だき吸収冷温水機		【備考】 (※1):水槽類には、オイルタンク等を含む。	0 *******	チ部と制御整関の配管配線は製造者の標準仕様とする。	9 引込負担金等	・要(・別途工事 ・本工事) ・不要							
主要熱源機器 ・小型級収冷温水機ユニット 自動制御方式 ・電気式 ・電子式 ・デジタル式 ・空気式 ・中央監視制御		上層階の定義は次による。 2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合	(2) 保温及び消音内張	・通りダクトの保範圏は (・・・・)・外気ダクトの保温範囲は (・・・・)・ ・膨張タンクよりポイラ等への補給水管の保温は、標準仕様書第 2 編 3.1.4 の膨張管の項による。	□ 1 形式 □ 2 測定表	・ユニット形 ・現場施工形 一定期間軽過後、放流水質性能等を記入した測定表を提出する。							
給 水 方 式 ・高置タンク方式 ・水道直轄方式 ・ポンプ直送方式		は上層3階、13階建以上の場合は上層4階 中間階とは地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの(平圏建の場合は無し)		・建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の膨張管の項による。	39 1c								
建物内の汚水と雑排水 ( 〇 分流式 ・ 合流式 ( 系統) ) ポンプ排水 ・有 ( ・汚物 ・雑排水 ・湧水 ) ・無		重要機器は次のものを示す。 ・給水装置 ・排水装置 ・換気機器 ・空調機器 ・熱源機器 ・防災設備		<ul><li>空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は標準仕様書第2編3.1.5の排水管の項による。</li></ul>	投機								
排水 方式 建物外 放流先		・監視制御設備 ・危険物貯蔵装置 ・火を使用する設備 ・避難経路上に設置する機器 2)設計用鉛直地震力 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		○冷媒管の外装の種類は(・図示による ○ 樹脂製化粧ケース	● 1 設備方式	・排水再利用 ・厨房除客 ・浄化槽							
(1) 汚 水 〇直放流下水管 ・し尿浄化槽 (2) 雑排水 〇直放流下水管 ・し尿浄化槽		設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。	17 ファンコイルユニット	・ 吹出口 ・機械設備共通仕様書による ・ユニパーサル形 調整弁 ・流量調整弁 ・定流量弁	排 水 2 仕様等	図示による。							
・屋内消火栓設備 ・スプリンクラー設備 ・二酸化炭素消化設備	24 建築導入部配管 25 建築物EXPJ部配管	・図示による。 ・標準図 (・ (a) ・ (b) ・ (c) ) による。 (・給水 ・ガス) ・図示による。 ・標準図 (・ (a) ・ (b) ) による。 (・給水 ・ガス)	18 予備品	・ファンコイルユニット及びファンコンペクター用フィルター 各形番台数の1/2以上	理								
消化設備の種類 ・連結散水設備 ・連結散水設備 ・連結送水管設備 ・フード専用簡易自動消化装置 ・新ガス系消化設備	26 配管	・図水による。 ・標準図 (・(a) ・(b) )による。 (・む水 ・ガス) 溶接部の非破壊検査 ・要 ( )		・自動巻取形エアフィルター用フィルター 各台1巻 ・電気集じん器用フィルター 各台1巻	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	. W + n o is M = I - L 7							
・都市ガス (種別 免熱量 MJ/m3 供給事業者 )	27 絶縁フランジ	取付け箇所は図示による。		・折込み形エアフィルター お台1巻	○ 1 撤去内容 <sup>撤</sup> 2 発生材の処理	・搬去内容は図示による。 ・引渡しを要するものは、金属類(・機器 ・ダクト ・配管 ・その他金物)、							
ガスの種類 ②液化石油ガス	28 地中埋設標等	(1)地中埋設標 ・要(図示の箇所) ・不要	19 制御盤及び操作盤	共通仕様書によるほか下記による。	I I	(· · · ) ¿ † δ							
(6 改修内容(改修工事のみ))	② 保温	(2) 埋設標示用テーブ ・要(排水管を除く )・不要 ②屋外露出郎(②給水管 ・消火管 ・膨張管 ・ドレン管 ・ 〇 弁類を含む)は防凍		・運転時間計 (適用する機器: ) ・運転時間表示用端子 (適用する機器: )	isk	・特別管理産業廃棄物は (・・・・・・・・・・・・・・・・・・)とする。 ・再生資源化を図るものは(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
		保温を行う。		・インパーター用制御及び操作盤 (適用する機器: )	*	・引渡しを要するもの以外は構外搬出適切処理とし、搬出費及び処分費は別途とする。							
I 工 事 仕 様		仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。厚さは配管の呼び径25以下のものは50mm、呼 び径32以上のものは40mmとする。	② 冷暖房の能力	・進相コンデンサー (適用する機器: ) 空気熱源ヒートポンプユニット及びパッケージ形空気調和機の温湿度条件は、JISによる。		Martion + 5 0 + 1							
1 共通仕様		・共同清、床下ピットの保温は(標準仕様書第2編の施工箇所 ) を適用する。 ・多湿箇所は下記の場所とする。(天井内共多湿箇所とする。)	_ O # 2 F	○低圧ダクト (・コーナーボルト工法 (長辺の長さが1,500mm以下の部分) ・アングルフラン	(別表-1)								
(1)図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営精節監修の「公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (平成19年版)」(以下、「標準仕様書」という。)		(・浴室(ユニットは除く) ・脱衣室 ・ ・ )	換無	ジエ法)とする。		エ 事 内 容 本工事 電気工事 建築工事 屋外設置 (架台、アンカーボルトを除く) O							
「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成19年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)	② 塗装	・屋内露出(・実験室・ )の保温外装は(・アルミガラスクロス・ )とする。 下記の金属電線管は塗装を行う。	設備	・高圧 1 ダクト (適用範囲は図示による。) ・厨房系統の長方形ダクトの板厚は、標準仕様書より 1 ランク厚いものを使用する。	懐器の参復	屋内設置 (架台、アンカーボルトを除く)   O   O							
及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(平成19年版)」(以下、「標準図」という。)による。 (2)電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、		⊙屋外露出 ・ ( )の屋内露出	2 風量測定口	取り付け箇所は図示による。		屋外設置(架台、アンカーボルトを除く) 〇 〇							
下記の工事仕様は適用しない。		下記の保温を施さない亜鉛メッキを施したダクト及び配管は塗装を行わない。 ・倉庫 ・	3 ダンパー 4 排気ダクトのシール	空気調和設備の当該項目による。 浴室 (シャワー室、脱衣室を含む)系統		聚台、アンカーボルト         O         O           特記した基礎         ●         O							
なお、電気設備工事の工事仕様は ( / ) 図、建築工事の工事仕様は ( / ) 図による。 2 特記仕様	(1) to 1)	既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、ダイヤモンドカッターを用いる。	5 チャンバー	空気調和設備の当該項目による。	はり、床、蟹	壁の貫通スリーブ 補強を要するもの ● 〇							
章は●印の付いたもの、項目は番号に〇印のものを適用し特記事項のうち選択する事項は、・に○印のものを適用する。 章 項 目 特 紀 事 項	② 電線類	電線及びケーブルの規格は標準仕様書第4編2.4.1表4.2.12による。	6 保温	・全熱交換ユニット用のダクト(保温の厚さ25mm、範囲は図示による) (・際理 ・漫漫家 ) 田の順ペい数ダクト(仕様付わ・(/)・(項) とし 新田は図示にとる		補強を要しないもの ● ○							
① 工事実績情報の登録 ・要(提出先:(財)日本建設情報総合センター) ・不要	33 天井仕上区分	( ) 書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。 ( ) 押中	7 換気フード	(・厨房 ・湯沸室 )用の隠ぺい部ダクト(仕様はh・(イ)・TE)とし、範囲は図示による。 排気フードの補強、支持金物、接合材等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質	はり、床、壁 (盤類、ダクト、	壁の貫通部型枠 補強を要するもの 番							
	34 吊り及び支持金物 35 施工調査	<ul><li>(・構内・)の吊り金物・支持金物類はステンレス鋼製(SUS304)とする。</li><li>・下記によるほか、改修標準仕様書第1編1.5.1及び1.5.2による。</li></ul>		は下記による。	轻量鉄骨下地	也天井、壁のボード類の切込 補強を要するもの ●							
共 (2) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)に規定され 通 事 も特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、その判断の基準、配慮事項を満たす		事前調査		・ステンレス鋼板(補強共) フート <sup>・</sup> の囲いは、上記フードと同材質とする。	1 20 0 00 - 4	補強を要しないもの ● O							
・		類査項目 ・	0 8 11 7 10 4 4 11	フート*の内側周囲のといには、黄銅製コック又は、ブラグを取付ける。	上記の開口部 上記の開口部								
証明 建築協会他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受ける。 ③ 再生資源利用計画書 建設リサイクルガイドライン(平成10年8月4日付け建設省技調発第167号、建設省経事発		調査的囲 · 図示 · 調査方法 · 図示 ·	8 グリス除去装置	・グリスフィルター ・グリスエクトラクター	スリーブ型料	◆の穴埋 ● ○ ○							
及び再生資源利用促 第22号)に基づき、工事着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、また、 進計画書の計画 工事完了時に同計画書の実績報告書(様式は同一)を監督員に提出するものとする。	36 試験	(1)各種配管の試験は、新設配管に適用する。	O 1 ダクト 排 2 排煙口の形式	- 亜鉛鉄板 - ・図示による。	点検口 外部取付ガラ	床、天井、壁 ●       ●							
5 主任技術者 下記資格を証明する資料を監督職員に提出する。 ・資格の区分1)	22 7 4 4	(2)新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。	設 3 排煙口手動開放装置 債	・ワイヤー式 ・電気式(遠隔操作 ・不要 ・要 )	湯沸室の排気								
(イ)建設業法(昭和24年法律第100号)による技術検定(以下「技術検定」という。) のうち、1級の管工事施工管理の検定種目に合格した者	37 再生資源化を図る もの	分 類 受け入れ施設名 受け入れ場所 撤出距離	(関放及び復帰方式) 4 排煙風量測定	建築設備定期検査業務指導書(日本建築設備安全センター)の排煙風量の検査方法に準ずる。	換気扇の取付	<b>→</b>							
(ロ)技術士法(昭和58年法博第25号)による第二試験のうち、技術部門を機械部門(選択 科目を・混体機械・又は「媒冷房及び冷凍機械」とするものに限る。)、水道部門又 は、衛生工学部門に合格した者		セメントコンクリート境 アスファルト境	O 1 構成その他	國示による。	流し(公団型 浴槽	型) 排水トラップ共 ●							
· 資格の区分2)		建設発生土	自動 2電気計装工事 制 の配線	使用する電線類はEM配線とし、規格は標準仕様書第 4 編表 4.2.12の使用する電線類の規格による (爆業・般類)性配()	床下水槽のマ								
(イ) 技術検定のうち1級又は2級の管工事施工管理の検定種目に合格した者 (ロ) 資格の区分1) の資格を有するもの	38 ステンレス鋼管	(1) コンクリート壁・床への埋め込み、スリーブ貫通部及びその他躯体との絶縁箇所には、ブラ	御御設	る。(機器、整類は除く) 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。		坊止用の鎖 プロパンボンベ用 ●							
⑥電気保安技術者 工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気エ	施工上の注意	スチックテーブを1/2重ね1回巻きを施す。 (2) 保温のアルミ、ネット、巻き線、菊座等が直接接触しないよう施工する。	18	天井内隠ぺいの配線は、図面に特記のない栗リケーブル配線とする。		属の制御壁以降の二次側の配管配線 (接地共) O 国の制御壁への電源供給配管配線 O							
作物の保安の業務を行うものとする。 ・要 ・不要		(3) 地中埋設部は、管を土壌に接触させないように施工する。		水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。	HE	御堂と動力整との電源供給の渡り配管配線							
① 技能士の適用         ・配管施工(配管工事)         ・建築板金施工(ダクト製作および取付け)           ②熟絶縁施工(保温工事)         ・水凍空気調和機器施工(冷凍空調機器の指付及び整備)		(4) 地中埋設から地上あるいはピット等に至る管には、出た直近に絶縁フランジを設ける。 (5) ステンレス管に使用する60A以上の弁はステンレス弁とする。	知 生 生 器 3 洗面器	・設ける (ピット内は除く) ・設けない 手洗器は止水栓付とする。	"	御整と動力整との操作回路の渡り配管配線 〇							
③ 監督員事務所 ○ 設けない ・設ける	39 建設機械	本工事において以下に示す建設機械を使用する場合、排出ガス対策型建設機械を使用するもの	設 4 標記板	・取付箇所(・大便器 ・小便器) 材質(・		付属操作スイッチとの渡り配管 (接地共) O 付属操作スイッチとの渡り配線 O							
③ 足場・さん橋類		とする。なお、排出ガス対策型建設機械に代えて、国交省で認定された排出ガス浄化装置を装 着した建設機械についても、排出ガス対策型と同等とみなすものとする。	5 小便器自動洗浄装置	小便器自動洗浄装置及び組込み小便器の洗浄水量は 4 L/回以下とし、使用状況により洗浄水量 を制御できるものとする。	機器と任	付属操作スイッチ 〇							
・本工事で改蔵とする。 ・改修標準性保養第1編2・2・1によるほか下記による。(改修) ・内部収扱足場等( 種 )		着した建設機械についても、排出ガス対策空と同等とかなりものとりる。 ※排出ガス対策型建設機械とは、排出型対策型建設機械指定要領に基づき国土交通省で指定さ	6 洋風大便器	洗浄水量が10.5 L/回以下のものとする。	I I <del></del>	付属操作スイッチの理込ボックス O							
・外部仮绞足場等( · 種 · 種)		れた鎌出ガス対策型建設機械をいう。	7 衛生器具ユニット	ユニットの配管材料は、別図術生器具ユニットの仕様表による。	配 煙感知	器から連動制御盤を経て防煙ダンパーに至る配管配線							
<ul> <li>① 養生</li> <li>○ 養生</li> <li>○ 官公署への手続き</li> <li>工事の着手、施工、完成に当たり、関係官公署その他関係機関への必要な届出手続等遅滞なく行</li> </ul>		機 械 備 考  ・パックホウ ・トラクタショベル(革輸式) ・ブルドーザ ディーゼルエンジン	□ ● ② 配管材料	・給水引き込み管(直結部分)水道事業者の指定による (・ ・地中埋設配管 ○ 内外面塩ビライニング鋼管 (VD-K)	銀個別パ	ッケージの室内機、室外機間の渡り配線 (接地共)							
○ 日本名・ペンチなど		・発動発電機(可搬式) ・空気圧縮機(可搬式) (エンジン出力	投債	・その他の一般配管 〇 内面塩ビライニング鋼管(VB-K)		響などへの接続							
その他 なお、下水道料金についても同様とする。		・油圧ユニット機 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼル を搭載した建設機械を	□ □ □ ② 水栓	・台所流し用の水栓は泡沫式とする。 ・水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。 (ただし、歴外に設ける水栓は耐寒水栓とする)	し								
① 工事用仮設物 構内につくることが ( ・できる ・できない) ○ 機士処分 ・構内散きならし ・構内散定場所へのたい積 ・構外搬出 (約 km)		エンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの 対象とする。	3 量水器	・ 水水在を使用する場合、 木在は固定によれどする。 (たたし、座外に成ける木在は耐寒木在とする) ・ 親メーター (・貸与品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	浄 基礎工	ъ О							
③ 埋め戻し土・盛土 ・根切り土の中の良質土 ・外面被覆を施した配管は山砂の類		油圧ハンマ・パイブロハンマ・リパースサーキュレーションドリル ・オールケーシング掘削機 ・リパースサーキュレーションドリル	4 量水器桝	・水道事業者指定品(・貸与品 ・買い取り) ・標準図MC形	槽 電気工								
① 発生材の処理 (1)引渡しを要するもの ・なし ・あり ( )		・オールゲーンング掘用板 ・リハースサーキュレーションドリル ・アースドリル ・地下連絡管施工機 ・全回転型オールケーシング掘削機	③ 弁類	JIS又はJV ・水道直結部分(・10K ・ ) ・その他の部分(・ 5K ・ ・ 逆止弁の衝撃吸収式はライニング不要とする。		トメーターの配線 O							
(2)特別管理産業廃棄物 ・なし ・あり( ) (3)再生資源の利用を図ると指定されたもの ・なし ・あり( )		- ローラ類		・ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。	ガス漏れ検知								
・発生材一時保管、集積場所 ・構内にあり ・構内になし 引渡しを要するもの以外は構外搬出適切処理とする。		・ロードローラ ・タイヤローラ ・振動ローラ ・ホイールクレーン	6 管の埋設深さ	管の上端より原則として、一般敷地は( cm)構内道路は( cm)以上とする。									
<b>挂</b>	車数形象線質1000星 栓 印 音 尼 樺 準 乳 燁												
<sup>1寸</sup> ├													
		「											
				図面名	機械	成設備特記仕様書 日日 1							
記   佐賀県武雄巾	以唯叫人子 <u></u>	-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533	1		177	付  " 7/							

機器表

記号	名 称	仕 様	台数	備考
DAG		A = h-1		<b>+ + - +</b>
PAC <sub>1</sub>	空冷ヒートポンプパッケージ	冷房能力 40.0KW 暖房能力 45.0KW 3φ200V 室外機 圧縮機 10.1 kw	1	基礎本工事
	エアコン (ビル用マルチ)	PAC-1-1 天井埋込型 80型 × 4		┃ ┃ ドレンアップ, 吹出口ユニット×2♯
		PAC-1-2 天井カセ 4 方向型 71型 × 1		ドレンアップ共
PAC <sub>2</sub>	空冷ヒートポンプパッケージ	室内ユニット 天井埋込型 冷房能力 — 14.0KW	1	基礎本工事
	エアコン(同時ツイン)	実内エーブド	'	ドレンアップ, 吹出口ユニット×85
	エアコン(同時フィン)	室外機 圧縮機 2.4 kw 3φ200V		1007707,800
F <sub>1</sub>	天井換気扇	230φ × 700CMH 1φ100V × 106.0W (金属型)	1	VC SUS製深型フード共
F <sub>2</sub>	ストレートシロッコファン	天吊形	2	VC SUS製深型フード共
		180 $\phi$ × 500CMH 1 $\phi$ 100V × 87.5W		防振金物共 吸込口グリル
F <sub>3</sub>	天井換気扇	$230\phi$ × 670CMH $1\phi$ 100V × 90.0W	1	VC SUS製深型フード共
F <sub>4</sub>	換気扇	台所用換気扇	1	VC SUS製ウェザカバー共
		$250 \phi \times 918 \text{CMH}  1 \phi 100 \text{V} \times 18.0 \text{W}$		専用キッチンフード共
	+			
	+			
	<del>                                     </del>			

		事務所登録第1009号	検	印	意 匠	構	造	設 備	⊤ 虫	Z Z	(仮称)観光交流センター建設工事	縮	"
	有限会社 藤崎設計事務所	管理建築士 藤﨑 透 1級建築士第128417号								14	(M)	尺日	M
記	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533	建築士 川原 貴子 2級建築士 第4744号							図面	名	空調換気設備機器表	日 日 日 日	

